

# 奈良県立医科大学概要

令和3年度



公立大学法人  
奈良県立医科大学



公立大学法人  
奈良県立医科大学

## 建学の精神

平成 29 年 4 月 4 日：制定

最高の医学と最善の医療をもって地域の安心と社会の発展に貢献します

## 大学の理念

平成 6 年 3 月 8 日：制定

平成 17 年 12 月 13 日：改正

本学は、医学、看護学およびこれらの関連領域で活躍できる人材を育成するとともに、国際的に通用する高度の研究と医療を通じて、医学および看護学の発展を図り、地域社会さらには広く人類の福祉に寄与することを理念とする。

## 各分野の理念と方針

平成 29 年 4 月 4 日：制定

### 教 育

**理念** 豊かな人間性に基づいた高い倫理観と旺盛な科学的探究心を備え、患者・医療関係者、地域や海外の人々と温かい心で積極的に交流し、生涯にわたり最善の医療提供を実践し続けようとする強い意志を持った医療人の育成を目指します。

- 方針**
- ① 良き医療人育成プログラムの実践
  - ② 教員の教育能力開発と教育の質保証
  - ③ 教育全般に関する外部有識者評価と学生参加の推進
  - ④ 学習環境と教育環境の充実

### 研 究

**理念** 研究の成果を患者への最善の医療に生かし奈良県民の健康増進を図るとともに、最先端の研究により医学の進歩に貢献します。

- 方針**
- ① 研究基本方針の明確化
  - ② 研究推進体制の効率化と強化
  - ③ 研究の外部評価の導入
  - ④ 奈良県民の健康増進への貢献

### 診 療

**理念** 患者と心が通い合う人間味あふれる医療人を育成し、地域との緊密な連携のもとで奈良県民を守る最終ディフェンスラインとして、安全で安心できる最善の医療を提供します。

- 方針**
- ① 奈良県民を守る「最終ディフェンスライン」の実践
  - ② 奈良県内基幹病院としての機能の充実
  - ③ 地域医療機関との機能分担、緊密連携の推進
  - ④ 各領域の担い手となる医療人の育成

### 法人運営

**理念** 最高の医学の追究、最善の医療の追求を使命として、互いに連携しながら自らの職務に誇りと情熱をもって取り組み、課題に対して自ら行動できる人材を確保・育成することで、教育・研究・診療の理念を実現し、発展し続ける法人運営を実践します。

- 方針**
- ① ガバナンス体制の確立
  - ② 持続可能な経営基盤の確立
  - ③ 働きがいのある職場づくり
  - ④ 積極的な情報発信

# 目 次

## 第1章 概 要

1. 沿 革	1
2. 名称・位置	8
3. 施 設	8
(1) 土 地	8
(2) 建 物	8
4. 公立大学法人奈良県立医科大学 組織機構図	9
5. 役 職 員	12
(1) 役職員名簿	12
(2) 大学院研究指導教員名簿	17
6. 職 員 構 成	19
(1) 役職員数	19
(2) 教員数	20
7. 歴代校長・学長	21
8. 歴代部局長	21
9. 歴代役員	23
10. 名誉教授	24

## 第2章 予算・決算

1. 令和2年度決算	25
2. 年度別予算	27

## 第3章 大学・大学院

教育目標	28
1. 学生定員及び現員	30
2. 県内・県外別学生数	30
3. 志願者数及び入学者数	31
4. 卒業者数	32
5. 卒業後の状況	33
6. 学位授与者数	33
7. 研究生数、専修生数、医科学研究生数及び博士研究員数	34
8. 解剖件数	34
9. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業	34
10. 総合研究施設の状況	35
1. 共同利用施設	35
(1) 動物実験施設	35
(2) 大学共同研究施設	35
(3) 組換えDNA実験施設	35

(4) ラジオアイソトープ (RI) 実験施設	35
2. 各施設実験登録者数	35
11. 寄附・共同研究等講座の設置状況	36
12. 国際交流協定大学	37
13. 国内協定大学	37
14. 教育研究に関する協定（連携大学院）	38
15. 地方公共団体との協定	38
16. 企業等との協定	38
17. 公開講座「くらしと医学」開催状況	39

#### **第4章 附属図書館**

1. 蔵書	40
2. 利用者数	40
3. 図書館間相互協力	40
4. 情報提供サービス	40
5. 電子ジャーナル・電子ブック	40

#### **第5章 附 属 病 院**

1. 診療体制	41
(1) 許可病床数	41
(2) 外来診療室数	42
2. 患者統計	43
(1) 入院・外来患者数	43
(ア) 入院患者数（年度別）	43
(イ) 新入退院患者数・平均在院日数（年度別）	44
(ウ) 外来患者数（年度別）	45
(エ) 入院・外来患者数の推移	46
(2) 中央診療施設稼働状況	47
(ア) 中央臨床検査部検査件数（年度別）	47
(イ) 輸血部関係（年度別）	48
(ウ) 中央手術部手術件数（年度別）	49
(エ) 中央放射線部診療患者延数（年度別）	49
(オ) 集中治療部患者延数（年度別）	50
(カ) リハビリテーション関係	50
(キ) 透析部透析件数（年度別）	50
(ケ) 病院病理部関係（年度別）	50
(ケ) 医療技術センター関係（令和元年度）	51
(コ) 中央内視鏡部診療件数（年度別）	54
(サ) 超音波診療件数（年度別）	54
(3) 病理解剖件数（年度別）	55

(4) 分娩件数（年度別）	55
(5) 薬剤関係（年度別）	56
(6) 栄養管理関係	56
(ア) 提供食数（年度別）	56
(イ) 栄養指導件数（年度別）	56
(ウ) NST 介入件数（年度別）	56
(7) 総合相談窓口、がん相談支援センター、患者・家族支援室の相談実績	57
(ア) 相談件数（年度別）	57
(イ) 相談件数内訳（令和2年度）	58
3. 診療収入関係	59
(1) 診療収入額（年度別）	59
(2) 特別療養環境室（個室等）室料差額収益額（年度別）	59
4. 附属病院の主な医療機器設置状況	60
5. 総合医療情報システム（電子カルテシステム）	61
○ 大学総合案内	62
○ 病院総合案内	63
○ 奈良県立医科大学・附属病院配置図	64
○ 奈良県立医科大学位置図・大学・附属病院付近図	65

# 第1章 概要

## 1. 沿革

昭和 20 年 4 月	奈良県立医学専門学校設立 校舎を当分の間、高市郡八木町小房（現 檜原市小房町）に置く 奈良県農業会経営の奈良県協同病院（高市郡畠傍町大字四条 840、現檜原市四条町 840）を買収、附属病院（215 床）とする
昭和 20 年 7 月	奈良県立医学専門学校第 1 回入学式挙行
昭和 21 年 4 月	校舎を高市郡畠傍町畠傍（現 檜原市畠傍町）50 番地に移転
昭和 22 年 7 月	奈良県立医科大学（旧制）予科開校、予科 3 個学年を同時に入学させる 附属吉野保健センター診療部開設
昭和 22 年 9 月	附属厚生女学部開設
昭和 23 年 4 月	奈良県立医科大学（旧制）学部開設、入学定員 40 人
昭和 25 年 3 月	医学専門学校第 1 回生卒業
昭和 26 年 3 月	学制改革により予科、医学専門学校廃止
昭和 27 年 3 月	医科大学（旧制）第 1 回生卒業
昭和 27 年 4 月	奈良県立医科大学（新制）開設、入学定員 40 人、17 講座
昭和 28 年 4 月	附属准看護学校開校
昭和 28 年 6 月	内科学第二講座設置
昭和 29 年 6 月	解剖学第二講座設置
昭和 29 年 10 月	整形外科学講座設置
昭和 30 年 4 月	附属高等看護学校開設
昭和 31 年 3 月	医科大学（新制）第 1 回生卒業
昭和 32 年 4 月	県立檜原診療所、県立檜原精神病院を医科大学附属病院に合併（642 床となる） 病理学第二講座設置
昭和 32 年 6 月	看護婦宿舎（白樺寮）竣工（木造 2 階建）
昭和 33 年 3 月	附属病院南病棟竣工（鉄筋 3 階建）
昭和 33 年 4 月	学校教育法の改正に伴い、医学進学課程（修業年限 2 年）設置
昭和 34 年 11 月	旧制学位審査権を認可される
昭和 34 年 12 月	基礎医学校舎完成（鉄筋 4 階建、5,277.24 m <sup>2</sup> ）（現：臨床医学研究棟）
昭和 35 年 1 月	大学の住所表示を檜原市四条町 840 番地に変更 生理学第二講座設置
昭和 35 年 3 月	附属病院北病棟（鉄筋 4 階建）及びがん治療棟（同平屋建）竣工
昭和 35 年 4 月	奈良県立医科大学大学院設置、入学定員 23 人、総定員 92 人 外科学第二講座設置
昭和 36 年 3 月	旧制医科大学廃止
昭和 36 年 5 月	附属病院中央臨床検査部創設
昭和 36 年 9 月	大学本館（鉄筋 3 階建）及び図書館（同 2 階建）竣工
昭和 36 年 12 月	学位規則（文部省令）に基づき、奈良県立医科大学学位規則を制定
昭和 37 年 11 月	病院診療管理棟及び給食棟竣工、ボイラー棟、コバルト照射室完成
昭和 38 年 3 月	サービス棟竣工
昭和 38 年 8 月	臨床研究棟（鉄筋 3 階建、1,589.40 m <sup>2</sup> ）（現：医局棟）、塵埃焼却場竣工
昭和 38 年 11 月	皮膚・泌尿器科学講座を分離、全 24 講座となる
昭和 39 年 3 月	研究実験用動物舎等竣工
昭和 39 年 4 月	学生入学定員を 40 人から 60 人に変更 大学院の入学定員を 24 人に、総定員を 96 人に変更 附属奈良病院設置（奈良市西大寺町）
昭和 39 年 8 月	看護婦宿舎白樺寮新館（鉄筋 3 階建、1,500.82 m <sup>2</sup> ）及び臨床講堂（鉄筋平屋建、階段作、214 m <sup>2</sup> ）竣工
昭和 40 年 3 月	進学課程校舎新築竣工（鉄筋 3 階建、983.50 m <sup>2</sup> ）
昭和 40 年 4 月	奈良県血液センターを附属病院内に置く 救急病棟の開設
昭和 41 年 4 月	附属病院に輸血部設置
昭和 41 年 9 月	精神病棟新館完成（鉄筋 4 階建、2,032 m <sup>2</sup> ）
昭和 41 年 10 月	胃集団検診車「きぼう号」により県下各市町村において胃の集団検診を実施
昭和 43 年 3 月	中央臨床検査棟竣工
昭和 43 年 4 月	附属がんセンター設置

昭和 44 年 5 月	女子職員独身寮竣工
昭和 44 年 7 月	大講堂（600 人収容）竣工
昭和 44 年 8 月	仮設託児所竣工
昭和 44 年 10 月	新教授会、教授会代議員会、全学協議会発足
昭和 45 年 4 月	事務組織機構改正 事務局に管財課、附属病院事務部に管理課、医事課、給食課設置 附属高等看護学校第一部学生入学定員を 20 人から 40 人に変更
昭和 45 年 7 月	附属高等看護学校竣工（2,293.60 m <sup>2</sup> ）
昭和 45 年 8 月	附属がんセンター増築（1,619.50 m <sup>2</sup> ）
昭和 46 年 3 月	サービス棟増築（854.9 m <sup>2</sup> ）
昭和 46 年 6 月	奈良県血液センターを日赤奈良支部へ移管
昭和 47 年 4 月	公衆衛生学講座設置
昭和 47 年 8 月	附属病院看護婦宿舎竣工（3,517.52 m <sup>2</sup> ）
昭和 49 年 1 月	体育館竣工
昭和 49 年 3 月	塵埃焼却場竣工
昭和 49 年 4 月	麻酔科学講座設置
昭和 49 年 11 月	附属がんセンター増築（190.9 m <sup>2</sup> ）
昭和 50 年 4 月	附属奈良病院を県立奈良病院に組織変更
昭和 51 年 4 月	医動物学講座設置
昭和 52 年 4 月	医動物学講座を寄生虫学講座に変更 学生入学定員を 60 人から 100 人に変更 内科学第三講座設置 附属高等看護学校を、専修学校移行に伴い附属看護専門学校に名称変更
昭和 52 年 10 月	全学協議会、教授会代議員会廃止
昭和 52 年 11 月	新教授会発足
昭和 53 年 3 月	基礎医学校舎竣工（鉄筋 5 階建、8,500.75 m <sup>2</sup> ） 進学課程校舎増築（鉄筋 4 階建、1,569.64 m <sup>2</sup> ）
昭和 53 年 6 月	神経精神科学講座を精神神経科学講座に変更
昭和 53 年 12 月	テニスコート（4 面）、バレーコート（1 面）竣工
昭和 54 年 3 月	図書館竣工（鉄筋 3 階建、1,303.18 m <sup>2</sup> ）
昭和 54 年 9 月	プール（6 コース）竣工
昭和 56 年 1 月	臨床第 1 講義室竣工（460.46 m <sup>2</sup> ）
昭和 56 年 3 月	エネルギーセンター竣工
昭和 56 年 4 月	外科学第三講座設置 神経内科学、口腔外科学設置 精神神経科学講座を精神医学講座に変更 附属看護専門学校、1 部の入学定員を 40 人から 70 人に変更、2 部の募集を停止
昭和 56 年 9 月	附属病院新本館竣工（22,554.25 m <sup>2</sup> ）
昭和 56 年 10 月	附属病院に中央診療施設設置
昭和 56 年 12 月	附属看護専門学校合同講義室竣工（162.00 m <sup>2</sup> ）
昭和 57 年 9 月	附属病院許可病床数 850 床（一般 710、結核 60、精神 80）となる
昭和 57 年 12 月	東運動場整備（8,077 m <sup>2</sup> ）
昭和 58 年 12 月	塵埃焼却場竣工（285.5 m <sup>2</sup> ）
昭和 59 年 12 月	学生クラブ棟増築（260.98 m <sup>2</sup> ） 附属看護専門学校講義室竣工（162.65 m <sup>2</sup> ）
昭和 60 年 3 月	附属病院外来部門電算業務開始 独身住宅竣工（橿原市南妙法寺町、鉄筋 4 階建、1,140.48 m <sup>2</sup> ）
昭和 60 年 4 月	附属看護専門学校に助産学科（定員 15 人）を設置
昭和 61 年 3 月	附属病院入院部門電算業務開始
昭和 62 年 2 月	MR-CT 棟竣工（227.42 m <sup>2</sup> ）、62 年 5 月より診断開始
昭和 63 年 3 月	附属病院中央手術場を 9 室から 11 室に改修
昭和 63 年 4 月	病態検査学、神経内科学、口腔外科学を講座とする 附属病院新生児病室 10 床から 15 床に増床、全 855 床となる
平成元年 3 月	西運動場整備（13,626 m <sup>2</sup> ）
平成元年 4 月	附属がんセンターのベータートロン照射室をリニアック室に改修
平成元年 8 月	救急医学講座設置
平成 2 年 3 月	附属病院救急棟竣工（1,589.4 m <sup>2</sup> ）、集中治療室 5 床、救急病室 15 床設置により全 870 床となる

平成 2 年 4月	附属病院救急科設置、2年5月より診療開始
平成 2 年 6月	第1駐車場整備 (8,077 m <sup>2</sup> )
平成 3 年 4月	附属がんセンター組織改正
平成 3 年 7月	基礎医学校舎増築 (2,493.3 m <sup>2</sup> ) クラブ棟新築竣工 (354.9 m <sup>2</sup> )
平成 4 年 4月	第二本館建設推進本部及び同事務局設置
平成 4 年 6月	老人性痴呆疾患センター設置
平成 4 年 8月	附属病院土曜閉院となる
平成 5 年 3月	総合研究棟竣工 (5,919.64 m <sup>2</sup> )
平成 5 年 4月	大学、附属看護専門学校土曜休業となる
平成 5 年 10月	総合研究施設部設置
平成 5 年 11月	総合研究棟供用開始
平成 6 年 3月	大学の理念及び目的を制定 サービス棟竣工 (1,340.85 m <sup>2</sup> )
平成 6 年 4月	附属病院中央診療施設の中央内視鏡室、人工透析室、新生児病室の3室を部に変更
平成 6 年 5月	教授会構成員変更
平成 6 年 8月	エイズ拠点病院選定
平成 6 年 9月	骨髄移植開始のため、附属病院に無菌室設置
平成 6 年 11月	インターネット利用開始
平成 7 年 3月	本学初の公開講座を実施
平成 7 年 9月	開学50周年記念式典挙行
平成 8 年 2月	特定機能病院承認
平成 8 年 4月	看護短期大学部開学、附属看護専門学校看護学科の募集を停止 附属病院中央診療施設に病院病理部を新設し、人工透析部の名称を透析部に変更 学内 LAN 敷設
平成 8 年 8月	チェンマイ大学（タイ王国）と学術交流協定を締結
平成 8 年 11月	災害拠点病院指定
平成 9 年 3月	附属病院B棟 (18,253.98 m <sup>2</sup> ) 及びエネルギーセンター (2,491.05 m <sup>2</sup> ) 竣工
平成 9 年 4月	学生入学定員を100人から95人に変更 附属病院内に救命救急センター設置
平成 9 年 6月	附属病院B棟供用開始
平成 9 年 9月	ゲストハウス竣工 (171.38 m <sup>2</sup> )
平成 9 年 11月	本学公式ホームページ開設
平成 11 年 1月	病態検査学講座を総合医療・病態検査学講座に変更 附属病院総合診療科設置
平成 11 年 3月	附属看護専門学校閉校
平成 11 年 4月	看護短期大学部に専攻科助産学専攻設置 附属病院感染症病棟10床設置により、全880床となる 附属病院事務部に電算室を設置
平成 13 年 3月	附属病院感染症病棟 (10床) 廃止により、全870床となる
平成 13 年 4月	附属病院事務部を廃止し、事務局に病院第一課及び病院第二課を設置 オーダリングシステム（医療情報システム）全面稼働
平成 13 年 7月	附属病院内に精神科救命医療情報センターを設置
平成 13 年 10月	附属病院外来患者駐車場を有料化整備
平成 14 年 12月	附属病院内に周産期医療センターを設置
平成 15 年 3月	旧樺原伝染病棟敷地を樺原市より買収
平成 15 年 4月	病理学第一講座を病理診断学講座に変更し臨床医学へ移行 病理学第二講座を病理病態学講座に変更 事務局病院第一課に課内室（医療情報システム室）を設置 事務局病院第二課に医療安全管理部門を設置
平成 15 年 9月	附属病院内の救命救急センターを高度救命救急センターに変更 附属病院玄関前整備工事竣工
平成 15 年 10月	附属病院内に感染症センターを設置 附属病院C棟 (19,563.23 m <sup>2</sup> ) 及びエネルギーセンター（二期306.96 m <sup>2</sup> ）竣工
平成 16 年 3月	臨床研修病院の指定

平成 16 年 4 月	医学部看護学科を開設、看護短期大学部看護学科の募集停止 大学院医学研究科を 3 専攻 7 領域に再編・整備 教育開発センターを設置 先端医学研究機構を設置（総合研究施設部を吸収） 附属がんセンターの廃止（平成 16 年 3 月）に伴い、腫瘍病理学分野を分子病理学講座に、腫瘍放射線医学分野を放射線腫瘍医学講座に変更 外科学第一講座を消化器・総合外科学講座に、外科学第二講座を脳神経外科学講座に、外科学第三講座を胸部・心臓血管外科学講座に、総合医療・病態検査学講座を総合医療学講座に変更 附属病院内の中央内視鏡部と超音波診断室を統合し中央内視鏡・超音波部に変更 附属病院給食部を設置 事務局の再編により、総務課研究支援室、学務課、病院経営課、病院管理課を設置
平成 16 年 6 月	附属病院 C 棟完全供用開始により全 900 床となる
平成 16 年 8 月	旧大和平野土地改良区事務所敷地（704.13 m <sup>2</sup> ・四条町 583）及び建物（1,158.67 m <sup>2</sup> ）を買収
平成 16 年 12 月	附属病院定位放射線治療施設（ノバリス）（130.13 m <sup>2</sup> 増築）竣工 福建医科大学（中華人民共和国）と学術交流協定を締結
平成 17 年 1 月	先端医学研究機構の研究単位として医療情報学分野を開設 地域がん診療拠点病院の指定
平成 17 年 3 月	附属病院定位放射線治療施設（ノバリス）供用開始 厳権会館改築竣工（1,117.49 m <sup>2</sup> ）
平成 17 年 4 月	事務局に総務課法人化準備室を設置 旧櫻原伝染病棟（932.00 m <sup>2</sup> ）を解体 女性専用外来開設
平成 17 年 5 月	厳権会館供用開始 開学 60 周年記念式典挙行
平成 18 年 4 月	住居医学講座（寄附講座）を設置 衛生学講座を地域健康医学講座に、公衆衛生学講座を健康政策医学講座に変更 附属病院内に医療安全推進室を設置 給食部の名称を栄養管理部に変更 MD プログラム奈良 2006 を開始
平成 18 年 5 月	先端医学研究機構の研究単位として生命システム医科学分野を開設
平成 18 年 7 月	セカンドオピニオン外来開設 遺伝カウンセリング外来開設 精神医療センター（5,270.35 m <sup>2</sup> ）竣工
平成 18 年 11 月	精神医療センター供用開始により全 930 床となる
平成 19 年 3 月	看護短期大学部閉学 大学機関別認証評価（1 巡回）「適合」認定
平成 19 年 4 月	地方独立行政法人「公立大学法人奈良県立医科大学」へ移行 第 1 期中期計画（平成 19 ~ 24 年度）開始 事務局を法人企画部（総務課、財務企画課、財務企画課研究推進室、財産管理課、学務課）、病院経営部（経営企画課、経営企画課情報企画室、医療サービス課、病院管理課）に再編 附属病院内に遺伝カウンセリング室、外来化学療法室、地域医療連携室、臨床研修センターを設置 附属病院開設許可病床数 980 床 総合医療情報システム（電子カルテシステム）運用開始
平成 19 年 6 月	同志社女子大学と学術交流に関する包括協定を締結
平成 19 年 11 月	医療安全推進室内に医療技術トレーニングルームを設置
平成 20 年 2 月	先端医学研究機構の研究単位として生命システム医科学分野循環器システム医科学を開設（※ 1） 都道府県がん診療連携拠点病院指定
平成 20 年 3 月	附属図書館に闘病記文庫を設置
平成 20 年 4 月	大学院医学研究科修士課程（医科学専攻）設置 推薦選抜試験（緊急医師確保特別入学試験）の実施により医学科の入学定員を 95 人から 100 人に変更 敷地内全面禁煙を実施 耳鼻咽喉科学講座を耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座に変更 看護学科領域の新設及び名称変更（臨床病態医学、人間発達学） 附属病院内に感染制御内科外来を設置（22 診療科となる） 附属病院中央診療施設名称の変更（腫瘍センター、医療情報部） 課内室を再編（研究推進室は研究推進課として財務企画課より独立。情報企画室を廃止し、経営企画課に併合） オックスフォード大学（イギリス）と学術交流協定を締結 文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム（教育 GP）」として「地域に教育の場を拡大した包括的教育の取組」（H20 ~ H22）を採択
平成 20 年 5 月	附属病院内に総合周産期母子医療センターを設置
平成 20 年 12 月	早稲田大学と連携協力に関する協定を締結
平成 21 年 3 月	奈良先端科学技術大学院大学と相互協力に関する包括協定を締結 大学内 30 箇所に無線 LAN アクセスポイントを敷設
平成 21 年 4 月	医学科の入学定員を 100 人から 105 人に変更 国際交流センターを設置 血栓制御医学講座（寄附講座）を設置 大学知的財産アドバイザーの設置（受入）

※ 1 循環器システム医科学の開設に合わせ、従来の生命システム医科学分野を生命システム医科学分野脳神経システム医科学と呼ぶ

平成 21 年 5 月	附属病院内に緩和ケア外来を設置
平成 21 年 6 月	附属病院夜間救急玄関改修工事竣工 (総合相談窓口を設置 入退院・救急窓口を移設)
平成 21 年 10 月	附属病院内に緩和ケアセンターを設置 附属病院全診療科において初診紹介患者の予約診療を開始
平成 21 年 11 月	機関リポジトリ GINMU (ジンム : Global Institutional Repository of Nara Medical University) を公開 附属病院内に助産師外来を設置
平成 22 年 4 月	医学科の入学定員を 105 人から 113 人に変更 血圧制御学講座（寄附講座）を設置 ルール大学（ドイツ）と学生交流協定を締結 附属病院の一般病棟に看護職員を 7 : 1 配置 附属病院内に治験センターと移植細胞培養センターを設置 地域基盤型医療教育コースを設置
平成 22 年 10 月	奈良県と「医師配置システム構築のための地域医療学講座の設置に関する協定」を締結し、地域医療学講座を設置 附属病院内にリウマチ外来、化学療法外来を設置
平成 22 年 11 月	附属病院開設許可病床数 978 床 (D 棟 2 階改修)
平成 22 年 12 月	附属病院内に小児センター及びメディカルバースセンターを設置
平成 23 年 1 月	附属病院内に乳腺外科外来を設置
平成 23 年 2 月	女性研究者支援センターを設置
平成 23 年 4 月	監査室、健康管理センター、産学官連携推進センターを設置 寄生虫学講座を病原体・感染防御医学講座に変更 人工関節・骨軟骨再生医学講座（寄附講座）を設置 広域大学知的財産アドバイザーの設置（受入） 附属病院内にペインセンター、リウマチセンター及び糖尿病センター並びに医療技術センターを設置 病院経営部医療サービス課内に医療相談室を設置 授業料減免制度の創設
平成 23 年 5 月	附属病院内に糖尿病外来を設置 病院機能評価（Ver6.0）の認定を取得
平成 23 年 6 月	地域医療総合支援センターを奈良県とともに設置
平成 24 年 4 月	広報室を設置 「なかよし保育園」を建て替え、規模を拡大（定員 16 名→60 名）し、法人の組織として設置 地域看護学領域を公衆衛生看護学領域に変更 看護学科の入学定員を 80 人から 85 人に変更 大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）を設置 医学科に研究医養成コースを設置し、2 年次編入学定員を 2 名増員 附属病院内に形成外科センターを設置 Web メールシステム運用開始 学務課を教育支援課に改称
平成 24 年 6 月	研究者情報データベース運用開始
平成 24 年 7 月	明日香村と地域医療連携事業実施に関する協定を締結
平成 24 年 8 月	教育研修棟に自習室（18 室約 180 人利用）を設置
平成 25 年 4 月	第 2 期中期計画（平成 25 ~ 30 年度）開始 危機管理室、医療メディエーション室を設置 法人特命企画官の設置 スポーツ医学講座（寄附講座）を設置 老年看護学 II 分野を設置 教務事務システム運用開始
平成 25 年 6 月	株式会社タカトリと産学連携に関する包括協定を締結 研究推進戦略本部を設置 特別共同研究助成事業及び若手研究者研究助成事業の創設
平成 25 年 8 月	認知症疾患医療センター（基幹型）の指定
平成 25 年 10 月	糖尿病学講座、県費奨学生配置センターを設置 附属病院内に先天性心疾患センターを設置 看護師宿舎をスキルラボ棟に改修
平成 25 年 11 月	附属病院 E 棟（一期 4586.78 m <sup>2</sup> ）竣工
平成 26 年 1 月	大和漢方医学薬学センターを設置 県民健康増進支援センターを設置
平成 26 年 3 月	大学機関別認証評価（2 巡目）「適合」認定
平成 26 年 4 月	基本構想策定期、県立医大医師派遣センター、看護実践・キャリア支援センターを設置 法人企画部財産管理課内にエネルギーセンターを設置 細菌学講座を微生物感染症学講座に名称変更 免疫学講座を設置 医療メディエーション室を患者・家族支援室に名称変更
平成 26 年 5 月	附属病院内に周術期管理センターを設置
平成 26 年 7 月	附属病院内に IVR センターを設置
平成 26 年 9 月	関西公立医科大学・医学部連合に関する協定を締結

平成 26 年 10 月	独立行政法人産業技術総合研究所と連携・協力に関する協定を締結 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と大学連携協定を締結 看護学科開設 10 周年記念式典挙行
平成 26 年 12 月	附属病院内に入退院管理センターを設置 形成外科センターを形成外科に変更 リハビリテーション部をリハビリテーション科に変更
平成 27 年 2 月	職員証の発行を開始 ベトナム保健省と「関西公立医科大学・医学部連合」等で医療・健康分野に関する包括協定を調印
平成 27 年 3 月	独立行政法人国際循環器病研究センターと教育研究に関する連携協力協定を締結
平成 27 年 4 月	公立大学法人奈良県立医科大学未来への飛躍基金を設置 法人企画部に人事課を設置 基本構想策定期局をキャンパス整備推進局に改組 なかよし保育園の定員を見直し（60 名→90 名）、運営を民間委託に移行 血友病治療・病態解析学講座（寄附講座）を設置 血栓制御医学講座（寄附講座）の設置期間を 2 年延長 医学科、看護学科の一般教育組織を廃止し、医学部に教養教育部門を設置 看護学科に在宅看護学領域を設置 附属病院内に病理診断科、感染管理室を設置 教養教育部門に科目臨床英語を設置（科目英語を廃止）
平成 27 年 5 月	開学 70 周年記念式典挙行
平成 27 年 6 月	橿原市とまちづくり等に関する包括協定を締結
平成 27 年 7 月	手の外科講座（寄附講座）を設置 納品検収センター設置 附属病院内に臨床研究センターを設置
平成 27 年 9 月	附属病院の土日 ER 診療開始
平成 27 年 10 月	附属病院の心臓血管外科・呼吸器外科を組織変更し、心臓血管外科と呼吸器外科を設置 治験センターを廃止
平成 27 年 11 月	関西公立私立医科大学・医学部連合に関する協定を締結
平成 28 年 1 月	附属病院内に玉井進記念四肢外傷センターを設置
平成 28 年 4 月	医学科に医学科長を設置 大学院医学研究科に医学研究科長を設置 大学院看護学研究科に看護学研究科長を設置 法人企画部財産管理課及び財産管理課エネルギーセンターを廃止し、法人企画部施設管理室を設置 キャンパス整備推進局を総合企画局に改組し、同局内に総合企画室を設置 法人企画部財務企画課を財務会計課に名称変更 公立大学法人奈良県立医科大学学外有識者委員会を設置 「奈良県立医科大学教育改革 2015」に基づく新カリキュラム導入 血圧制御学講座（寄附講座）の設置期間を 2 年延長 バックマイ病院（ベトナム）と学術、教育及び医療の連携・協力に関する包括交流協定を締結 附属病院内に総合画像診断センターを設置 附属病院中央内視鏡・超音波部を中央内視鏡部に名称変更
平成 28 年 5 月	附属病院内にめまいセンターを設置 附属病院耳鼻咽喉科・甲状腺外科から耳鼻咽喉・頭頸部外科に名称変更
平成 28 年 6 月	MBT（医学を基礎とするまちづくり）研究所を設置
平成 28 年 9 月	附属病院 E 棟竣工（21,162.49 m <sup>2</sup> ）
平成 28 年 10 月	附属病院 E 棟供用開始 附属病院に高度外科技術センターを設置 地域健康医学講座を疫学・予防医学講座に名称変更 健康政策医学講座を公衆衛生学講座に名称変更
平成 29 年 1 月	附属病院に認知症センターを設置 阪奈中央病院にスポーツ医学研究センターを設置
平成 29 年 3 月	京都大学と相互単位互換協定を締結
平成 29 年 4 月	「奈良県立医科大学の将来像」を策定し、「建学の精神」及び「奈良県立医科大学の教育、研究、診療及び法人運営の理念と方針」を制定 法人のシンボルマーク及びイメージキャラクターを制定 人工関節・骨軟骨再生医学講座（寄附講座）の設置期間を 3 年延長 教養教育部門に科目未来基礎医学を設置
平成 29 年 9 月	公益社団法人地域医療振興協会市立奈良病院と教育研究に関する連携協力協定を締結
平成 29 年 10 月	生体分子不均衡制御学共同研究講座を設置 附属病院内に脳卒中センターを設置 MBT（医学を基礎とするまちづくり）研究所が北関東総合警備保障株式会社及び栃木県高根沢町と連携協定を締結
平成 29 年 11 月	今井町ゲストハウス開所
平成 30 年 1 月	内科学第一講座を分割し循環器内科学講座と腎臓内科学講座を設置 附属病院循環器・腎臓・代謝内科を組織変更し、循環器内科と腎臓内科を設置
平成 30 年 2 月	附属病院 B・C 棟屋上ヘリポート竣工
平成 30 年 3 月	社会医療法人高清会と教育研究に関する連携協力協定を締結 一般財団法人小林理学研究所と教育研究に関する連携協力協定を締結 医学教育分野別評価「適合」認定（認定期間 平成 29 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日）

平成 30 年 4 月	総合企画局を廃止し、法人企画部にキャンパス整備推進室を設置 法人企画部財務会計課を財務企画課に名称変更 血友病教育講座（寄附講座）を設置 血栓止血分子病態学講座（寄附講座）を設置 血栓止血医薬生物学共同研究講座を設置 内科学第二講座を呼吸器内科学講座に名称変更 大学院看護学研究科に高度実践コース（高度実践看護師教育課程及び周麻酔期看護師教育課程）を設置 社会医療法人高清会高井病院に陽子線がん治療研究センターを設置 血栓止血研究センターを設置 IVR 研究センターを設置 附属病院ががんゲノム医療連携病院に指定
平成 30 年 7 月	神経内科学講座を脳神経内科学講座に名称変更 附属病院神経内科を脳神経内科に名称変更
平成 30 年 9 月	発生・再生医学講座を設置
平成 30 年 10 月	MBT（医学を基礎とするまちづくり）研究所タカトリラボを開設 MBT リンク株式会社を大学発ベンチャー企業に認定 なかよし保育園の定員を 90 名から 150 名に変更
平成 30 年 11 月	樋原市及び富士通株式会社等と妊娠期・子育て支援サービスの有用性を検討するための実証実験に関する覚書を締結 附属病院入退院管理センターを入退院支援センターに名称変更 附属病院内に乳腺センターを設置
平成 30 年 12 月	ミシガン大学医学部（アメリカ）と学術科学連携に関する基本合意書を締結
平成 31 年 2 月	V-iCliniX 講座（寄附講座）を設置 附属病院入退院支援センターと地域医療連携室を統合し、入退院等支援部を設置
平成 31 年 3 月	大学院医学研究科（博士課程）にミシガン大学評議会との学術科学連携に関する基本合意書に基づく NM コースを設置 プリガム教育開発センター（ハーバード大学・アメリカ）と学術教育連携に関する基本合意書を締結
平成 31 年 4 月	第 3 期中期計画（平成 31 年～令和 6 年度）開始 総務課情報推進係と経営企画課情報企画係を統合し、事務局に情報推進室を設置 医療サービス課医療相談室を医療相談室に組織改正 地域医療支援・教育学講座（寄附講座）を設置 骨軟部腫瘍制御・機能再建医学講座（寄附講座）を設置 医師・患者関係学講座を設置 血栓止血先端医学講座を設置 成人看護学を分割し成人急性期看護学と成人慢性期看護学を設置 女性研究者支援センターを女性研究者・医師支援センターに名称変更 スポーツ医学講座（寄附講座）の設置期間を 6 年延長 附属病院放射線科（画像診断・IVR）を放射線・核医学科に名称変更 附属病院放射線治療・核医学科を放射線治療科に名称変更 附属病院内に生命倫理監理室を設置 附属病院が奈良県難病診療連携拠点病院に指定 附属病院が奈良県アレルギー疾患医療拠点病院に指定
令和 元 年 7 月	MBT（医学を基礎とするまちづくり）研究所がマレーシアプトラ大学（UPM）と連携協定を締結
令和 元 年 10 月	内科学第三講座を消化器内科学講座に名称変更 糖尿病・内分泌内科学講座を設置
令和 2 年 3 月	先端医学研究機構を廃止 附属病院が災害拠点精神科病院に指定 樋原市と「災害時における給水支援に関する協定」を締結
令和 2 年 4 月	法人企画部広報室を秘書・広報室に名称変更 施設管理室とキャンパス整備推進室を統合し、法人企画部に新キャンパス・施設マネジメント課を設置 病院経営部に医療職事務支援室を設置 先端医学研究支援機構を設置し、研究力向上支援センター、医学研究支援センターを新設、産学官連携推進センターを移管 大学院医学研究科（博士課程）を 1 専攻 3 領域に再編・整備 大学院看護学研究科（修士課程）看護学コース高度実践コース（高度実践看護師教育課程）にがん看護分野を設置 前立腺小線源治療講座（寄附講座）を設置
令和 2 年 6 月	附属病院消化器・内分泌代謝内科を組織変更し、消化器・代謝内科と糖尿病・内分泌内科を設置
令和 2 年 7 月	医学部医学科にリハビリテーション医学講座を設置 MBT（医学を基礎とするまちづくり）研究所が、MBT リンク株式会社及び北海道沼田町と包括連携協定を締結 MBT（医学を基礎とするまちづくり）研究所が、一般社団法人北海道総合研究調査会と連携・協力の協定を締結
令和 2 年 8 月	医学教育分野別評価 認定期間延長（認定期間 平成 29 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）
令和 2 年 9 月	糖尿病センターを廃止
令和 2 年 10 月	医学部医学科にがんゲノム・腫瘍内科学講座を設置 附属病院内に腫瘍内科を設置 腫瘍センターを廃止
令和 2 年 12 月	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構と重粒子線がん治療に関する協定を締結
令和 3 年 3 月	大学機関別認証評価（3 巡目）「適合」認定
令和 3 年 4 月	法人に医療人育成機構を設置し、卒前の医師及び看護師教育育成部門、卒後の医師教育育成部門および卒後の看護師育成部門を新設 医学部医学科の放射線医学講座を放射線診断・IVR 学講座に名称変更 医学部教養教育部門の数学を臨床数学に名称変更 リウマチセンターを廃止

## 2. 名称・位置

奈良県立医科大学	奈良県橿原市四条町 840 番地
奈良県立医科大学附属病院	奈良県橿原市四条町 840 番地
奈良県立医科大学附属図書館	奈良県橿原市四条町 840 番地

## 3. 施 設

### (1) 土 地 (所有者：奈良県)

R3. 5. 1 現在

大学敷地	附属病院敷地	保育園 敷地	厳檜会館 敷地	その他	ゲストハウス 敷地	駐車場 敷地	駐車場案内 看板設置用 敷地
m <sup>2</sup> 50,996.43 (運動場敷地) 19,539.80 を含む	m <sup>2</sup> 47,991.85	m <sup>2</sup> 1,335.61	m <sup>2</sup> 704.13	m <sup>2</sup> 760.07	m <sup>2</sup> 132.23	m <sup>2</sup> 2,103.00	m <sup>2</sup> 1.00
小計 101,788.09 m <sup>2</sup>						小計 2,236.23 m <sup>2</sup>	
合計 104,024.32 m <sup>2</sup>							

### (2) 建 物

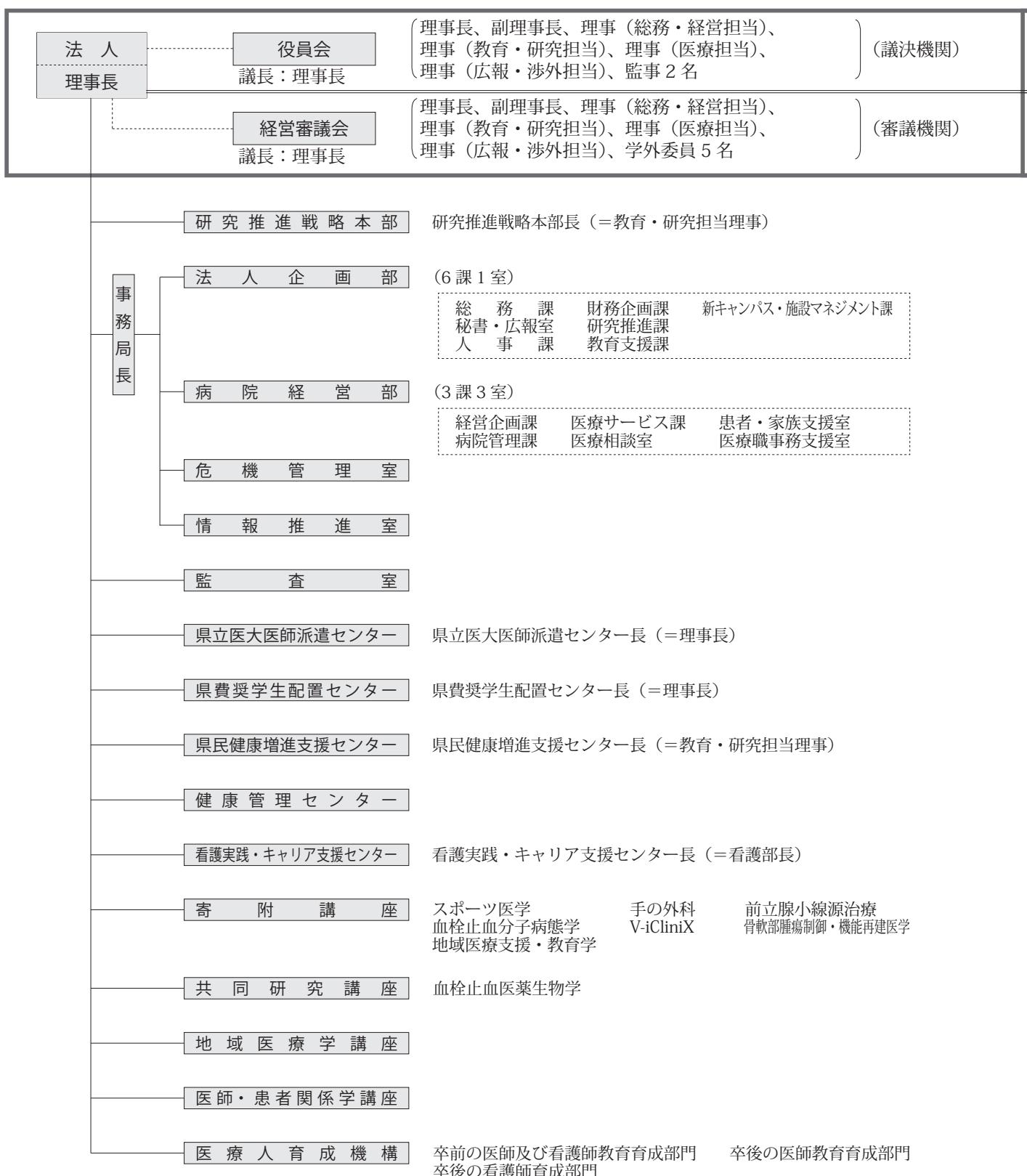
R3. 5. 1 現在

施設名	延 面 積						施設別 比率
	鉄筋 コンクリート造	鉄骨鉄筋 コンクリート造	鉄骨造	鉄筋コンクリート ブロック造	木造	計	
大学	m <sup>2</sup> 41,284.36	m <sup>2</sup> 0.00	m <sup>2</sup> 2,329.29	m <sup>2</sup> 486.39	m <sup>2</sup> 0.00	m <sup>2</sup> 44,100.04	% 29.73
附属病院	10,717.53	68,561.67	22,426.23	177.89	0.00	101,883.32	68.69
保育園	0.00	0.00	1,068.38	0.00	0.00	1,068.38	0.72
厳檜会館	1,117.49	0.00	0.00	0.00	0.00	1,117.49	0.75
ゲストハウス	0.00	0.00	0.00	0.00	158.43	158.43	0.11
合 計	53,119.38	68,561.67	25,823.90	664.28	158.43	148,327.66	100.00
構造比率	% 35.81	% 46.22	% 17.41	% 0.45	% 0.11	% 100.00	

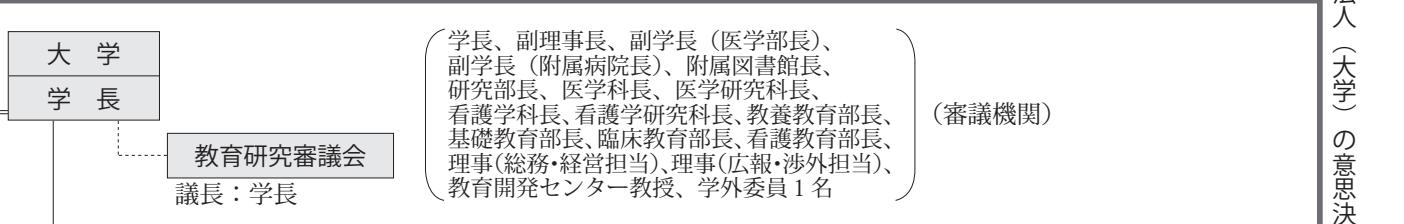
## 4. 公立大学法人奈良県立医科大学 組織機構図

R3. 5. 1 現在

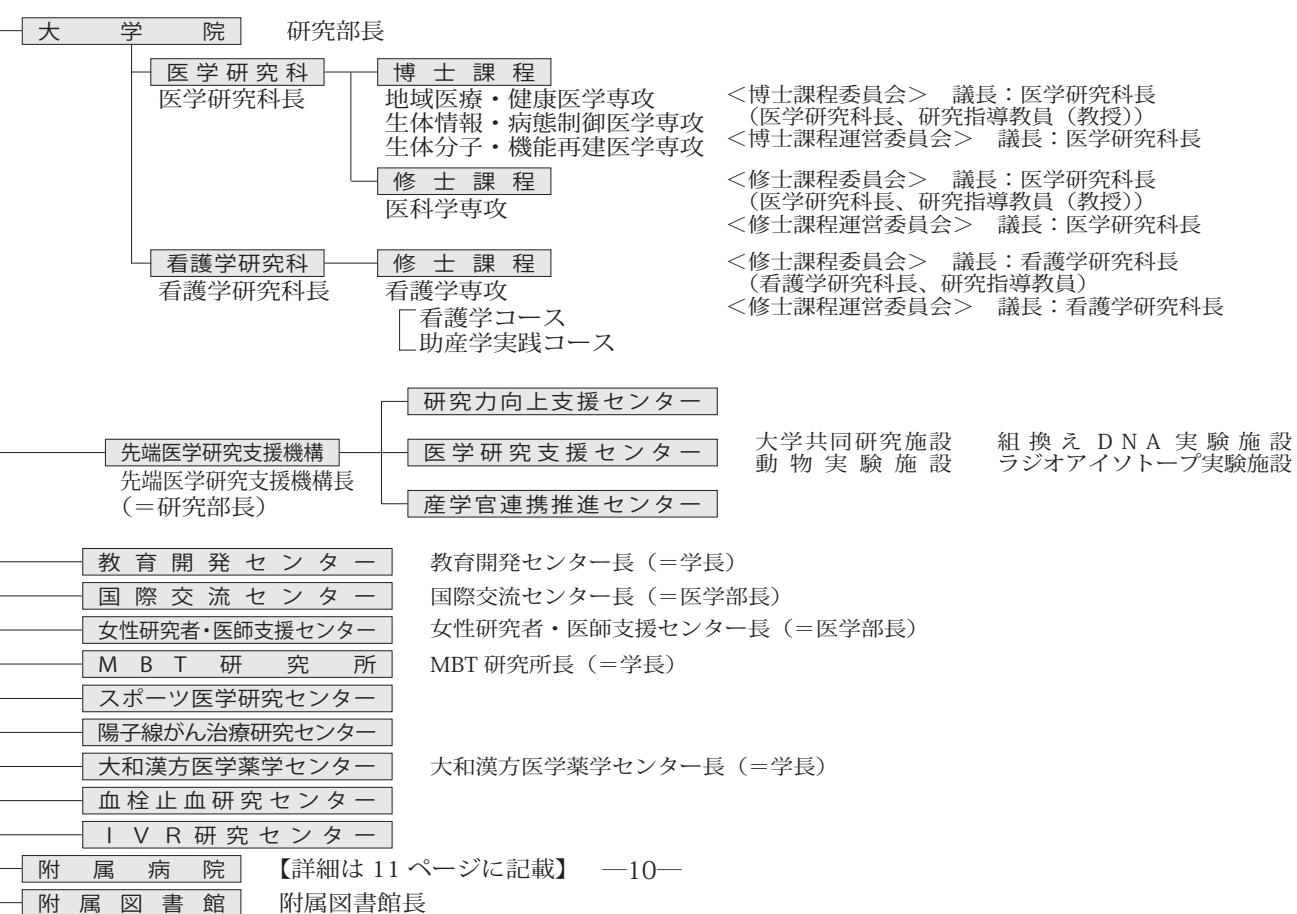
### 【法人運営組織】



【大学運営組織】



【大学：教育研究組織】



【附屬病院：組織】

附属病院長（副学長）

副院長（4人）

事務長

病院経営・運営会議

議長：附屬病院長

病院運営協議会

議長：附屬病院長

医局長會議

議長：附屬病院長

診療部

(29 診療科)

（附属病院長、副院長、事務長、各プロジェクトリーダー、薬剤部長、法人企画部長、病院経営部長、経営企画課長、病院管理課長、医療サービス課長、医療相談室長、患者・家族支援室長、医療職事務支援室長、財務企画課長、情報推進室長）

(附属病院長・副院長・事務長・各診療科部長・中央診療施設の長・技師長・薬剤部長・看護部長・栄養管理部長・臨床研修センター長・臨床研究センター長・生命倫理監理室長・医療安全管理者・感染管理室長・総務・経営担当理事・病院経営部長・経営企画課長・病院管理課長・医療サービス課長・医療相談室長・患者・家族支援室長・医療職事務支援室長・総務課長・財務企画課長・新キャンパス・施設マネジメント課長・情報推進室長

（附属病院長・事務長、各診療科医局長、各中央診療施設医局長、薬剤部長、看護部長、病院経営部長、経営企画課長、病院管理課長、医療サービス課長、医療相談室長、患者・家族支援室長、医療職事務支援室長

中央診療施設

(10部・19センター  
・2室)

薬剤部

看護部

榮養管理部

病院事務部

臨床研修センター

医療技術センター

臨床研究センター

生命倫理監理室

(病院経営部をもって充てる)

## 5. 役 職 員

### (1) 役職員名簿

R3.5.1 現在

法 人 員				県費奨学生配置センター			
○ 役 員				センター長事務取扱 理事長			
理 事 長	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司
副 事 長	細 井 和 也	細 井 和 也	細 井 和 也	細 井 和 也	細 井 和 也	細 井 和 也	細 井 和 也
理 事 (総務・経営担当)	宇 都 宮 弘 和	宇 都 宮 弘 和	宇 都 宮 弘 和	宇 都 宮 弘 和	宇 都 宮 弘 和	宇 都 宮 弘 和	宇 都 宮 弘 和
事務局長(兼)							
理 事 (教育・研究担当)	嶋 吉 緑 倫	嶋 吉 緑 倫	嶋 吉 緑 倫	嶋 吉 緑 倫	嶋 吉 緑 倫	嶋 吉 緑 倫	嶋 吉 緑 倫
理 事 (医療担当)	吉 川 公 彦	吉 川 公 彦	吉 川 公 彦	吉 川 公 彦	吉 川 公 彦	吉 川 公 彦	吉 川 公 彦
理 事 (兼) (広報・涉外担当)	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司
監 事	藤 敦 子	藤 敦 子	藤 敦 子	藤 敦 子	藤 敦 子	藤 敦 子	藤 敦 子
監 事	山 田 阳 彦	山 田 阳 彦	山 田 阳 彦	山 田 阳 彦	山 田 阳 彦	山 田 阳 彦	山 田 阳 彦
○ 法人特命企画官				今 村 知 明			
				Bolstad Francesco			
○ 経営審議会委員							
理 事 長	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司				
副 事 長	細 井 和 也	細 井 和 也	細 井 和 也				
理 事 (総務・経営担当)	宇 都 宮 弘 和	宇 都 宮 弘 和	宇 都 宮 弘 和				
理 事 (教育・研究担当)	嶋 吉 緑 倫	嶋 吉 緑 倫	嶋 吉 緑 倫				
理 事 (医療担当)	相 田 俊 夫	相 田 俊 夫	相 田 俊 夫				
学 外 委 員	大 畑 建 浩	大 畑 建 浩	大 畑 建 浩				
学 外 委 員	川 本 敬 理	川 本 敬 理	川 本 敬 理				
学 外 委 員	松 間 村	松 間 村	松 間 村				
法 人 企 画 部							
法人企画部長							
総 務 課 長							
秘書・広報室長(兼)							
人 事 課 長							
財 務 企 画 課 長							
研究推進課長							
教育支援課長							
新キャンパス・施設マネジメント課長							
病 院 経 営 部							
病院経営部長							
経営企画課長							
病院管理課長							
医療サービス課長							
医療相談室長							
患者・家族支援室長(兼)							
医療職事務支援室長事務取扱							
危 機 管 理 室							
室 長(兼)							
情 報 推 進 室							
室 長							
監 査 室							
室 長							
県立医大医師派遣センター							
センター長事務取扱 理事長							
副センター長							
県費奨学生配置センター				県民健康増進支援センター			
				センターセンターロン	センターセンターロン	センターセンターロン	センターセンターロン
				センター長事務取扱 理事長	センター長事務取扱 理事長	センター長事務取扱 理事長	センター長事務取扱 理事長
				嶋 富 岡 緑 公 倫 子	嶋 富 岡 緑 公 倫 子	嶋 富 岡 緑 公 倫 子	嶋 富 岡 緑 公 倫 子
県民健康増進支援センター				健康管理センター			
				センター長(兼) 理事(兼)	センター長(兼) 理事(兼)	センター長(兼) 理事(兼)	センター長(兼) 理事(兼)
				コーディネーター 特任准教授	コーディネーター 特任准教授	コーディネーター 特任准教授	コーディネーター 特任准教授
				嶋 富 岡 緑 公 倫 子	嶋 富 岡 緑 公 倫 子	嶋 富 岡 緑 公 倫 子	嶋 富 岡 緑 公 倫 子
健康管理センター				看護実践・キャリア支援センター			
				センター長 病院教授	センター長 病院教授	センター長 病院教授	センター長 病院教授
				古 西 満	古 西 満	古 西 満	古 西 満
看護実践・キャリア支援センター				寄附講座			
				センター長(兼) 看護部長	センター長(兼) 看護部長	センター長(兼) 看護部長	センター長(兼) 看護部長
				橋 渋 口 智 子	橋 渋 口 智 子	橋 渋 口 智 子	橋 渋 口 智 子
				講 師	講 師	講 師	講 師
寄附講座				スポーツ医学			
				教授(寄附講座)(兼)	教授(寄附講座)(兼)	教授(寄附講座)(兼)	教授(寄附講座)(兼)
				講 師(寄附講座)	講 師(寄附講座)	講 師(寄附講座)	講 師(寄附講座)
手 の 外 科				手 の 外 科			
				教授(寄附講座)	教授(寄附講座)	教授(寄附講座)	教授(寄附講座)
				血栓止血分子病態学	血栓止血分子病態学	血栓止血分子病態学	血栓止血分子病態学
				V - i C l i n i X	V - i C l i n i X	V - i C l i n i X	V - i C l i n i X
				骨軟部腫瘍制御・機能再建学	骨軟部腫瘍制御・機能再建学	骨軟部腫瘍制御・機能再建学	骨軟部腫瘍制御・機能再建学
				地域医療支援・教育学	地域医療支援・教育学	地域医療支援・教育学	地域医療支援・教育学
				前立腺小線源治療	前立腺小線源治療	前立腺小線源治療	前立腺小線源治療
				准教授(寄附講座)(兼)	准教授(寄附講座)(兼)	准教授(寄附講座)(兼)	准教授(寄附講座)(兼)
共同研究講座				共同研究講座			
				血栓止血医薬生物学	血栓止血医薬生物学	血栓止血医薬生物学	血栓止血医薬生物学
				教授(共同研究講座)(兼)	教授(共同研究講座)(兼)	教授(共同研究講座)(兼)	教授(共同研究講座)(兼)
				嶋 緑 倫	嶋 緑 倫	嶋 緑 倫	嶋 緑 倫
地域医療学講座				地域医療学講座			
				地域 医 療 学			
				教授(地域医療学講座)	教授(地域医療学講座)	教授(地域医療学講座)	教授(地域医療学講座)
				准教授	准教授	准教授	准教授
				赤 周 井 藤 靖 俊	赤 周 井 藤 靖 俊	赤 周 井 藤 靖 俊	赤 周 井 藤 靖 俊
医師・患者関係学講座				医師・患者関係学講座			
				医師・患者関係学	医師・患者関係学	医師・患者関係学	医師・患者関係学
				教授(寄附講座)	教授(寄附講座)	教授(寄附講座)	教授(寄附講座)
				医師・患者関係学	医師・患者関係学	医師・患者関係学	医師・患者関係学
				特任教授	特任教授	特任教授	特任教授
				石 皆 井 藤 均 章	石 皆 井 藤 均 章	石 皆 井 藤 均 章	石 皆 井 藤 均 章
医療人育成機構				医療人育成機構			
				機構長(兼) 医学部長	機構長(兼) 医学部長	機構長(兼) 医学部長	機構長(兼) 医学部長
				嶋 若 赤 橋 月 井 口	嶋 若 赤 橋 月 井 口	嶋 若 赤 橋 月 井 口	嶋 若 赤 橋 月 井 口
				部門長(兼) 教育教授	部門長(兼) 教育教授	部門長(兼) 教育教授	部門長(兼) 教育教授
				嶋 若 赤 橋 月 井 口	嶋 若 赤 橋 月 井 口	嶋 若 赤 橋 月 井 口	嶋 若 赤 橋 月 井 口
				卒後の医師教育成部門	卒後の医師教育成部門	卒後の医師教育成部門	卒後の医師教育成部門
				部門長(兼) 教授	部門長(兼) 教授	部門長(兼) 教授	部門長(兼) 教授
				嶋 若 赤 橋 月 井 口	嶋 若 赤 橋 月 井 口	嶋 若 赤 橋 月 井 口	嶋 若 赤 橋 月 井 口
				卒後の看護師教育成部門	卒後の看護師教育成部門	卒後の看護師教育成部門	卒後の看護師教育成部門
				部門長(兼) 看護部長	部門長(兼) 看護部長	部門長(兼) 看護部長	部門長(兼) 看護部長
大学				大学			
				学 長	学 長	学 長	学 長
				細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司
				副 学 長	副 学 長	副 学 長	副 学 長
				(医学部長)	(医学部長)	(医学部長)	(医学部長)
				細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司
				副 学 長	副 学 長	副 学 長	副 学 長
				(附属病院長)	(附属病院長)	(附属病院長)	(附属病院長)
				細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司
○ 教育研究審議会委員				○ 教育研究審議会委員			
				学 長	学 長	学 長	学 長
				細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司
				副 事 長	副 事 長	副 事 長	副 事 長
				細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司
				副 学 長	副 学 長	副 学 長	副 学 長
				(医学部長)	(医学部長)	(医学部長)	(医学部長)
				細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司
				副 学 長	副 学 長	副 学 長	副 学 長
				(附属病院長)	(附属病院長)	(附属病院長)	(附属病院長)
				細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司
				附属図書館長(兼)	附属図書館長(兼)	附属図書館長(兼)	附属図書館長(兼)
				研 究 部 長	研 究 部 長	研 究 部 長	研 究 部 長
				細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司
				医 学 科 長(兼)			
				細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司
				医 学 研 究 科 長(兼)			
				細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司
				看 护 学 科 長	看 护 学 科 長	看 护 学 科 長	看 护 学 科 長
				細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司
				看 护 学 研 究 科 長(兼)			
				細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司
				教 養 教 育 部 長	教 養 教 育 部 長	教 養 教 育 部 長	教 養 教 育 部 長
				細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司
				基 礎 教 育 部 長	基 礎 教 育 部 長	基 礎 教 育 部 長	基 礎 教 育 部 長
				細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司	細 井 裕 司

臨床教育部長	長谷川俊	公衆衛生学 教授	明也子吾彩基基人平
看護教育部長	川上正	准教授	和知龍左承利弘一久公
理 事 事 (兼)	宇都宮正	講師	能真恒健和謙雅繁基逸茂仁た孝
理 事 (兼)	細井弘	教授	広定和博敬哲雅利壯博宇裕永文健修良靖章晋剛康宗英宏好隆忠延貴
学 外 委 員	池田裕	講師	正龍勝誠奈哲
○部 局 長		(臨床医学)	
附属図書館長(兼)		循環器内科学 教授	
研究部長	嶋栖	准教授	
医学科長(兼)	吉嶋	講師	
医学研究科長(兼)	正樹	学内講師	
看護学科長(兼)	正吉	教授	斎渡添尾鶴鮫江室山
看護学研究科長(兼)	正澤	講師	内野津治羽治崎屋谷橋田江岡山
教養教育部長	正酒	教授	井本下堀瀬
基礎教育部長	堀井	講師	村村田田島端山口中川松井原水田川生田上口瀬淵方田
臨床教育部長	長谷川	教授	
看護教育部長	川上	准教授	
学 長 補 佐 (地域連携・大学連携担当)	口正	講師	
学 長 補 佐 (学生支援担当)	昌宏	教授	
学 長 補 佐 (未来への飛躍基金担当)	仁洋	講師	
学 長 補 佐 (MBT・産学官連携担当)	吉細	教授	
医 学 部		消化器内科学 教授	
教 育 部 門		准教授	
哲 物 理 学	池邊	講師	
化 学	藤雅	学内講師	
生 物 学	木拓	教授	
臨 床 数 学	木惠	准教授	
臨 床 英 語	昭余	講師	
保 健 体 育	木千	教授	
未 来 基礎 医学	藤圭	准教授	
医 学 科	Bolstad	消化器・総合外科学 教授	
(基 础 医学)	Francesco	講師	
解剖学第一	Mathieson	准教授	
	Paul	講師	
解剖学第二	Blodgett	Michael	
生 理 学 第 一	石指	講師	
生 理 学 第 二	岸本	宏年	
生 化 学	森	通史	
病原体・感染防御医学		英朗	
微生物感染症学			
免 疫 学			
藥 理 学			
疫学・予防医学			





スポーツ医学研究センター  
センター長(兼) 教授

田 中 康 仁

陽子線がん治療研究センター  
センター長(兼) 教授

長谷川 正 俊

大和漢方医学薬学センター

センター長事務取扱 学長  
副センター長(兼) 理事(総務・経営担当)  
コーディネーター 特任教授

細 井 裕 司  
宇都宮 弘 和  
三 谷 和 男

血栓止血研究センター

センター長(兼) 医学部長

嶋 緑 倫

IVR 研究センター

センター長(兼) 附属病院長

吉 川 公 彦

(2) 大学院研究指導教員名簿

博士課程

R3.5.1 現在

専攻	主科目	研究指導教員
医科学	疫学	佐伯 圭吾・大林 賢史
	公衆衛生学	今村 知明・野田 龍也・岡本左和子
	法医学	粕田 承吾
	MBT学	梅田 智広
	生体高分子学	酒井 宏水・山本 恵三
	分子・細胞動態学	永渕 昭良・小林千余子
	相分離生物学	森 英一朗
	分子生体構造科学	西 真弓・堀井 謹子
	機能形態学	和中 明生・辰巳 晃子・田中 達英
	脳神経生理学	斎藤 康彦・豊田ふみよ
	生体機能制御機構学	堀江 恭二
	分子医学化	高澤 伸・廣中安佐子
	生体防御・修復医学	吉川 正英・王寺 幸輝
	微生物学	矢野 寿一・中野 竜一
	免疫学	伊藤 利洋・北畠 正大
	情報伝達薬理学	吉柄 正典・中平 育一
	分子腫瘍病理学	國安 弘基
	発生・再生医学	栗本 一基・小林 久人
	血栓止血先端医学	辰巳 公平
	Human InformatiX学	佐藤 匠徳
	応用医学・医療学	吉柄 正典・杉浦 重樹・久保 薫・菓子野元郎
	循環器システム医科学	中川 修・渡邊 裕介・斎藤 能彦
	循環器病態制御医学	斎藤 能彦
	腎臓病態制御医学	鶴屋 和彦
	呼吸器・血液病態制御医学	室 繁郎・瀬田 薫・吉川 雅則・山内 基雄・天野 逸人・本津 茂人・藤田 幸男
	消化器病態・代謝機能制御医学	吉治 仁志・美登路 昭・赤羽だけみ・浪崎 正・守屋 圭・瓦谷 英人・鍛治 孝祐
	糖尿病・内分泌内科学	高橋 裕
	臨床神経筋病態学	杉江 和馬・形岡 博史・泉 哲石・桐山 敬生・斎藤こずえ
	消化器機能制御医学	庄 雅之・池田 直也・小山 文一・澤井 利夫・久下 博之・松本 壮平
	脳神経機能制御医学	中瀬 裕之・朴 永銘・中川 一郎・西村 文彦
	循環・呼吸機能制御医学	澤端 章好
	運動器再建医学	田中 康仁・面川 庄平・朴木 寛弥・城戸 顯・谷口 晃・河村 健二・稻垣 有佐・小川 宗宏・重松 英樹
	スポーツ医科学	田中 康仁・小川 宗宏・井上 和也
	女性生殖器病態制御医学	川口 龍二・成瀬 勝彦・馬淵 誠士
	視覚統合医学	緒方奈保子・上田 哲生・西 智
	発達・成育医学	野上 恵嗣
	発生・発達医学	西久保敏也
	精神医学行動神経科学	牧之段 学・紀本 創兵
	皮膚病態医学	浅田 秀夫・桑原 理充・新熊 悟・宮川 史
	泌尿器病態機能制御医学	藤本 清秀・田中 宣道・米田 龍生・鳥本 一匡
	前立腺小線源治療学	田中 宣道・浅川 勇雄
	耳鼻咽喉・頭頸部機能制御医学	北原 純・山中 敏彰・上村 裕和
	画像診断・低侵襲治療学	平井都始子・田中 利洋・西尾福英之
	放射線腫瘍学	長谷川正俊・浅川 勇雄・玉本 哲郎
	侵襲制御・生体管理医学	川口 昌彦・林 浩伸
	臨床神経モニターラー学	川口 昌彦・中瀬 裕之・林 浩伸・重松 英樹
	総合臨床病態学	西尾 健治・藤本 隆
	口腔・顎顔面機能制御医学	桐田 忠昭・山川 延宏
	救急病態制御医学	福島 英賢
	病理診断学	大林 千穂・藤井 智美・武田麻衣子
	腫瘍薬物治療学	武田 真幸
	リハビリテーション医学	城戸 顯・田中 康仁・眞野 智生
	臨床検査医学	山崎 正晴・水野 麗子
	血液・血流機能再建医学	松本 雅則
	感染病態制御医学	笠原 敬
	先天性心疾患診断治療学・心臓形態学	上村 秀樹
	臨床実証医学	笠原 正登・笠間 周
	先端画像下治療開発応用学	穴井 洋
	陽子線腫瘍学	吉村 均
	医療センシング学	山本 貢平・児玉 秀和

## 修士課程

R3.5.1 現在

専攻	主科目	研究指導教員
医科学	疫学	佐伯 圭吾・大林 賢史
	公衆衛生学	今村 知明・野田 龍也・岡本左和子
	医療経営学	今村 知明・野田 龍也・岡本左和子
	MBT学	梅田 智広
	高分子医学化	酒井 宏水・山本 恵三
	分子・細胞動態学	永渕 昭良・小林千余子
	相分離生物学	森 英一朗
	分子生体構造科学	西 真弓・堀井 謙子
	機能形態学	和中 明生・辰巳 晃子・田中 達英
	脳神経生理学	齋藤 康彦
	生体機能制御機構学	堀江 恭二
	分子医学化	高澤 伸・廣中安佐子
	微生物学	矢野 寿一・中野 竜一
	感染免疫学	伊藤 利洋・北畠 正大
	情報伝達薬理学	吉栖 正典・中平 毅一
	分子腫瘍病理学	國安 弘基
	発生・再生医学	栗本 一基・小林 久人
	応用医学・医療学	吉栖 正典・杉浦 重樹・久保 薫・菓子野元郎
	循環器システム医科学	中川 修・渡邊 裕介・斎藤 能彦
	循環器病態制御医学	斎藤 能彦
	腎臓病態制御医学	鶴屋 和彦
	呼吸器病態制御医学	室 繁郎・吉川 雅則・山内 基雄・藤田 幸男
	脳神経機能制御医学	中瀬 裕之・中川 一郎
	運動器再建医学	田中 康仁・面川 庄平・朴木 寛弥・城戸 顕・谷口 晃・河村 健二・稻垣 有佐・小川 宗宏・重松 英樹
	スポーツ医学	田中 康仁・井上 和也・小川 宗宏
	小児病態制御医学	野上 恵嗣
	発生・発達医学	西久保敏也
	皮膚病態医学	浅田 秀夫・桑原 理充・宮川 史・新熊 悟
	画像診断・低侵襲治療学	田中 利洋・西尾福英之
	放射線腫瘍学	長谷川正俊
	侵襲制御・生体管理医学	川口 昌彦・林 浩伸
	臨床神経モニター学	川口 昌彦・中瀬 裕之・林 浩伸・重松 英樹
	口腔・顎顔面機能制御医学	桐田 忠昭・山川 延宏
	病理診断学	大林 千穂・藤井 智美
	リハビリテーション医学	城戸 顕・田中 康仁・眞野 智生
	臨床検査医学	山崎 正晴・水野 麗子
	血液・血流機能再建医学	松本 雅則
	臨床実証医学	笠原 正登・笠間 周
	先端画像下治療開発応用学	穴井 洋
	陽子線腫瘍学	吉村 均
看護学	健康新科学	(心と脳の発達学) 太田 豊作 (環境病態学) 濱田 薫
	基礎看護学	松田 明子
	看護実践応用学	石澤美保子
	がん看護学	田中 登美
	高齢者看護学	澤見 一枝
	小児看護学	川上あづさ
	女性健康・助産学	(女性健康学) 五十嵐稔子・(周産期看護学) 五十嵐稔子
	精神看護学	風間 真理
	在宅看護学	小竹久実子
	公衆衛生看護学	城島 哲子・坂東 春美
	周麻酔期看護学	川口 昌彦・井上 聰己

## 6. 職員構成

### (1) 役職員数

R3. 5. 1 現在

	学長等	教授	准教授	講師	学内講師	助教	小計	事務	技術	看護	教務	小計	総計
役員	5	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5
小計	5	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5
教養教育	0	4	6	4	0	3	17	0	0	0	0	0	17
基礎医学教育	0	14	9	7	1	24	55	0	1	0	7	8	63
臨床医学教育	0	21	20	44	22	97	204	0	0	0	0	0	204
小計	0	39	35	55	23	124	276	0	1	0	7	8	284
看護学教育	0	11	1	12	0	9	33	0	0	0	0	0	33
法人企画部	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
監査室	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
危機管理室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報推進室	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	8
総務課	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	7
秘書・広報室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人事課	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	14
財務企画課	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	9
研究推進課	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	12
教育支援課	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	2	16	16
新キャンパス・施設マネジメント課	0	0	0	0	0	0	0	9	12	0	0	21	21
小計	0	0	0	0	0	0	0	77	12	0	2	91	91
病院経営部	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
経営企画課	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	7
病院管理課	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	12
医療サービス課	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	14
医療相談室	0	0	0	0	0	0	0	4	3	0	0	0	7
患者・家族支援室	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	2
医療職事務支援室	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2
小計	0	0	0	0	0	0	0	41	3	1	0	45	45
県立大医師派遣センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
県費奖学金配置センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県民健康増進支援センター	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
健康管理センター	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	2	3
看護実践・キャリア支援センター	0	0	0	1	0	0	1	0	0	6	0	6	7
住居医学講座	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
血栓制御医学講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血圧制御医学講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人工関節・骨軟骨再生医学講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ医学講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交友病治療・病態解析学講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手の外科講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交友病教育講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血栓止血分子病態学講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生体分子不均衡制御学共同研究講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血栓止血医業生物学共同研究講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域医学講座	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
糖尿病学講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
良き医療人育成学講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医師・患者関係学講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
V-Clinix 講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域医療支援・教育学講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨軟部腫瘍制御・機能再建医学講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前立腺小線源治療講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育開発センター	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
国際交流センター	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
MBT研究所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ医学研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性研究者・医師支援センター	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1
大和漢方医学美学センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血栓止血研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IVR研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先端医学研究支援機構	0	0	0	4	0	0	4	0	0	0	0	0	4
小計	0	1	8	2	0	0	11	2	0	8	0	10	21
感染制御内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	0	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	2
リハビリテーション科	0	0	1	1	0	0	1	3	0	0	0	0	3
中央臨床検査部	0	0	1	1	0	0	0	2	0	58	0	0	58
輸血部	0	1	0	0	0	0	1	2	0	8	0	8	10
中央手術部	0	0	0	1	0	0	6	7	0	0	0	0	7
集中治療部	0	0	1	0	0	0	4	5	0	0	0	0	5
中央放射線部	0	0	1	0	0	0	1	2	0	51	0	0	51
中央内視鏡部	0	0	2	0	0	0	2	4	0	0	0	0	4
透析部	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
病院病理部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療情報部	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
高度救命救急センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合周産期母子医療センター	0	0	1	1	0	0	9	11	0	0	0	0	11
感染症センター	0	0	1	0	0	0	2	3	0	0	0	0	3
精神医療センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腫瘍センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケアセンター	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
移植細胞培養センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メディカルバースセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペインセンター	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
リウマチセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
糖尿病センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先天性心疾患センター	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
周術期管理センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IVRセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉井進記念四肢外傷センター	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
総合画像診断センター	0	0	1	1	0	0	3	5	0	0	0	0	5
めまいセンター	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
高度外科学技術センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳卒中センター	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
乳腺センター	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
中央材料室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遺伝力センシング室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬剤部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59	0	0	59
看護部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1067	0	1067	1067
栄養管理部	0	0	1	0	0	0	1	0	10	0	0	10	11
臨床研修センター	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0	0	2	3
医療技術センター	0	0	0	0	0	0	0	0	107	0	0	107	107
臨床研究センター	0	1	1	1	0	3	6	3	9	7	0	19	25
医療安全推進室	0	0	1	0	0	0	0	1	1	3	0	5	6
感染管理室	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
地域医療連携室	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
入退院支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	7	0	15
生命倫理監理室	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4	0	6
ゲノム診断・組織保存センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	0	3	22	7	0	33	65	10	326	1088	0	1424	1489
総合計	5	54	66	76	23	166	390	130	342	1097	9	1578	1968

## (2) 教員数

	教授	准教授	講師	学内講師	助教	現員
教養教育	哲学	0	1	0	0	1
	統計・情報学	0	0	0	0	0
	物理学	0	1	1	0	2
	化学	1	1	0	0	1
	生物学	1	0	1	0	1
	臨床数学	1	0	1	0	2
	臨床英語	1	1	1	0	3
	独語	0	0	0	0	0
	保健体育	0	1	0	0	1
	未来基礎医学	0	1	0	0	1
小計		4	6	4	0	17
基礎医学教育	第一解剖学	1	0	1	1	3
	第二解剖学	1	1	1	0	1
	第一生理学	1	1	0	0	2
	第二生理学	1	0	1	0	1
	生化学	1	1	0	0	2
	病理病態学	0	0	0	0	0
	病原体・感染防御医学	1	1	0	0	2
	微生物感染症学	1	1	0	0	2
	免疫学	1	0	1	0	2
	薬理学	1	1	0	0	2
小計		14	9	7	1	55
臨床医学教育	循環器内科学	1	1	1	1	4
	腎臓内科学	1	0	2	0	3
	呼吸器内科学	1	1	2	0	5
	血液内科学	0	0	0	0	0
	消化器内科学	1	1	3	1	5
	糖尿病・内分泌内科学	1	0	1	0	2
	脳神経内科学	1	1	2	0	3
	消化器・総合外科学	1	1	2	1	6
	脳神経外科学	1	2	2	2	11
	胸部・心臓血管外科学	0	1	2	0	6
小計		21	20	44	22	97
看護学教育	整形外科学	1	1	2	3	4
	口腔外科学	1	1	2	1	3
	産婦人科学	0	1	2	0	5
	眼科学	1	1	1	2	4
	小児科学	1	0	2	0	6
	精神医学	0	1	2	3	11
	皮膚科学	1	1	1	1	7
	泌尿器科学	1	1	2	2	3
	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1	1	2	1	4
	放射線診断・IVR学	0	1	2	1	4
小計		11	1	12	0	33
セントラル等	成人急重症看護学	1	0	2	0	1
	成人慢性期看護学	1	0	2	0	3
	老年看護学	1	0	2	0	2
	小児看護学	1	0	2	0	3
	母性看護学	1	0	3	0	1
	精神看護学	1	0	2	0	3
	在宅看護学	1	0	1	0	2
	公衆衛生看護学	1	1	0	0	1
	小計	11	1	12	0	33
小計		0	0	0	0	0
中央部門	県立医大医師派遣センター	0	0	0	0	0
	県費奖学金配置センター	0	0	0	0	0
	県民健康増進支援センター	0	0	0	0	0
	健康管理センター	0	1	0	0	1
	看護実践・キャリア支援センター	0	0	1	0	1
	地域医療学講座	1	1	0	0	2
	糖尿病学講座	0	0	0	0	0
	良好医療人育成学講座	0	0	0	0	0
	医師・患者関係学講座	1	0	0	0	1
	教育開発センター	0	1	0	0	1
小計		2	7	2	0	0
感染症内科学		0	0	0	0	0
形成外科		0	1	0	0	1
リハビリテーション科		0	1	1	0	3
中央臨床検査部		0	1	1	0	2
輸血部		1	0	0	0	1
中央手術部		0	0	1	0	6
集中治療部		0	1	0	0	4
中央放射線部		0	1	0	0	1
中央内視鏡部		0	2	0	0	2

	教授	准教授	講師	学内講師	助教	現員
中央部門	透析部	0	1	0	0	1
	病院病理部	0	0	0	0	0
	医療情報部	0	1	0	0	1
	高度救命救急センター	0	0	0	0	0
	総合周産期母子 MFICU	0	0	0	4	4
	NICU	0	1	1	0	7
	感染症センター	0	1	0	2	3
	精神医療センター	0	0	0	0	0
	腫瘍センター	0	0	0	0	0
	緩和ケアセンター	0	1	0	0	1
移植細胞培養センター		0	0	0	0	0
小児センター		0	0	0	0	0
メディカルバースセンター		0	0	0	0	0
ペインセンター		0	1	0	0	1
リウマチセンター		0	0	0	0	0
糖尿病センター		0	0	0	0	0
先天性心疾患センター		1	0	0	0	1
周術期管理センター		0	0	0	0	0
IVRセンター		0	0	0	0	0
玉井記念四肢外傷センター		0	1	0	0	1
総合画像診断センター		0	1	1	0	3
めまいセンター		0	1	0	0	1
高度金融科技センター		0	0	0	0	0
認知症センター		0	0	0	0	0
脳卒中センター		0	2	0	0	2
乳腺センター		0	1	0	0	1
中央材料室		0	0	0	0	0
遺伝カウンセリング室		0	0	0	0	0
薬剤部		0	0	0	0	0
看護部		0	0	0	0	0
栄養管理部		0	1	0	0	1
臨床研修センター		0	0	1	0	1
医療技術センター		0	0	0	0	0
臨床研究センター		1	1	1	0	3
医療安全推進室		0	1	0	0	1
感染管理室		0	0	0	0	0
地域医療連携室		0	0	0	0	0
入退院支援センター		0	0	0	0	0
生命倫理監理室		0	0	0	0	0
ゲノム診断・組織保存センター		0	0	0	0	0
小計		3	22	7	0	33
総合計		55	65	76	23	385
	教授	准教授	講師	学内講師	助教	現員
寄附講座等	県立医大医師派遣センター	0	0	0	0	0
	県費奖学金配置センター	0	0	0	0	0
	県民健康増進支援センター	0	0	0	0	0
	住居医学講座	0	0	0	0	0
	血栓制御医学講座	0	0	0	0	0
	血圧制御医学講座	0	0	0	0	0
	人工関節・骨軟骨再生医学講座	0	0	0	0	0
	スポーツ医学講座	0	0	1	0	1
	血管病治療・病態解析学講座	0	0	0	0	0
	手の外科講座	1	0	0	0	1
血友病教育講座		0	0	0	0	0
血栓止血分子病態学講座		0	0	0	1	1
生体分子不均衡制御学共同研究講座		0	0	0	0	0
血栓止血医業生物学共同研究講座		0	0	0	0	0
V-CliniX 講座		1	0	0	0	1
地域医療支援・教育学講座		0	0	1	0	1
骨軟部腫瘍制御・機能再建医学講座		1	0	0	0	1
前立腺小線維治療講座		1	0	0	0	1
地域医療学講座		1	1	0	0	2
糖尿病学講座		0	0	0	0	0
良き医療人育成学講座		0	0	0	0	0
医師・患者関係学講座		1	0	0	0	1
MBT研究所		0	0	0	0	0
スポーツ医学研究センター		0	0	0	0	0
女性研究者・医師支援センター		0	0	1	0	1
大和漢方医学講座		0	0	0	0	0
教育開発センター		0	1	0	0	1
国際交流センター		0	0	0	0	0
M BT研究所		0	0	0	0	0
スポーツ・医学研究センター		0	0	0	0	0
女性研究者・医師支援センター		0	0	1	0	1
大和漢方医学講座		1	0	0	0	1
教育開発センター		0	1	0	0	1
国際交流センター		0	0	0	0	0
MBT研究所		0	0	0	0	0
スポーツ・医学研究センター		0	0	0	0	0
女性研究者・医師支援センター		0	0	1	0	1
大和漢方医学講座		1	0	0	0	1
教育開発センター		0	1	0	0	1
国際交流センター		0	0	0	0	0
MBT研究所		0	0	0	0	0
スポーツ・医学研究センター		0	0	0	0	0
女性研究者・医師支援センター		0	0	1	0	1
大和漢方医学講座		1	0	0	0	1
教育開発センター		0	1	0	0	1
国際交流センター		0	0	0	0	0
MBT研究所		0	0	0	0	0
スポーツ・医学研究センター		0	0	0	0	0
女性研究者・医師支援センター		0	0	1	0	1
大和漢方医学講座		1	0	0	0	1
教育開発センター		0	1	0	0	1
国際交流センター		0	0	0	0	0
MBT研究所		0	0	0	0	0
スポーツ・医学研究センター		0	0	0	0	0
女性研究者・医師支援センター		0	0	1	0	1
大和漢方医学講座		1	0	0	0	1
教育開発センター		0	1	0	0	1
国際交流センター		0	0	0	0	0
MBT研究所		0	0	0	0	0
スポーツ・医学研究センター		0	0	0	0	0
女性研究者・医師支援センター		0	0	1	0	1
大和漢方医学講座		1	0	0	0	1

## 7. 歴代校長・学長

初代校長 (事務取扱)	今村荒男	昭20・4・21～21・12・28
第二代校長	緒方準一	昭21・12・28～22・4・16
初代学長	岩永仁雄	昭22・4・16～22・6・18
第二代学長	岩永仁雄	昭22・6・18～27・1・23
第三代学長	吉松信宝	昭27・1・23～35・2・8
第四代学長 (事務取扱)	緒方準一	昭35・2・9～47・2・8
第五代学長	安澄権八郎	昭47・2・9～47・5・31
第六代学長 (事務取扱)	鳥居健三	昭47・6・1～47・8・4
第七代学長	石川昌義	昭47・8・5～51・8・4
第八代学長	堀浩	昭51・8・5～52・11・24
第九代学長	梅垣健三	昭52・11・25～53・4・17
第十代学長	梅垣健三	昭53・4・18～59・3・31
第十一代学長	増原建二	昭59・4・1～平2・3・31
第十二代学長	石川兵衛	平2・4・1～6・3・31
第十三代学長	辻井正	平6・4・1～10・3・31
第十四代学長	岡島英五郎	平10・4・1～13・6・30
(事務取扱)	市島國雄	平13・7・1～13・9・30
第十五代学長	吉田修	平13・10・1～20・3・31
第十六代学長	吉岡章	平20・4・1～26・3・31
第十七代学長	細井裕司	平26・4・1～

## 8. 歴代部局長

### 医学部長（平19.4.1から副学長兼務）

大西武雄	平18・4・1～20・3・31
喜多英二	平20・4・1～26・3・31
車谷典男	平26・4・1～令2・3・31
嶋緑倫	令2・4・1～

### 附属病院長（平19.4.1から副学長兼務）

緒方準一	昭20・7・1～31・5・31
中島佐一	昭31・6・1～41・5・31
宝来善次	昭41・6・1～44・9・8
堀浩 <small>(事務取扱)</small>	昭44・7・16～44・9・8
堀浩	昭44・9・9～45・3・31
吉田邦男	昭45・4・1～47・3・31
堀浩	昭47・4・1～51・3・31
増原建二	昭51・4・1～55・3・31
白鳥常男	昭55・4・1～59・3・31
石川兵衛	昭59・4・1～63・3・31
辻井正	昭63・4・1～平4・3・31
一條元彦	平4・4・1～6・3・31
岡島英五郎	平6・4・1～8・3・31
松永喬	平8・4・1～10・3・31
打田日出夫	平10・4・1～12・3・31
中野博重	平12・4・1～12・11・14
平尾佳彦 <small>(事務取扱)</small>	平12・11・15～12・12・31
榎壽右	平13・1・1～14・3・31
吉岡章	平14・4・1～16・3・31
高倉義典	平16・4・1～19・3・31
榎壽右	平19・4・1～24・3・31

古家仁 平24・4・1～令2・3・31  
吉川公彦 令2・4・1～

### 附属図書館長

鎌倉勝夫	昭25・10・31～37・10・31
小谷尚三	昭37・11・1～39・8・31
中馬一郎	昭39・9・1～40・3・31
柴田衛敏	昭40・4・1～44・3・31
黒河内寛	昭44・4・1～46・3・31
北村旦	昭46・4・1～48・3・31
榎泰義	昭48・4・1～52・3・31
鳥居健三	昭52・4・1～52・12・6
高楠彰 <small>(事務取扱)</small>	昭52・12・7～53・3・31
高楠彰	昭53・4・1～55・3・31
螺良義彦	昭55・4・1～59・3・31
荒木恒治	昭59・4・1～61・3・31
福井弘	昭61・4・1～63・3・31
神谷知彌	昭63・4・1～平2・3・31
廣田忠臣	平2・4・1～6・3・31
山下節義	平6・4・1～8・3・31
米増國雄	平8・4・1～12・3・31
中嶋敏勝	平12・4・1～16・3・31
宮川幸子	平16・4・1～18・3・31
中村忍	平18・4・1～20・3・31
平尾佳彦	平20・4・1～24・3・31
木村弘	平24・4・1～28・3・31
車谷典男	平28・4・1～令2・3・31
嶋緑倫	令2・4・1～

### 研究部長

喜多 英二 平16・4・1～18・3・31  
東野 義之 平18・4・1～20・3・31  
大崎 茂芳 平20・4・1～21・3・3  
喜多 英二 平21・3・4～21・3・31  
小西 登 平21・4・1～26・3・31  
嶋 緑倫 平26・4・1～令2・3・31  
吉栖 正典 令2・4・1～

### 医学科長

吉原紘一朗 平16・4・1～18・3・31  
車谷 典男 平28・4・1～令2・3・31  
嶋 緑倫 令2・4・1～

### 医学研究科長

嶋 緑倫 平28・4・1～令2・3・31  
吉栖 正典 令2・4・1～

### 看護学科長

伊藤 明子 平16・4・1～18・3・31  
(兼看護教育部長)  
飯田 順三 平20・4・1～26・3・31  
軸丸 清子 平26・4・1～28・3・31  
飯田 順三 平28・4・1～30・3・31  
石澤美保子 平30・4・1～

### 看護学研究科長

飯田 順三 平28・4・1～30・3・31  
石澤美保子 平30・4・1～

教養教育部長(昭57.3.31までは進学主事、平6.3.31までは進学部長、平27.3.31までは一般教育部長)  
大原 親 昭48・6・1～49・4・30  
鳥居 健三 昭49・5・1～50・4・30  
池邊 義教 昭50・5・1～51・4・30  
春日 隆 昭51・5・1～52・4・30  
河野洋太郎 昭52・5・1～53・4・30  
野津 敬一 昭53・5・1～54・4・30  
山本 稔 昭54・5・1～55・3・31  
鳥居 健三 昭55・4・1～56・3・31  
池邊 義教 昭56・4・1～57・3・31  
鳥居 健三 昭57・4・1～59・3・31  
野津 敬一 昭59・4・1～63・3・31  
池邊 義教 昭63・4・1～平4・3・31  
河野洋太郎 平4・4・1～6・3・31  
高橋 賢博 平6・4・1～8・3・31  
伊藤 善將 平8・4・1～10・3・31  
大西 武雄 平10・4・1～14・3・31  
豊田 剛 平14・4・1～16・3・31  
大崎 茂芳 平16・4・1～20・3・31  
大西 武雄 平20・4・1～22・3・31  
大崎 茂芳 平22・4・1～24・3・31  
平井 國友 平24・4・1～27・3・31  
酒井 宏水 平27・4・1～

### 基礎教育部長

高木 都 平16・4・1～20・3・31  
羽竹 勝彦 平20・4・1～24・3・31  
車谷 典男 平24・4・1～26・3・31  
吉栖 正典 平26・4・1～令2・3・31  
堀江 恒二 令2・4・1～

### 臨床教育部長

平尾 佳彦 平16・4・1～20・3・31  
古家 仁 平20・4・1～24・3・31  
福井 博 平24・4・1～26・3・31  
上野 聰 平26・4・1～28・3・31  
吉川 公彦 平28・4・1～30・3・31  
長谷川正俊 平30・4・1～

### 看護教育部長

守本とも子 平18・4・1～20・3・31  
脇田満里子 平20・4・1～24・3・31  
軸丸 清子 平24・4・1～26・3・31  
石澤美保子 平26・4・1～30・3・31  
川上あづさ 平30・4・1～

### 学生部長

妻鹿 友一 昭39・4・1～43・3・31  
伊藤 登 昭43・4・1～44・4・24  
螺良 義彦 昭44・4・25～44・11・25  
(事務取扱)  
鳥居 健三 昭44・12・9～46・12・8  
黒河内 寛 昭46・12・9～48・12・8  
螺良 義彦 昭48・12・9～50・12・8  
樺葉 周三 昭50・12・9～52・12・6  
榎 泰義 昭52・12・7～53・3・31  
(事務取扱)  
榎 泰義 昭53・4・1～57・3・31  
高楠 彰 昭57・4・1～59・3・31  
村田 吉郎 昭59・4・1～61・3・31  
山本 浩司 昭61・4・1～63・3・31  
廣田 忠臣 昭63・4・1～平2・3・31  
神谷 知彌 平2・4・1～6・3・31  
日浅 義雄 平6・4・1～10・3・31  
山本 浩司 平10・4・1～12・3・31  
市島 國雄 平12・4・1～14・3・31  
吉原紘一朗 平14・4・1～16・3・31

### 総合研究施設部長

神谷 知彌 平6・4・1～8・3・31  
小西 陽一 平8・4・1～12・3・31  
東野 義之 平12・4・1～14・3・31  
米増 國雄 平14・4・1～16・3・31

### 看護短期大学部長

白井 利彦 平8・4・1～10・3・31  
西信 元嗣 平10・4・1～12・3・31  
森川 肇 平12・4・1～16・3・31  
伊藤 明子 平16・4・1～18・3・31  
守本とも子 平18・4・1～19・3・31

## 附属看護専門学校長

緒方 準一 昭29・2・10～35・3・31  
中島 佐一 昭35・4・1～41・7・31  
宝来 善次 昭41・8・1～43・7・31  
石川 昌義 昭43・8・1～45・7・31  
福井 定光 昭45・8・1～47・7・31  
堀 浩 昭47・8・1～47・8・4  
(事務取扱)  
坂本 邦樹 昭47・8・5～52・7・31  
堀 浩 昭52・8・1～52・11・24  
(事務取扱)  
梅垣 健三 昭52・11・25～52・12・6  
(事務取扱)  
中尾 主一 昭52・12・7～53・3・31  
(事務取扱)  
中尾 主一 昭53・4・1～57・3・31  
石川 兵衛 昭57・4・1～59・3・31  
一條 元彦 昭59・4・1～63・3・31  
内海庄三郎 昭63・4・1～平2・3・31  
松永 喬 平2・4・1～6・3・31  
玉井 進 平6・4・1～8・3・31  
白井 利彦 平8・4・1～10・3・31  
西信 元嗣 平10・4・1～11・3・31

## 事務局長

片岡 忠治 昭21・1・1～28・6・21  
福本 政雄 昭28・6・22～32・2・27  
岡本 俊雄 昭32・2・28～32・10・11  
松本 善裕 昭32・10・12～43・4・30  
岡本 俊雄 昭43・5・1～45・12・1  
伊藤 和夫 昭45・12・2～46・4・30  
竹田 初生 昭46・5・1～46・7・9  
三井 善一 昭46・7・10～50・3・31  
南本 佐 昭50・4・1～53・3・31  
今西 寅二 昭53・4・1～54・3・31  
今西 三良 昭54・4・1～55・3・31  
藪田 忠昭 昭55・4・1～58・3・31  
梅垣 健三 昭58・4・1～58・4・12  
(事務取扱)  
舛井 勝 昭58・4・13～59・3・31  
喜多 清 昭59・4・1～59・11・30  
西川 公二 昭59・12・1～60・3・31  
木岡 源次 昭60・4・1～61・3・31  
八田 栄次 昭61・4・1～63・3・31  
安曾田 豊 昭63・4・1～平元・3・31  
力馬 通郎 平元・4・1～2・3・31  
大森光三郎 平2・4・1～4・7・31  
岩本 正雄 平4・8・1～5・3・31  
(事務取扱)  
辻 政紀 平5・4・1～8・3・31  
福井 常夫 平8・4・1～10・3・31  
大倉 潔 平10・4・1～12・3・31  
安川 宣彦 平12・4・1～14・6・6  
上森 健廣 平14・6・7～16・3・31  
松田 光央 平16・4・1～18・3・31  
瓜生 英明 平18・4・1～19・3・31  
山下 昌宏 平26・4・1～28・3・31  
(事務取扱)  
中川 裕介 平28・4・1～29・3・31  
(事務取扱)

杉山 孝 平29・4・1～31・3・31  
(事務取扱)  
西浦 嘉彦 平31・4・1～令3・3・31  
(事務取扱)  
宇都宮弘和 令3・4・1～  
(事務取扱)

## 9. 歴代役員

### 理事長

吉田 修 平19・4・1～20・3・31  
吉岡 章 平20・4・1～26・3・31  
細井 裕司 平26・4・1～

### 副理事長

瓜生 英明 平19・4・1～19・5・10  
西尾 哲夫 平19・5・11～23・3・31  
米田 隆史 平23・4・1～23・5・8  
(職務代理)  
橋本 弘隆 平23・5・9～26・3・31  
林 洋 平26・4・1～令3・3・31  
杵井 和也 令3・4・1～

### 理事 (総務・経営担当)

瓜生 英明 平19・4・1～22・3・31  
米田 隆史 平22・4・1～24・3・31  
(職務代理)  
大西 峰夫 平24・4・1～26・3・31  
山下 昌宏 平26・4・1～28・3・31  
中川 裕介 平28・4・1～29・3・31  
杉山 孝 平29・4・1～31・3・31  
西浦 嘉彦 平31・4・1～令3・3・31  
宇都宮弘和 令3・4・1～

### 理事 (教育・研究担当)

大西 武雄 平19・4・1～20・3・31  
喜多 英二 平20・4・1～26・3・31  
車谷 典男 平26・4・1～令2・3・31  
嶋 緑倫 令2・4・1～

### 理事 (医療担当)

榎 壽右 平19・4・1～24・3・31  
古家 仁 平24・4・1～令2・3・31  
吉川 公彦 令2・4・1～

### 理事 (涉外・企画担当)

吉岡 章 平19・4・1～20・3・31

### 理事 (広報・涉外担当)

細井 裕司 平24・4・1～26・3・31  
細井 裕司 平26・4・1～令2・3・31  
(事務取扱)  
中川 裕介 令2・4・1～令2・10・31  
細井 裕司 令2・11・1～  
(事務取扱)

### 監事

當麻 一郎 平19・4・1～21・3・31  
石黒 良彦 平19・4・1～22・3・31  
伊藤 一博 平21・4・1～25・3・31  
瓜生 英明 平22・4・1～24・3・31  
山田 陽彦 平24・7・1～  
岸 秀隆 平25・4・1～28・6・30  
篠藤 敦子 平28・7・1～

## 10. 名誉教授

発令番号	氏名	授与年月日
1	今村 荒男	昭35・5・1
2	岩永 仁雄	昭35・5・1
3	吉松 信宝	昭35・5・1
4	上田 常吉	昭35・5・1
5	神谷 貞義	昭46・8・1
6	緒方 準一	昭47・5・1
7	中島 佐一	昭47・5・1
8	安澄権八郎	昭47・7・1
9	伊藤 登	昭48・5・1
10	内海 貞夫	昭48・5・1
11	宝来 善次	昭48・5・1
12	高田 博	昭49・5・1
13	鎌倉 勝夫	昭50・5・1
14	吉田 邦男	昭50・6・1
15	石川 昌義	昭51・10・1
16	妻鹿 友一	昭55・5・1
17	中尾 主一	昭58・10・1
18	春日 隆	昭59・1・1
19	梅垣 健三	昭59・5・1
20	鳥居 健三	昭59・5・1
21	白鳥 常男	昭63・7・12
22	螺良 義彦	昭63・7・12
23	野津 敬一	昭63・7・12
24	濱田 信夫	昭63・7・12
25	村田 吉郎	平元・4・1
26	坂本 邦樹	平元・4・1
27	増原 建二	平2・4・1
28	内海庄三郎	平2・4・1
29	黒河内 寛	平3・4・1
30	池邊 義教	平4・4・1
31	森山 忠重	平5・4・1
32	福井 弘	平5・4・1
33	石川 兵衛	平6・4・1
34	堀 浩	平6・7・1
35	原 富之	平6・7・1
36	荒木 恒治	平7・4・1
37	桜葉 周三	平7・4・1
38	廣田 忠臣	平7・4・1
39	奥田 孝雄	平7・4・1
40	高楠 彰	平8・4・1
41	榎 泰義	平8・4・1
42	神谷 知彌	平8・4・1
43	井川 玄朗	平8・4・1
44	一條 元彦	平8・4・1
45	伊東 信行	平8・6・1
46	佐藤 壽昌	平8・10・1
47	河野洋太郎	平9・4・1
48	岡島英五郎	平9・4・1
49	北村惣一郎	平9・10・1
50	辻井 正	平10・4・1
51	北村 旦	平10・11・1
52	田端 司郎	平11・4・1
53	元木澤文昭	平11・4・1
54	日浅 義雄	平11・4・1
55	山下 節義	平11・4・1
56	高柳 哲也	平11・4・1

発令番号	氏名	授与年月日
57	中野 博	平11・4・1
58	松永 喬	平11・4・1
59	玉井 進	平12・4・1
60	西信 元嗣	平12・4・1
61	白井 利彦	平12・4・1
63	小西 陽一	平13・4・1
64	成田 亘啓	平13・4・1
65	打田日出夫	平13・4・1
66	山本 浩司	平14・4・1
67	杉村 正仁	平14・4・1
68	市島 國雄	平15・4・1
69	大石 元	平15・4・1
70	伊藤 善將	平16・4・1
71	高橋 賢博	平16・4・1
72	中嶋 敏勝	平16・4・1
73	三井 宜夫	平16・12・1
74	本田陽太郎	平17・4・1
75	米増 國雄	平17・4・1
76	森川 肇	平17・4・1
77	吉原紘一朗	平18・4・1
78	宮川 幸子	平19・4・1
79	吉田 修	平20・4・1
80	東野 義之	平21・4・1
81	高倉 義典	平21・4・1
82	中村 忍	平21・4・1
83	豊田 剛	平22・4・1
84	大西 武雄	平22・4・1
85	原 嘉昭	平22・4・1
86	石坂 重昭	平23・4・1
87	榎 壽右	平24・4・1
88	大崎 茂芳	平24・4・1
89	高木 都	平24・4・1
90	平尾 佳彦	平24・4・1
91	吉岡 章	平26・4・1
92	喜多 英二	平26・4・1
93	藤村 吉博	平26・4・1
94	澤浦 博	平27・4・1
95	福井 博	平27・4・1
96	脇田満里子	平27・4・1
97	中島 祥介	平28・4・1
98	高橋 幸博	平28・4・1
99	岡本 康幸	平28・4・1
100	上野 聰	平29・4・1
101	木村 弘	平29・4・1
102	小西 登	平29・4・1
103	平井 國友	平30・4・1
104	奥地 一夫	平30・4・1
105	羽竹 勝彦	平31・4・1
106	三笠 桂一	令元・7・1
107	車谷 典男	令 2・4・1
108	古家 仁	令 2・4・1
109	藤本 真一	令 2・4・1
110	小林 浩	令 2・4・1
111	谷口 繁樹	令 3・4・1
112	岸本 年史	令 3・4・1
113	飯田 順三	令 3・4・1

## 第2章 予算・決算

### 1. 令和2年度 決算

貸借対照表  
(令和3年3月31日)

(単位：千円)

資産の部		負債・純資産の部	
固定資産  (うち有形固定資産)  (うち無形固定資産)  (うち投資その他の資産)	24,454,248	固定負債  (うち長期借入金)	21,830,929  (14,146,817)
	(22,073,109)	流動負債  (うち未払金)	14,217,910  (7,775,903)
	(1,810,841)		
	(570,298)	負債合計	36,048,839
流動資産  (うち現金及び預金)  (うち未収入金)	14,631,654	資本金	20,066,173
	(3,673,462)	資本剰余金	△ 14,954,786
	(10,258,567)	繰越欠損金  (うち当期総未処分利益)	△ 2,074,325  (927,914)
		純資産合計	3,037,063
資産合計	39,085,902	負債純資産合計	39,085,902

注：千円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない箇所があります。

損益計算書  
(令和元年度・令和2年度対比)

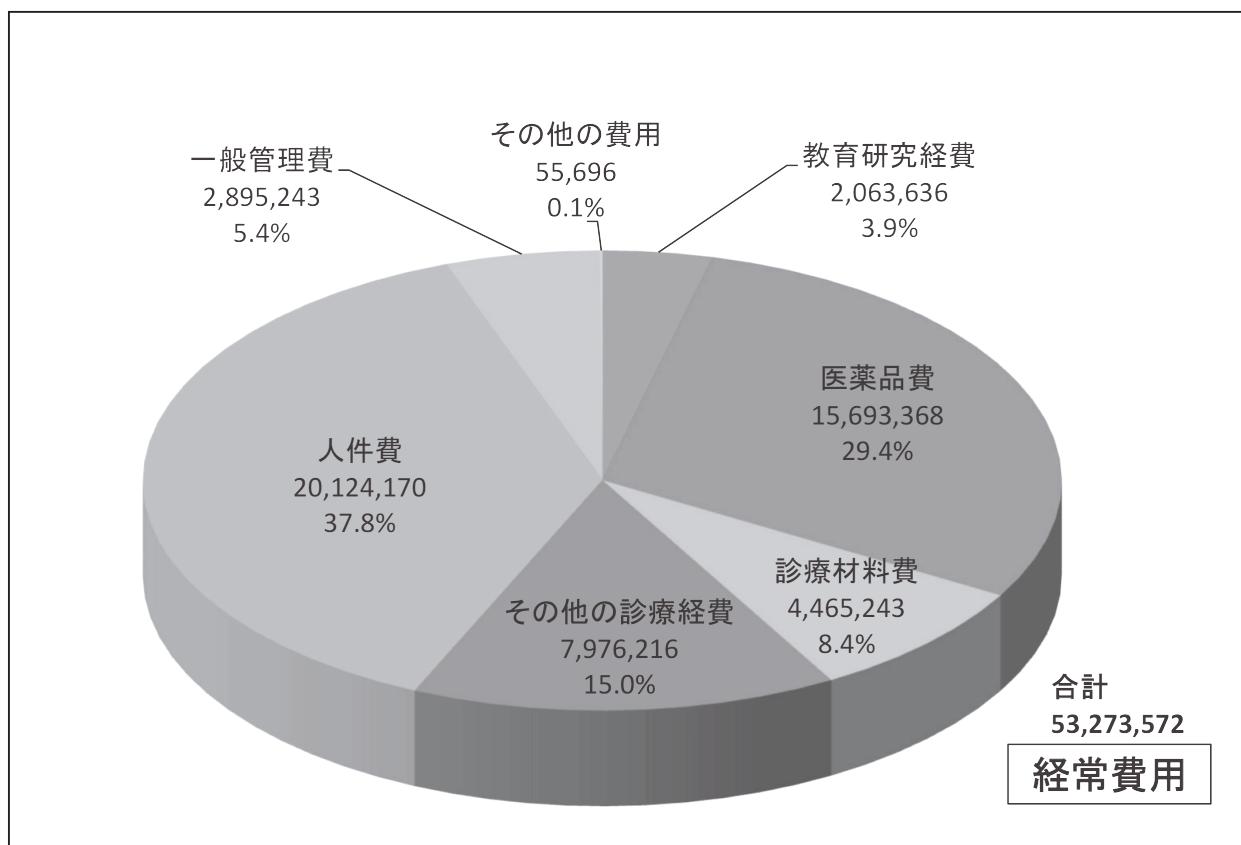
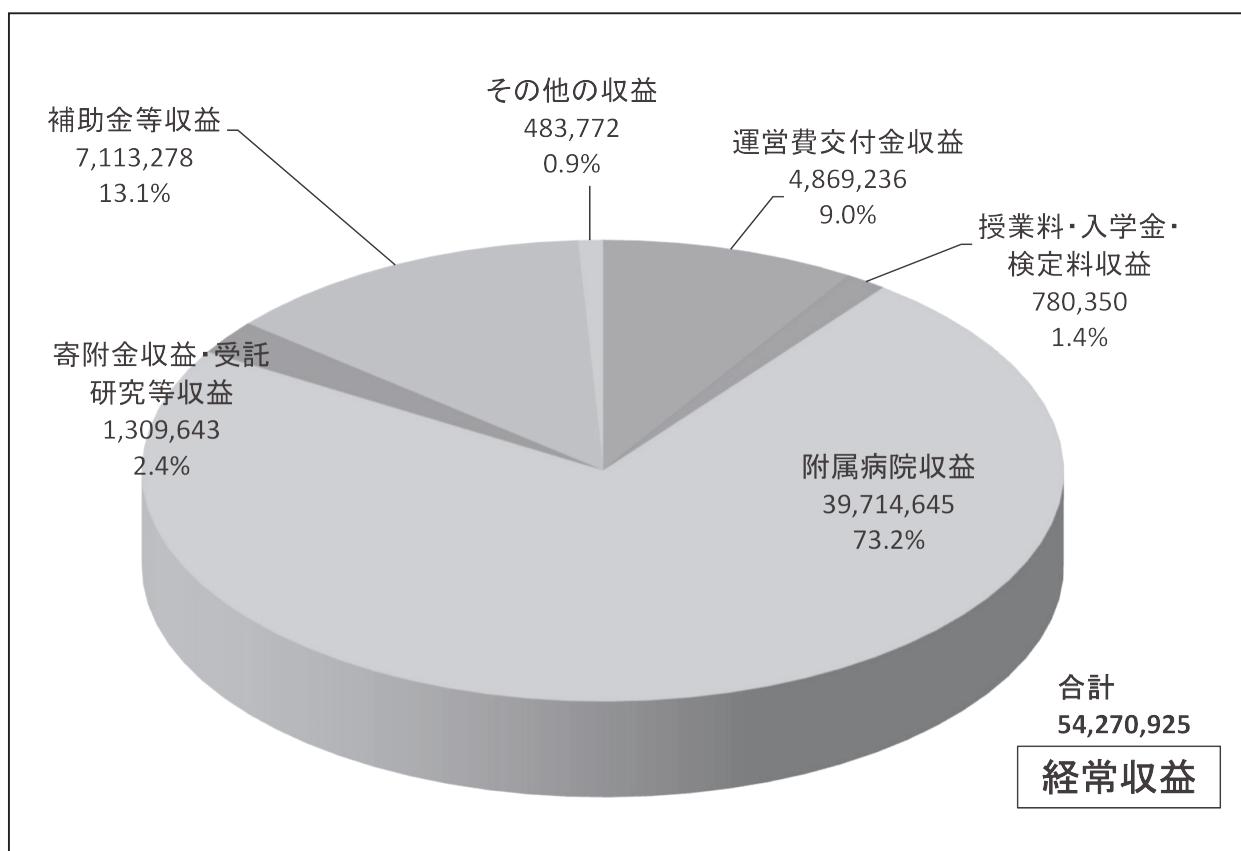
(単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	増減
経常費用			
教育研究経費（受託研究費含む）	2,067,986	2,063,636	△ 4,350
診療経費	28,526,458	28,134,827	△ 391,631
人件費	19,371,546	20,124,170	752,624
一般管理費	2,750,070	2,895,243	145,173
その他の費用	56,558	55,696	△ 862
経常費用合計	52,772,617	53,273,572	500,955
経常収益			
運営費交付金収益	4,891,979	4,869,236	△ 22,743
授業料・入学金・検定料収益	784,150	780,350	△ 3,800
附属病院収益	43,783,711	39,714,645	△ 4,069,066
寄附金収益・受託研究等収益	1,258,499	1,309,643	51,144
補助金等収益	830,950	7,113,278	6,282,328
その他の収益	441,913	483,772	41,859
経常収益合計	51,991,202	54,270,925	2,279,723
経常利益	△ 781,415	997,353	1,778,768
臨時損失	24,253	73,016	48,763
臨時利益	3,710	3,578	△ 132
当期総利益	△ 801,957	927,914	1,729,871

注：千円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない箇所があります。

## 令和2年度決算 収益・費用の構成

(単位：千円)



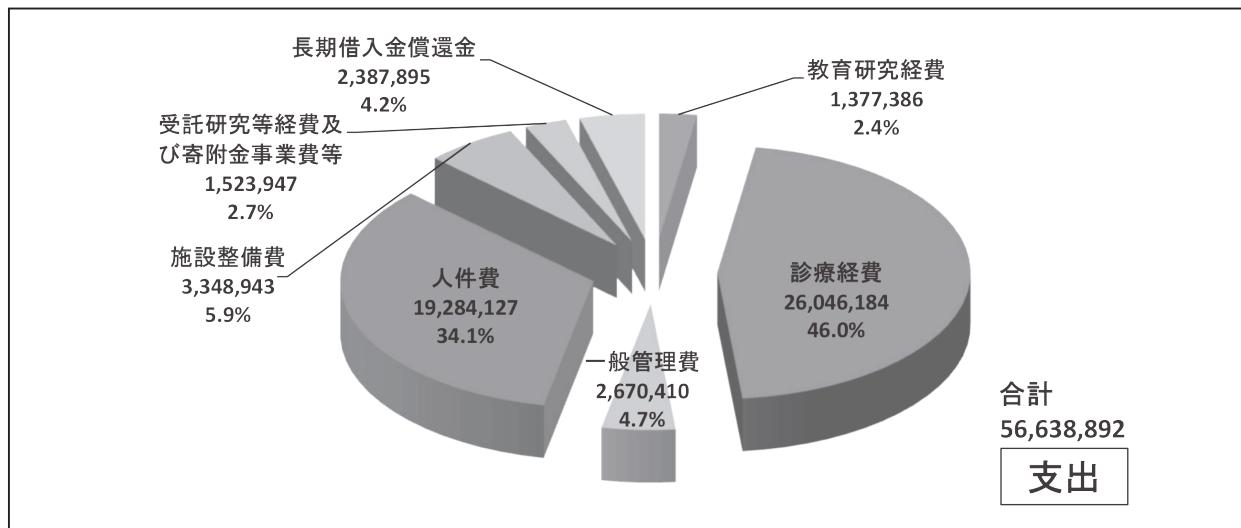
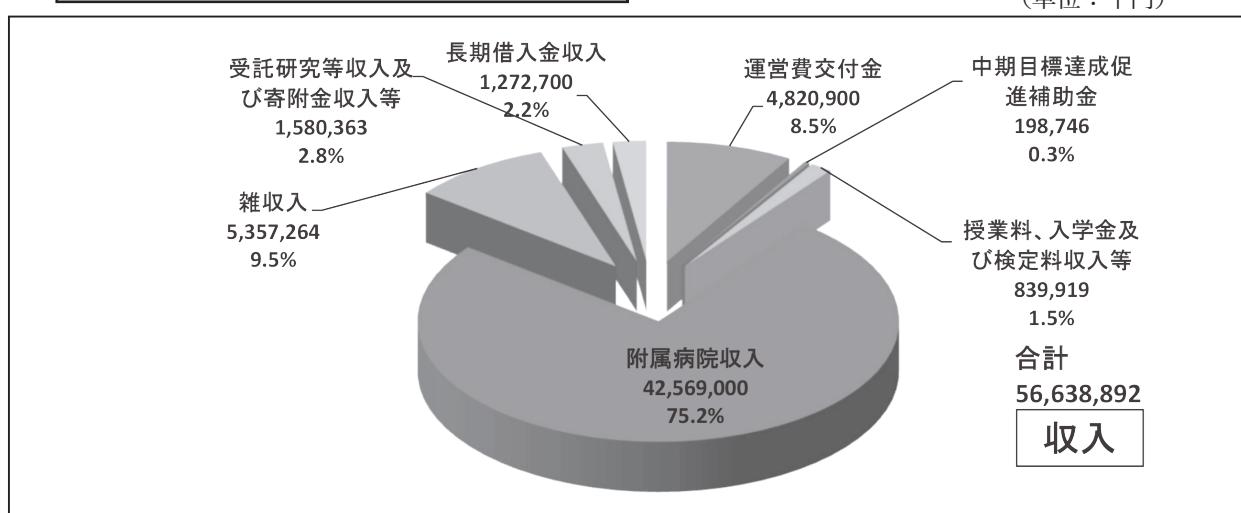
## 2. 年度別予算

(単位：千円)

区分		令和2年度	令和3年度	増減
収入	運営費交付金	4,879,200	4,820,900	△ 58,300
	中期目標達成促進補助金	193,600	198,746	5,146
	自己収入	46,419,600	48,766,183	2,346,583
	授業料、入学金及び検定料収入等	(733,600)	(839,919)	(106,319)
	附属病院収入	(43,652,000)	(42,569,000)	(△ 1,083,000)
	雑収入	(2,034,000)	(5,357,264)	(3,323,264)
	受託研究等収入及び寄附金収入等	1,471,100	1,580,363	109,263
	長期借入金収入	2,495,100	1,272,700	△ 1,222,400
支出	短期借入金収入	358,900	0	△ 358,900
	計	55,817,500	56,638,892	821,392
	業務費	48,862,700	49,378,107	515,407
	教育研究経費	(1,523,100)	(1,377,386)	(△ 145,714)
	診療経費	(25,719,600)	(26,046,184)	(326,584)
	一般管理費	(2,613,900)	(2,670,410)	(56,510)
	人件費	(19,006,100)	(19,284,127)	(278,027)
	施設整備費	3,446,600	3,348,943	△ 97,657

### 令和3年度予算 収入・支出の構成

(単位：千円)



# 第3章 大学・大学院

## 教育目標

### 医学科

#### アドミッションポリシー

1. 医師となる自覚が強く、人を思いやる心をもつ、人間性豊かな人
2. 患者安全の観点から患者が安心して受診できる医師となれる人
3. 将来性豊かで、奈良県だけでなく日本、世界の医学界をリードできる人

#### カリキュラムポリシー

1. 倫理観とプロフェッショナリズムの育成、コミュニケーション教育

教養教育では、自律心の向上と倫理学教育に重点を置く。プロフェッショナリズム、コミュニケーション教育に資するため、早期から、高齢者や乳幼児、障害者の施設を見学する機会を持ち、現場で人間的触れ合いを通じて知識だけではない実践的な医療倫理学的素養を培うカリキュラムを配置する。

2. 医学、医療とこれらに関連する領域の知識、技能、態度の習得

医学の基盤となる知識を早期から段階的に積み上げていく教育カリキュラムを配置する。

①教養教育では語学や自然科学の基本を習得し、生命科学を学ぶための基盤を作り上げるカリキュラムを配置する。  
②基礎医学では、医学の根幹となる解剖学、生理学、生化学を学び、さらに、発展的な基礎医学知識を獲得できるようには段階的なカリキュラムを配置する。

③臨床医学では、広範な知識と基本的臨床技能を習得できるようなカリキュラムを配置する。知識、技能、態度が共用試験（CBT、Pre-CC OSCE）による全国共通試験でも確認された後に、Student Doctorとして臨床実習に参加させる。

④臨床実習では、診療参加の実態を確保し、医療面接と診療技法を中心とした実践的な教育を行う。また、臨床実習の終了時点でPost-CC OSCEを実施し、得られた臨床技能、態度の確認を行う。

3. 國際的な視野と科学的探究心の育成

すべての学生に、研究マインドを涵養するべく、リサーチ・クレーンシップを実施する。関心の高い学生には、早期から生命科学系の研究に参加できるように、6年一貫の「研究医養成コース」を設けている。海外での実習の機会も設ける。

4. 医療を通じた地域社会への貢献

医療システムについての理解を深めることはもちろんであるが、大学内ののみならず、奈良県を中心に地域社会、地域医療と関わりを持つ実体験を通じて、奈良の医療を良くしたいという意欲を高める体験型の教育を行っていく。このための6年一貫の「地域基盤型医療教育コース」を設ける。

#### ディプロマポリシー

所定の期間在学し、カリキュラムポリシーに沿って設定した授業科目を履修し、履修規程で定められた卒業に必要な単位と時間数を修得することが学位授与の要件である。卒業時には以下の能力が求められる。

1. 生命の尊厳と患者の権利を擁護できる高い倫理観とプロフェッショナリズムを身につけている。

2. 医学とそれに関連する領域の正しい知識を身につけている。

3. 医療を適切に実践できる知識、技能、態度を身につけている。

4. 良好的な医療コミュニケーション能力を身につけている。

5. 医学、医療、保健を通じて地域社会へ貢献する意欲と能力を身につけている。

6. 國際的な視野と科学的探究心を身につけている。

## 看護学科

#### アドミッションポリシー

1. 自らを律し、人を思いやる心をもつ、人間性豊かな人

2. 幅広い知識と確かな基礎学力を有し、看護学への興味と科学的探究心をもって学習に取り組める人

3. 國際的な視野で考え方行動できることとともに、地域の保健・医療・福祉に貢献する熱意と行動力のある人

4. 奈良県立医科大学を愛し、その将来を担う志をもつ人

#### カリキュラムポリシー

医学部看護学科であることを最大限に生かし、医学教育と連携して、専門性の高い知識、技術、態度を身につけた学生を育成することを目標として、看護教育カリキュラムを構成する。

1. 専門基礎分野における「人間の理解」と「社会の理解」において人間の尊厳と生命の尊重を理解し、高い倫理観を養う教養科目を配置する。

2. 専門基礎分野における「社会の理解」と「生活・環境の理解」、「健康の理解」において対象者の健康と疾病、障害、環境に関する専門知識および観察力を養う科目を配置する。

3. 専門分野における「看護学の基本」と「看護学の展開」において対象者の健康状態を的確にアセスメントでき、個別性のある看護が展開できる実践能力を養う科目を配置する。

4. 専門分野における「看護学の発展と探究」において看護に関する研究能力を養う科目を配置する。

5. 専門基礎分野における「国際理解」と専門分野における「看護学の発展と探究」において国際社会と地域社会で活躍できる能力を養う科目を配置する。

#### ディプロマポリシー

所定の期間在学し、カリキュラムポリシーに沿って設定した授業科目を履修し、履修規程で定められた卒業に必要な単位を修得することが学位授与の要件である。卒業時には以下の能力が求められる。

1. 生命の尊厳と患者の権利を擁護できる高い倫理観に基づいた全人的ケアを提供できる基礎能力を身につけている。

2. 目的意識を持って、対象者に応じた科学的根拠のある技術の適用と必要性を判断できる基礎能力を身につけている。
3. 対象者の健康状態を的確にアセスメントでき、個別性のある看護を展開する基礎的な実践技術を身につけている。
4. 保健医療における関連職種との協働やヘルスケアシステムにおけるマネジメントの基礎的能力を身につけている。
5. 國際社会および地域社会で活躍できる資質を身につけている。
6. 看護職者としてのアイデンティティを確立し、人間的に成長し続ける姿勢を身につけている。

## 医学研究科

### アドミッションポリシー

1. 独創的な発想と科学的探究心に富み、豊かな人間性をもつ人
2. 医学、医療の分野において、高度の知識、技能を習得し、地域社会に貢献する人
3. 國際的な視野に立ち、高度の研究を通して医学の発展に寄与する人
4. 研究、教育、臨床のいずれの分野においても指導者となる志をもつ人

### カリキュラムポリシー

(修士課程)

1. 大学院研修プログラムを受講し、専攻する領域と医科学全体の関係をよく理解し、幅広い知識、技能を身につけるためのカリキュラムを配置する。
2. 医科学分野の専門的知識を修得し、新たな研究を企画、展開できる能力を培うためのカリキュラムを配置し、地域社会に貢献する人材を育成する。

(博士課程)

1. 大学院研修プログラムの受講と学位公聴会の聴講を通して、高度な医学専門知識を修得し、専攻科目に関連する幅広い知識、技能を身に付けるための必要なカリキュラムを配置する。
2. 2年次終了時の中間報告会において、研究評価を行うことで、最終年度での研究成果のとりまとめに資する。
3. 研究指導教員および研究指導補助教員による個別指導カリキュラムによって、自立した研究活動が行える能力を培う。

### ディプロマポリシー

(修士課程)

本大学院に2年以上（優れた研究業績を上げた者については1年以上）在学し、指導教員の研究分野に所属して研究指導を受け、講義、演習、特別研究の30単位以上を修得し、修士論文の審査および最終試験に合格することが、課程の修了と学位授与の必要条件である。

1. 医科学に関する確かな専門的知識と深い学識を修得している。
2. 生命科学、社会科学、情報科学などの知識を活用して、研究能力が發揮できる。

(博士課程)

本大学院に4年以上（優れた研究業績を上げた者については3年以上）在学し、指導教員の研究分野に所属して研究指導を受け、講義、演習、実験・実習の34単位以上を修得し、博士論文の審査および最終試験に合格することが、課程の修了と学位授与の必要条件である。

1. 医学に関する高度な学識と研究能力を修得し、未開の領域を切り開く能力と意欲が身についている。
2. 先端医学・医療に貢献できる高度の専門的な能力が身についている。

## 看護学研究科

### アドミッションポリシー

1. 人間に対する深い关心と生命倫理や医療倫理を身につけている人
2. 専攻分野における基礎知識を身につけている人
3. 自ら進んで課題に取り組む意欲と探究心がある人
4. 看護学の教育、研究、実践の分野で地域社会に貢献する意志があり、看護学関連分野を学習してきた人

### カリキュラムポリシー

1. 教育理念・目的に基づき、豊かな感性、人間性と高度専門職業人としての倫理観を備え、高度化、専門分化および多様化していく医療に要求される知識や技術を的確に習得、発展させながら、実践科学としての看護学を探求する高度な実践能力と基礎的な研究能力を育成するために必要なカリキュラムを配置する。
2. 看護学コースと助産学実践コースを置き、すべての学生が幅広く専門知識を修得するために共通科目を配置する。看護学コースでは各専門分野に必要な能力を養成するために、特論、演習、特別研究の授業科目を配置する。さらに助産学実践コースでは助産師となるために必要な特論、演習、実習科目を配置する。

### ディプロマポリシー

本大学院に2年以上（優れた研究業績を上げた者については1年以上）在学し、授業科目について、看護学コースのうち、論文コースにあっては30単位以上修得し、かつ、修士論文の審査及び最終試験に合格することが、高度実践コースの高度実践看護師教育課程（専門看護師教育課程）にあっては40単位以上、同コースの周麻酔期看護師教育課程にあっては46単位以上修得し、かつ、特定の課題についての研究の成果（以下、「課題研究成果物」という。）の審査及び最終試験に合格することが、助産学実践コースにあっては、58単位以上修得し、かつ、課題研究成果物の審査及び最終試験に合格することが、課程の修了と学位授与の必要条件である。修了時には以下の能力が求められる。

1. 看護学に関する確かな専門知識と深い学識を修得している。
2. 生命科学、社会科学、情報科学などの知識を活用して研究能力が發揮できる。
3. 看護専門職者（論文コース修了者）として、地域医療での指導能力を発揮できる。
4. 看護専門職者（高度実践コース修了者）として、高度な実践能力と指導能力を発揮できる。
5. 看護専門職者（助産学実践コース修了者）として、地域における周産期医療での指導能力と高度な実践能力を発揮できる。

## 1. 学生定員及び現員 R3.5.1 現在

### (1) 医学部医学科

学年区分		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
定員		113	115	115	115	115	115	688
現員	男	86	83	86	84	69	81	489
	女	32	41	27	28	31	35	194
計	118	124	113	112	100	116	683	

### (2) 医学部看護学科

学年区分		1年	2年	3年	4年	合計
定員		85	85	85	85	340
現員	男	7	3	2	5	17
	女	78	82	83	80	323
計	85	85	85	85	340	

### (3) 大学院 <博士課程>

学年区分	1年			2年			3年			4年			合計		
	定員	現員		定員	現員		定員	現員		定員	現員		定員	現員	
		男	女		男	女		男	女		男	女		男	女
医科学専攻	40	38	14	52	40	51	12	63	40	38	7	45	40	34	14
計	40	38	14	52	40	51	12	63	40	38	7	45	40	34	14
													160	161	47
													208		

### (4) 大学院 <修士課程>

学年区分	1年			2年			合計		
	定員	現員		定員	現員		定員	現員	
		男	女		男	女		男	女
医科学専攻	5	6	0	6	5	7	2	9	10
看護学専攻	10	0	9	9	10	3	14	17	20
計	15	6	9	15	15	10	16	26	30
									16
									25
									41

## 2. 県内・県外別学生数 R3.5.1 現在

### (1) 医学部医学科

学年区分		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
県内	30	29	28	26	27	37	177	
県外	88	95	85	86	73	79	506	
計	118	124	113	112	100	116	683	

### (2) 医学部看護学科

学年区分		1年	2年	3年	4年	合計
県内	48	52	50	49	199	
県外	37	33	35	36	141	
計	85	85	85	85	340	

### (3) 大学院 <博士課程>

学年区分		1年	2年	3年	4年	合計
県内	28	16	20	22	86	
県外	24	47	25	26	122	
計	52	63	45	48	208	

### (4) 大学院 <修士課程>

#### ① 医科学専攻

学年区分		1年	2年	合計
県内	1	3	4	
県外	5	6	11	
計	6	9	15	

#### ② 看護学専攻

学年区分		1年	2年	合計
県内	3	6	9	
県外	6	11	17	
計	9	17	26	

### 3. 志願者数及び入学者数

#### (1) 医学部医学科

年 度	平成 28				平成 29				平成 30				平成 31				令和 2				令和 3			
	推 薦		一 般		推 薦		一 般		推 薦		一 般		推 薦		一 般		推 薦		一 般		推 薦		一 般	
	緊急 医師	地域 枠	前 期	後 期	緊急 医師	地域 枠	前 期	後 期	緊急 医師	地域 枠	前 期	後 期	緊急 医師	地域 枠	前 期	後 期	緊急 医師	地域 枠	前 期	後 期	緊急 医師	地域 枠	前 期	後 期
入学定員	113				113				113				113				113				113			
日程別 入学定員	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53
志願者数 A	147	206	191	831	153	173	324	1418	111	178	201	929	126	169	205	797	123	149	163	968	75	143	153	888
第 1 段階選抜 合格者数	—	—	実施 なし	743	実施なし		742	実施なし		742	実施なし		742	実施なし		742	実施なし		742	実施なし		742		
受験者数 B	134	199	164	356	137	167	283	288	102	173	167	336	117	168	178	358	116	147	138	298	72	140	123	271
合格者数 C	13	25	22	61	14	25	22	61	13	25	22	59	13	25	22	64	13	25	22	64	13	25	22	67
追加合格者数 (C の内数)	—	—	—	8	1	—	—	8	—	—	—	6	—	—	—	11	—	—	—	11	—	—	—	14
入学者数	113				113				113				113				113				113			
日程別 入学者数	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53	13	25	22	53
志願倍率 A/C	11.3	8.2	8.7	13.6	10.9	6.9	14.7	23.2	8.5	7.1	9.1	15.7	9.7	6.8	9.3	12.5	9.5	6.0	7.4	15.1	5.8	5.7	7.0	13.3
競争倍率 B/C	10.3	8.0	7.5	5.8	9.8	6.7	12.9	4.7	7.8	6.9	7.5	5.6	9.0	6.7	8.1	5.6	8.9	5.9	7.4	4.7	5.5	5.6	5.6	4.0

#### (2) 医学部看護学科

年 度	平成 28				平成 29				平成 30				平成 31				令和 2				令和 3					
	推 薦	社 会 人	一 般 (前 期)		編 入	推 薦	社 会 人	一 般 (前 期)		推 薦	社 会 人	一 般 (前 期)		推 薦	社 会 人	一 般 (前 期)		推 薦	社 会 人	一 般 (前 期)		推 薦	社 会 人	一 般 (前 期)		
			一 般 枠	地 域 枠				一 般 枠	地 域 枠																	
入学定員	35	5	35	10	5	35	5	35	10	35	5	35	10	35	5	35	10	35	40	10	35	40	10	35	40	10
志願者数 A	64	16	55	42	7	80	8	55	38	77	6	107	33	67	6	113	44	68	97	44	88	105	40			
第 1 段階選抜 合格者数	—	—	実施なし	—	実施なし				実施なし				実施なし				実施なし				実施なし					
受験者数 B	64	14	53	42	7	79	8	53	37	77	6	101	33	65	6	111	43	68	94	43	88	102	38			
合格者数 C	35	1	38	16	4	35	1	37	15	35	3	36	13	35	2	37	13	35	42	10	35	40	10			
追加合格者数 (C の内数)	—	—	3	1	—	—	—	2	—	—	1	—	—	2	—	—	2	—	—	2	—	—	—	—	—	—
入学者数	35	0	35	15	4	35	0	35	15	35	2	35	13	35	2	35	13	35	40	10	35	40	10			
志願倍率 A/C	1.8	16	1.4	2.6	1.8	2.3	8.0	1.5	2.5	2.2	2.0	2.9	2.5	1.9	3.0	3.0	3.4	1.9	2.3	4.4	2.5	2.6	4.0			
競争倍率 B/C	1.8	14	1.4	2.6	1.8	2.3	8.0	1.4	2.5	2.2	2.0	2.8	2.5	1.9	3.0	3.0	3.3	1.9	2.2	4.3	2.5	2.6	3.8			

注：一般選抜後期日程は平成 27 年度に廃止、編入学試験は平成 28 年度に廃止、社会人特別選抜試験は平成 31 年度に廃止しています。

#### (3) 大 学 院 <博士課程>

区 分	年 度	平成 28		平成 29		平成 30		平成 31		令和 2		令和 3	
			秋		秋		秋		秋		秋		秋
志 勸 者 数		47	9	48	6	40	5	43	6	58	11	45	
入学者数	本学出身者	33	5	25	3	29	3	31	3	41	4	25	
	他大学出身者	12	4	12	3	11	1	11	2	17	6	17	
	計	45	9	37	6	40	4	42	5	58	10	42	

(4) 大学院 <修士課程>

① 医科学専攻

区分	年 度							令和2	令和3
		平成28	平成29	平成30	平成31	令和2	令和3		
入学者数	志願者数	8	9	11	8	10	6		
	本学出身者	0	0	0	0	1	0		
	他大学出身者	8	6	10	7	7	6		
	計	8	6	10	7	8	6		

② 看護学専攻

区分	年 度							令和2	令和3
		平成28	平成29	平成30	平成31	令和2	令和3		
入学者数	志願者数	21	20	17	16	18	16		
	本学出身者	5	5	7	4	4	2		
	他大学出身者	5	6	4	7	8	7		
	計	10	11	11	11	12	9		

## 4. 卒業者数

(1) 医学部 医学科

回 卒業年 男女別	医学専門 学校 合計	旧制県立 医科大学 合計	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	新制医科 大学 合計	卒業者數 合計
			平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31	令和 2	令和 3		
男	95	151	65	75	74	71	65	75	74	91	78	88	4,010	4,256
女	—	—	30	25	22	32	40	34	33	25	27	25	1,125	1,125
計	95	151	95	100	96	103	105	109	107	116	105	113	5,135	5,381

(2) 医学部 看護学科

卒業年 男女別	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31	令和 2	令和 3	卒業者數 合計
	3	5	7	2	4	3	5	2	4	2	54
男	89	76	80	80	78	83	83	82	80	81	1,141
女	92	81	87	82	82	86	88	84	84	83	1,195

(3) 大学院 (博士課程単位修了者数)

卒業年 男女別	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31	令和 2	令和 3	合計
	12	13	17	20	15	15	15	36	42	42	831
女	4	3	7	5	6	5	3	9	7	6	121
計	16	16	24	25	21	20	18	45	49	48	952

(4) 大学院 (修士課程修了者数)

① 医学研究科

卒業年 男女別	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31	令和 2	令和 3	合計
	3	5	8	2	5	9	4	5	7	7	62
男	4	4	2	4	4	3	2	2	3	0	30
女	7	9	10	6	9	12	6	7	10	7	92

② 看護学研究科

卒業年 男女別	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31	令和 2	令和 3	合計
	1	0	1	1	0	0	1	0	4
男	8	10	4	10	8	11	10	8	69
女	9	10	5	11	8	11	11	8	73

## 5. 卒業後の状況

### (1) 医学部医学科

状況		卒業年 (年度)	平成 29 (H28)	平成 30 (H29)	平成 31 (H30)	令和 2 (R1)	令和 3 (R2)
卒業者	卒業者数		109	107	116	105	113
	内 訳	県内出身者		43	34	40	31
		県外出身者		66	73	76	74
県内	卒後臨床研修 プログラム名	奈良医療圏	4	6	12	9	7
		西和医療圏	5	2	6	7	4
		東和医療圏	1	2	0	3	6
		中南和医療圏 (内数 医大単独型)	42 (31)	44 (35)	51 (34)	39 (38)	43 (41)
		その他医療機関	9	8	2	1	0
小計		61	62	69	59	60	
県外	床卒後修臨	他大学附属病院	7	8	6	9	13
		その他医療機関	25	36	30	36	32
	小計		32	44	36	45	45
その他		16	1	9	1	8	

### (2) 医学部看護学科

状況		卒業年 (年度)	平成 29 (H28)	平成 30 (H29)	平成 31 (H30)	令和 2 (R1)	令和 3 (R2)
卒業者	卒業者数		86	88	84	84	83
	内 訳	県内出身者		55	61	50	44
		県外出身者		31	27	34	30
県内	看護師	本学附属病院	47	37	42	45	48
		県内病院	0	4	7	0	2
	保健師	5	4	7	6	2	
県外	看護師	公立病院	15	14	10	15	12
		私立病院	8	15	10	7	14
	保健師	1	5	0	1	2	
進学		8	7	5	5	3	
その他		2	1	3	5	0	

## 6. 学位授与者数

区分 年度	大学院修了者										学位論文提出者	計	
	生理系	病理系	社会医学系	内科系	外科系	健康医学	地域医療	病態制御医学	生体情報	再建	生体分子機能	医科学	
平成 28	—	—	—	—	—	5	3	9	—	17	23	40	
平成 29	—	—	—	—	—	2	6	6	—	14	18	32	
平成 30	—	—	—	—	—	7	8	10	—	25	10	35	
令和元	—	—	—	—	—	8	11	17	—	36	28	64	
令和 2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	48	48	53	101
新制学位授与者累計	48	88	12	160	223	48	60	105	48	792	1,508	2,300	

## 7. 研究生数、専修生数、医科学研究生数及び博士研究員数

各年度 5月 1日現在

区分	年度	平成 29	平成 30	平成 31	令和 2	令和 3
研究生		33	13	7	5	—
専修生		71	49	34	19	—
医科学研究生		14	24	23	18	23
博士研究員		105	123	136	142	157

## 8. 解剖件数

種別 年度	系統解剖	病理解剖	法医解剖	計
平成 28	27	63	187 (司法解剖: 161) 新法解剖: 26)	277
平成 29	27	58	178 (司法解剖: 149) 新法解剖: 29)	263
平成 30	25	42	186 (司法解剖: 155) 新法解剖: 31)	253
令和元	27	40	222 (司法解剖: 194) 調査法解剖: 28)	289
令和 2	27	27	193 (司法解剖: 180) 調査法解剖: 13)	247

## 9. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業

R3. 5. 1 現在  
(件、千円)

年 度	令和元年度				令和 2 年度				令和 3 年度				
	区 分	応募件数	応募金額	交付決定件数	交付決定金額	応募件数	応募金額	交付内定件数	交付内定金額	応募件数	応募金額	交付内定件数	交付内定金額
学術変革領域研究 (A)					1	65,500	0	0	4	122,550	—	—	—
学術変革領域研究 (B)					2	25,000	0	0	0	0	—	—	—
新学術領域研究	8	43,000	2	21,500 (6,450)	13	54,160	3	21,400 (6,420)	8	37,500	2	19,000 (5,700)	
基盤研究 (A)	1	5,300	1	5,300 (1,590)	4	39,340	4	31,000 (9,300)	4	22,100	4	22,100 (6,630)	
基盤研究 (B)	32	151,066	16	49,000 (14,700)	34	173,219	14	52,600 (15,780)	32	159,204	16	54,000 (16,200)	
基盤研究 (C)	226	330,965	111	118,300 (35,490)	227	325,157	113	117,200 (35,160)	277	425,533	135	141,700 (42,510)	
挑戦的研究 (開拓)	0	0	0	0	1	2,170	0	0	2	11,750	—	—	—
挑戦的研究 (萌芽)	21	48,222	5	11,100 (3,330)	14	31,339	3	1,700 (510)	19	39,472	—	—	—
若手研究	138	234,404	69	80,400 (24,120)	175	276,886	89	97,700 (29,310)	136	192,018	95	98,900 (29,670)	
若手研究 (B)	13	9,900	13	9,900 (2,970)	2	1,400	2	1,400 (420)					
研究活動スタート支援	6	6,900	6	6,100 (1,830)	2	2,200	2	2,200 (660)	3	3,935	1	1,100 (330)	
奨励研究	7	6,861	2	1,080	4	3,054	0	0	4	3,054	0	0	
計	452	836,618	225	302,680 (90,480)	479	999,425	230	325,200 (97,560)	489	1,017,116	253	336,800 (101,040)	

注：( ) は外数で、間接経費として措置された金額

応募件数、金額は応募当初の数値

交付決定（交付内定）件数、金額は配分機関より本学あてに行われた交付決定（交付内定）通知の数値

平成 30 年度より若手研究 (B) は、新規応募研究課題の公募を停止

令和 2 年度より学術変革領域研究 (A・B) が新設

## 10. 総合研究施設の状況

### 1. 共同利用施設

#### (1) 動物実験施設

令和2年度動物実験施設利用者数（延べ） 8,642人（実験申請件数 257件）

#### 動物実験用飼育動物数

R3.5.1現在

動物種	飼育数	動物種	飼育数	動物種	飼育数
ラット	228匹	モルモット	0匹	雑犬	0匹
マウス	6,271匹	ヌードマウス	115匹	ビーグル犬	6匹
ハムスター	6匹	ヌードラット	0匹	サル	10頭
砂ネズミ	0匹	ネコ	0匹	合計	6,636
ウサギ	0羽	ブタ	0匹		

#### (2) 大学共同研究施設

#### (3) 組換えDNA実験施設

組換えDNA稼働中実験件数 122件（承認79・届出43）（令和3年5月6日現在）

実験実施従事者数 398人（令和3年5月6日現在）

#### (4) ラジオアイソトープ(RI)実験施設

○業務従事者登録者数 403人（令和3年5月6日現在）

○令和2年度利用者数（延べ） 5階RI実験室 17,061人 4階DNA・RI実験室 14,168人

○令和2年度RI購入件数 1本

#### 核種別購入量（令和2年度実績）

（単位：MBq）

	<sup>3</sup> H	<sup>125</sup> I	<sup>14</sup> C	<sup>32</sup> P	<sup>35</sup> S	<sup>51</sup> Cr	<sup>33</sup> P	<sup>57</sup> CO	<sup>45</sup> Ca	<sup>22</sup> Na	<sup>86</sup> Rb
4階DNA・RI実験室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5階RI実験室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

## 2. 各施設実験登録者数

R3.5.1現在（単位：人）

施設別 区分	動物実験	組換え DNA実験	ラジオアイソトープ 実験	施設別 区分	動物実験	組換え DNA実験	ラジオアイソトープ 実験
化学	3	2	2	救急医学	6	2	2
生物学	4	8	3	病理診断学	0	4	4
保健体育	0	0	0	形成外科	2	0	0
未来基礎医学	12	15	14	リハビリテーション科	2	0	2
解剖学第一	11	7	10	中央臨床検査部	0	0	0
解剖学第二	11	10	10	輸血部	4	6	4
生理学第一	6	4	4	集中治療部	0	3	3
生理学第二	15	14	16	中央放射線部	4	1	1
生化學	5	6	5	中央内視鏡部	0	1	0
血栓止血先端医学	6	4	4	病院病理部	0	1	0
分子病理学	13	6	16	総合周産期母子医療センター	2	3	3
病原体・感染防御医学	3	4	3	感染症センター	1	2	2
微生物感染症学	1	7	0	腫瘍センター	0	0	0
免疫学	17	15	7	リウマチセンター	0	2	2
薬理学	7	7	5	玉井記念四肢外傷センター	4	0	2
疫学・予防医学	1	3	2	総合画像診断センター	2	2	1
公衆衛生学	2	3	3	薬剤部	0	0	0
法医学	7	4	5	栄養管理部	0	0	0
発生再生医学	4	7	5	臨床研修センター	0	0	1
循環器内科学	16	27	24	医療技術センター	0	0	0
腎臓内科学	7	7	6	臨床研究センター	2	0	0
呼吸器内科学	4	3	2	医療安全推進室	0	0	0
消化器内科学	26	19	21	動物実験施設	1	1	9
脳神経内科学	9	8	7	組換えDNA実験施設	5	7	7
消化器・総合外科学	17	23	22	ラジオアイソトープ実験施設	2	2	4
脳神経外科学	13	5	7	教育開発センター	1	2	1
胸部・心臓血管外科学	2	0	0	女性研究者支援センター	0	1	2
整形外科学	27	12	17	看護学科人間発達学	0	0	0
産婦人科学	9	7	4	看護学科臨床病態医学	1	1	0
眼科学	0	4	2	手の外科講座	0	0	0
小児科学	18	18	20	血友病教育学	0	1	1
精神医学	21	16	20	血栓止血分子病態学	0	1	1
皮膚科学	4	9	8	V-CliniX	1	1	1
泌尿器科学	18	15	19	骨軟部腫瘍制御・機能再建医学	2	1	2
耳鼻咽喉・頭頸部外科学	14	8	6	地域医療支援教育学	0	0	0
放射線診断・IVR学	20	11	14	血栓止血医薬生物学	1	4	5
放射線腫瘍医学	2	4	3	地域医療学	0	0	0
麻酔科学	11	7	5	糖尿病学	2	1	0
総合医療学	8	9	9	合計	435	398	403
口腔外科学	16	10	13				

注：組換えDNA実験および動物実験の登録については、実験計画が継続・終了の状態を問わず、実験にかかる教育訓練受講済者数を登録数とする。

## 11. 寄附・共同研究等講座の設置状況

### ①寄附講座

スポーツ医学講座	
寄附者	学校法人栗岡学園
設置目的	スポーツ傷害の病態解明および低侵襲治療法の開発・臨床応用
設置期間	平成 25 年度～令和 6 年度
寄附総額	1 億 8600 万円
手の外科講座	
寄附者	社会医療法人 医真会 医真会八尾総合病院
設置目的	手及び上肢に生じる疾患の病因や病態を解明し、手外科に関する最新の治療法を開発し臨床応用
設置期間	平成 27 年度～令和 5 年度
寄附総額	1 億 2600 万円
血栓止血分子病態学講座	
寄附者	CSL ベーリング株式会社
設置目的	止血機構および制御機構を分子および細胞レベルで解析
設置期間	平成30年度～令和 5 年度
寄附総額	6600 万円
V-iCliniX 講座	
寄附者	公益財団法人中谷医工計測技術振興財団
設置目的	次代を担うグローバルに活躍できる若手研究者の育成
設置期間	平成30年度～令和 5 年度
寄附総額	3 億円
骨軟部腫瘍制御・機能再建医学講座	
寄附者	京セラ株式会社
設置目的	骨関節難治性疾患における骨関節機能再建再生研究
設置期間	平成31 年度～令和 3 年度
寄附総額	5400 万円
地域医療支援・教育学講座	
寄附者	宇陀市
設置目的	地域医療研究および若手医師の教育
設置期間	平成31 年度～令和 4 年度
寄附総額	6800 万円
前立腺小線源治療講座	
寄附者	日本メジフィジックス株式会社
設置目的	前立腺癌の小線源治療の研究・教育・啓発普及
設置期間	令和 2 年度～令和 4 年度
寄付総額	4950 万円

### ②共同研究講座

血栓止血医薬生物学共同研究講座	
設置目的	血友病を中心とする出血性疾患の診断、評価、検査の見直しや新たな手法の開発推進
設置期間	平成 30 年度～令和 5 年度

### ③補助金による講座

地域医療学講座の設置	
奈良県より補助金を受け設置	
設置目的	地域医療に関する教育研究を通じて、地域医療の充実を図り、医師の適正配置に資する。
設置期間	平成 22 年度～令和 3 年度（12 年間）
医師・患者関係学講座の設置	
奈良県より補助金を受け設置	
設置目的	高度医療、急性期医療、慢性疾患における、患者の特性に対応したコミュニケーション力の習得などを通じて、良き医療人を育成する。
設置期間	平成 31 年度～令和 6 年度（6 年間）

## 12. 国際交流協定大学

チェンマイ大学（タイ王国）	
協定締結年月	平成 8 年 8 月
協定目的	学術及び教育分野における研究者や学生の交流等を目的として協定を締結。
福建医科大学（中華人民共和国）	
協定締結年月	平成 16 年 12 月
協定目的	学術及び教育分野における研究者や学生の交流等を目的として協定を締結。
オックスフォード大学（イギリス）	
協定締結年月	平成 20 年 4 月
協定目的	学術及び教育分野における研究者の交流等を目的として協定を締結。
ルール大学（ドイツ）	
協定締結年月	平成 22 年 4 月
協定目的	臨床実習分野における学生の交流を目的として協定を締結。
ミシガン大学医学部（アメリカ）	
協定締結年月	平成 30 年 12 月
協定目的	学術及び教育分野における研究者や学生の交流等を目的として協定を締結。
Brigham Education Institute（アメリカ）	
協定締結年月	平成 31 年 3 月
協定目的	臨床及び教育分野における教育改革を促進し、教育能力の向上を目的として協定を締結。

## 13. 国内協定大学

同志社女子大学	
協定締結年月	平成 19 年 6 月
協定目的	教育・研究活動全般における交流・連携を推進し、相互の教育・研究の一層の進展と地域社会の発展に寄与することを目的とする。
早稲田大学	
協定締結年月	平成 20 年 12 月
協定目的	両大学が連携協力して教育研究活動の一層の充実と質の向上を図ることによって、学術の発展と有為な人材の育成に寄与することを目的とする。
奈良先端科学技術大学院大学	
協定締結年月	平成 21 年 3 月
協定目的	医工学融合分野等における相互の学術交流を通じて、教育・研究・医療のレベルを一層高めることにより、研究開発の推進及び人材の育成を図り、地域社会の発展に寄与することを目的とする。
京都府立医科大学、和歌山県立医科大学、大阪市立大学医学部（関西公立医科大学・医学部連合）	
協定締結年月	平成 26 年 9 月
協定目的	教育・学術研究、地域貢献、国際貢献等の分野で相互に連携・協力して、地域社会の発展と人類の福祉に寄与することを目的とする。
京都府立医科大学、兵庫医科大学、大阪市立大学医学部、和歌山県立医科大学、大阪医科大学、関西医科大学、近畿大学医学部（関西公立私立医科大学・医学部連合）	
協定締結年月	平成 27 年 11 月
協定目的	教育・学術研究、地域貢献、国際貢献等の分野で相互に連携・協力して、地域社会の発展と人類の福祉に寄与することを目的とする。

## 14. 教育研究に関する協定（連携大学院）

大学院医学研究科博士課程及び修士課程の一層の充実と研究科の学生の資質の向上を図り、相互の研究交流を促進し、もって学術及び科学技術の発展に寄与するため、下記機関と教育研究に関する連携・協力協定を締結している。

独立行政法人国立循環器病研究センター（循環器システム医科学）	
協定締結年月	平成 27 年 3 月
公益社団法人地域医療振興協会 市立奈良病院（先端画像下治療開発応用学）	
協定締結年月	平成 29 年 9 月
社会医療法人高清会 高井病院（陽子線腫瘍学）	
協定締結年月	平成 30 年 3 月
一般財団法人小林理学研究所（医療センシング学）	
協定締結年月	平成 30 年 3 月

※（ ）内は科目名

## 15. 地方公共団体との協定

明日香村	
協定締結年月	平成 24 年 7 月
協定目的	予防医学及び健康づくりの分野で連携することで、明日香村民の健康寿命の延伸、慢性疾患の減少及び医療費削減等を図り、医学・看護学の発展と健やかに安心して暮らせる村づくりを推進する。
橿原市	
協定締結年月	平成 27 年 6 月
協定目的	橿原市と公立大学法人奈良県立医科大学が、医科大学周辺地区を中心としたまちづくりや健康づくりなど多岐にわたる分野において、それぞれが保有する知的・人的及び物的資源を活用することにより、地域社会の総合的な発展を図る。

## 16. 企業等との協定

株式会社タカトリ	
協定締結年月	平成 25 年 6 月
協定目的	相互の資源（人的・物的資源、知的財産等）を出し合い、新たなイノベーションの創出に取り組み、学術及び産業の振興と地域の発展に寄与することを目的とする。
公益社団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会	
協定締結年月	平成 26 年 10 月
協定目的	2020 年に開催する東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、大学と組織委員会がそれぞれの資源を活用し、オリンピック教育の推進や大会機運の醸成等、大会に向けた取組を進めるため、相互に連携・協力体制を構築することを目的とする。
国立大学研究開発法人量子科学技術研究開発機構	
協定締結年月	令和 2 年 12 月
協定目的	重粒子線がん治療を促進させるため、人材の育成と治療に関する交流や研究施設・設備の相互利用等を推進し、放射線医学利用分野の発展・継承を目的として相互協力を図る。

## 17. 公開講座 「くらしと医学」開催状況

年度(回数)	演題	演者	会場	参加人数
令和2年度 (第45回)	切らすに治す最先端治療—IVR(画像下治療)とは 加齢に伴う心不全一見過ごされがちな3つのこと— 自殺の予防—自殺対策のための戦略研究から— 大人の脊椎障害の理解	附属病院長、中央放射線部長、IVRセンター長 胸部・心臓血管外科客員教授 精神医学教授 人間発達学教授	吉川公彦 谷口繁樹 岸本年史 飯田順三	WEB配信 350名
令和元年度 後期 (第44回)	第1部 基調講演 人生100年時代を迎えて—健康で長生きするコツ— 第2部 パネルディスカッション 動き出した、医学を基礎とするまちづくり～ヘルスケアの未来について～ 健康で長生きするための食事～フレイル予防の観点から～	産婦人科学講座 教授 小林浩	奈良県文化会館国際ホール 300名	
令和元年度 前期 (第43回)	第1部 基調講演 健康長寿のための血栓症予防 第2部 パネルディスカッション 運動で血栓を予防しよう 日々の食事で血栓症を予防しよう	ハネリスト MBT研究所副所長・研究教授 管理栄養士 小児科学講座 教授 嶋 緑倫 ハネリスト 理学療法士 栄養士 三木 麻梨子 中尾 美芳	梅田智広 中野奈央 樅原文化会館大ホール 400名	
平成30年度 後期 (第42回)	第1部 基調講演 孤独死の状況を考える～法医学の視点から～ パネルディスカッション 警察が取り扱う孤独死の状況について 孤独死から地域のつながりを考える 第2部 健康長寿に関する研究成果発表 心不全?今、超高齢社会での大きな課題ー心不全とは何か?どのような医療が求められるのか?奈良県健康長寿コホートから見えてきたものー」 手術後機能障害の発生とその関連因子についてのコホート研究 温度・光曝露が健康に及ぼす影響に関する前向きコホート研究	法医学講座 教授 奈良県警察本部 刑事部捜査第一課 樅原町社会福祉協議会 地域包括支援センター 総括講師員 循環器内科客員教授 中央手術部 助教 疫学・予防医学 教授 麻酔科学ペインセンター 副センター長 渡邊 恵介 斎藤 能彦 伊藤 聖一 西岡 明子 羽竹 勝彦 佐伯 主吾	樅原文化会館大ホール 400名	
平成30年度 前期 (第41回)	第1部 基調講演 腰痛の新・常識 第2部 パネルディスカッション 腰痛の予防と治療 治療が必要な腰痛を見分けよう 慢性化させないための考え方 運動で腰痛を予防しよう	ハネリスト 整形外科医 臨床心理士 理学療法士 田中誠人 藤井 亜沙美 井上 良太	樅原文化会館大ホール 400名	

## 第4章 附属図書館

### 1. 蔵 書

R3.5.1 現在(冊)

区分	和 書	洋 書	計	令和2年度 受入雑誌種類数
一般教養図書	22,747	7,581	30,328	44
医学専門図書	60,704	51,488	112,192	428
計	83,451	59,069	142,520	472

### 2. 利用者数 (令和2年度)

区分	学 生	教職員	一般者	計
館外貸出人員	1,824人	1,421人	0人	3,245人
館外貸出冊数	3,414冊	3,362冊	0冊	6,776冊

### 3. 図書館間相互協力 (令和2年度)

区分	文献複写	現物貸借	計
他機関から依頼を受けた件数	3,114	3	3,117
他機関へ依頼した件数	571	8	579

### 4. 情報提供サービス (令和2年度)

区分	計
事項調査	1,958件
所在調査	381件
利用説明	497件

### 5. 電子ジャーナル・電子ブック (R3.5.1 現在)

提供元	電子ジャーナル	電子ブック
Springer Nature	2,286誌	8,700点
OVID (LWW)	59誌	99点
Oxford University Press	164誌	12点
Proquest	2,293誌	17,557点
Science Direct (Elsevier)	57誌	-
Wiley Online Library	847誌	18点
メディカルオンライン(国内雑誌)	1,469誌	5,240点
医書.jp(国内雑誌)	94誌	-
Maruzen eBook Library	-	1,178点
その他	926誌	108点
合計 電子ジャーナル・電子ブック	8,195誌	32,912点

# 第5章 附属病院

(平成29年4月4日制定)

患者と心が通い合う人間味あふれる医療人を育成し、地域との緊密な連携のもとで奈良県民を守る最終ディフェンスラインとして、安全で安心できる最善の医療を提供します。

## ◎方針

### 1 奈良県民を守る「最終ディフェンスライン」の実践

奈良県内唯一の特定機能病院として高度医療・先端医療を推進します。

また高度救命救急センターに加え、ER救急の整備等により救急医療体制を強化するとともに、奈良県基幹災害拠点病院として、奈良県民を守り地域の安心の確保に貢献します。

### 2 奈良県内基幹病院としての機能の充実

5疾患（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）をはじめとするあらゆる疾患に着実に対応するとともに、患者安全の取組を推進し、奈良県内基幹病院としての役割を果たしていきます。

### 3 地域医療機関との機能分担、緊密連携の推進

地域医療機関との適切な機能分担と緊密な連携を推進し、地域医療を支えます。

### 4 各領域の担い手となる医療人の育成

附属病院における卒後教育を通じて、超高齢社会に対応する地域包括ケアシステムをはじめ各領域の担い手となる患者と心が通い合う医療人を育成し、地域医療の向上に貢献します。

## ◎行動指針

- 病状や治療方針を分かりやすく説明し、安全で質の高い医療を提供します。
- 高度で先進的な医療を提供します。
- 医の倫理にしたがい、患者さんの意思と権利を尊重し、心の通い合う医療を提供します。
- 県における基幹病院として、地域の医療機関との連携を図り地域医療に貢献します。
- 臨床教育を充実し、人間味豊かで県民から信頼される優秀な医療人を育成します。

## 1. 診療体制

### (1) 許可病床数

R3.5.1現在

病棟	診療科	種別	病床数
A 病棟	眼科 皮膚科 形成外科 総合診療科 救急科	一般	60
B 病棟	整形外科	一般	65
	SCU		60
	脳神経外科		64
	消化器外科・小児外科・乳腺外科		65
	消化器・内分泌代謝内科		64
	呼吸器・血液内科 耳鼻咽喉・頭頸部外科 放射線治療科		64
C 病棟	高度救命救急センター	一般	40
	HCU ICU		14
	集中治療室		34
	泌尿器科		58
	脳神経内科 口腔外科 麻酔科		63
	心臓血管外科 呼吸器外科 放射線・核医学科		63
	循環器内科 腎臓内科		53
	呼吸器・アレルギー・血液内科 感染症センター		9
D 病棟	精神科	精神	56
	精神科		52
E 病棟	NICU	一般	21
	GCU		30
	MFICU		6
	産科		30
	バースセンター		8
	婦人科		39
	小児センター		38
合計		一般	875
		感染症	9
		精神	108
		開設許可	992

## (2) 外来診療室数

各年度 5 月 1 日現在

診療科名	平成 28	平成 29	平成 30	平成 31	令和元	令和 2
循環器内科 腎臓内科	6	6	循4・腎2	循4・腎2	循4・腎2	循4・腎2
呼吸器・アレルギー・血液内科	6	6	6	6	6	8
消化器・代謝内科	6	6	6	7	7	7
感染制御内科	3	3	3	3	3	3
脳神経内科	4	4	4	4	4	4
消化器外科・小児外科・乳腺外科	消外4・乳2	消外4・乳2	消外小児外6・乳2	消外小児外6	消外小児外6	消外小児外6
脳神経外科	3	3	3	3	3	3
心臓血管外科 呼吸器外科	3	3	3	3	3	3
整形外科 / 四肢外傷センター	6	6	6	6	6	6
歯科口腔外科	2	2	3	3	3	3
産婦人科	4	4	4	4	4	4
眼科	6	6	6	6	6	6
小児科	3	3	3	3	3	4
精神科	8	8	8	8	8	8
皮膚科	3	3	3	3	3	3
泌尿器科	3	3	3	3	3	4
耳鼻咽喉・頭頸部外科 / めまいセンター	6	6	6	6	6	6
放射線・核医学科	3	3	3	3	3	3
放射線治療科	4	4	4	4	4	4
総合診療科	8	8	8	8	8	8
形成外科	1	1	1	1	1	1
腫瘍内科						2
化学療法外来	2	2	2	2	2	0
緩和ケアセンター	2	2	2	2	2	2
周術期管理センター	1	6	6	6	6	5
ペインセンター	5	5	5	5	5	5
リウマチセンター	1	2	1	1	1	3
乳腺センター				3	3	3
糖尿病・内分泌内科	2	2	2	2	2	糖尿病5・内分泌1
新生児・発達外来		4	2	2	2	2
計	107	117	117	119	119	128

注：平成 28 年 5 月 1 日から耳鼻咽喉科・甲状腺外科から耳鼻咽喉・頭頸部外科に変更。

平成 30 年 1 月 1 日から循環器・腎臓・代謝内科を循環器内科と腎臓内科に変更。

平成 30 年 7 月 1 日から神経内科から脳神経内科に変更。

平成 31 年 2 月 1 日から放射線科（画像診断・IVR）を放射線・核医学科に変更。

放射線治療・核医学科を放射線治療科に変更。

## 2. 患者統計

### (1) 入院・外来患者数

#### (ア) 入院患者数(年度別)

年 度	区 分	一般												病 棟												精神科 病棟 計				
		循環器内科				呼吸器 7ルート 内科				消化器、 代謝内科 内視鏡 内科				心臓血管外科・ 呼吸器外科 心臓血管 外科				産婦人科				耳鼻咽喉・ 頭頸部 外科				泌尿器科				
		循環器 内科	腎臓 内科	呼吸器 内科	7ルート 内科	消化器 内科	代謝内科 内視鏡 内科	小児科、 乳膿科 内視鏡 内科	心臓血管 外科	消化器 外科	脳神経 外科	呼吸器 外科	心臓血管外科・ 呼吸器外科 心臓血管 外科	産婦人科 産科 (准産科 (准産科))	産婦人科 婦人科	小児科	NICU	GU	MFCU	眼科	耳鼻咽喉・ 頭頸部 外科	皮膚科	泌尿器科	放射線 治療科	病理科	救急科	総合 診療科	形成 外科		
平成 28	入院患者 延数	22,486	23,427	2,931	20,168	11,340	21,726	20,847	7,952	3,292	21,135	6,821	10,439 (944)	10,848	8,138	6,262	5,469	1,132	7,312	10,617	2,891	7,792	5,797	1,784	1,156	11,890	4,313	1,893	31,365 291,223	
平成 28	一日平均 入院患者数	62	64	8	55	31	60	57	22	9	58	19	29 (3)	30	22	17	15	3	20	29	8	21	16	5	3	33	12	5	86 738	
平成 29	入院患者 延数	23,207	24,491	2,946	21,795	11,589	23,857	21,253	7,285	3,466	21,264	7,240	11,244 (1,312)	11,098	8,757	6,473	6,906	1,564	6,862	10,375	3,091	8,976	6,017	1,970	1,006	14,006	4,724	2,444	34,669 308,575	
平成 29	一日平均 入院患者数	64	67	8	60	32	65	58	20	9	58	20	31 (4)	30	24	18	19	4	19	28	8	25	16	5	3	38	13	7	95 845	
平成 30	入院患者 延数	16,094	7,113	24,928	3,062	23,039	11,797	24,502	20,781	9,430	2,936	20,525	7,256 (1,538)	11,263	8,944	6,308	7,078	1,356	6,923	10,280	3,019	9,812	5,685	1,403	1,212	14,212	4,353	2,488	34,724 311,518	
平成 30	一日平均 入院患者数	44	19	68	8	63	32	67	57	26	8	56	20	30 (4)	31	25	17	19	4	19	28	8	27	16	4	3	39	12	7	95 853
令和 元	入院患者 延数	15,300	7,317	25,597	2,963	22,732	11,288	25,187	20,287	8,666	2,684	18,849	7,297 (1,408)	11,071	8,820	6,602	6,230	1,561	6,238	10,429	3,141	10,746	5,583	1,406	915	14,634	5,670	3,226	34,755 308,401	
令和 元	一日平均 入院患者数	42	20	70	8	62	31	69	55	24	7	52	20	28 (4)	30	24	18	17	4	17	28	9	29	15	4	3	40	15	6	95 843
令和 2	入院患者 延数	11,324	6,434	18,305	4,128	16,873	9,600	18,177	16,556	7,993	2,459	14,042	5,033	6,927 (36)	8,541	6,969	6,045	5,167	1,396	4,146	6,876	2,210	7,606	3,647	712	645	11,745	5,292	2,319	27,499 238,66
令和 2	一日平均 入院患者数	31	18	50	11	46	26	50	45	22	7	38	14	19 (0.1)	23	19	17	14	4	11	19	6	21	10	2	32	14	6	75 654	

注：平成 28 年 5 月 18 日から耳鼻咽喉科・甲状腺外科を、耳鼻咽喉・頭頸部外科に変更。

平成 30 年 1 月 1 日から循環器・腎臓・代謝内科と腎臓内科に変更。

平成 30 年 7 月 1 日から神経内科を、脳神経内科に変更。

平成 31 年 4 月 1 日から放射線科を放射線・核医学科に、放射線治療科を放射線治療科に変更。  
令和 2 年 6 月 1 日から消化器・内分泌内科を、消化器・代謝内科と糖尿病・内分泌内科に変更。

(1) 新入退院患者数・平均在院日数(年度別)

年 度	区 分	病 棟												精神科 病棟	計				
		一般			心臓血管外科・呼吸器外科			産婦人科			小児科			総合間連期母子医療センター					
新入院	退院	平均	新入院	退院	平均	新入院	退院	平均	新入院	退院	平均	新入院	退院	平均	新入院	退院	平均		
平成28	循環器内科	1,755	1,018	177	1,604	467	1,542	1,067	287	280	1,072	291	1,129	1,043	638	186	95	149	
	腎臓内科											1,210	1,039	625	47	236	55	1,752	
	循環器内科											(129)	(173)	9.5	11.0	24.9	19.6	6.0	7.1
平成29	新入院	1,753	1,033	167	1,613	466	1,558	1,111	292	286	1,091	291	1,129	1,043	638	186	95	149	
	退院			9.4	21.5	11.8	11.2	20.6	12.4	10.6	11.6	4.6	17.2	19.0	7.0	9.5	11.0	24.9	
	平均																		
平成30	新入院	1,817	918	216	1,610	480	1,673	1,127	254	284	1,169	315	980	1,089	696	226	218	149	1,726
	退院			1,791	984	207	1,588	484	1,676	1,160	275	289	1,166	311	1,085	698	68	380	34
	平均			9.4	22.6	9.7	11.9	18.8	12.3	10.0	11.4	4.3	16.4	20.0	8.2	9.3	10.7	25.4	16.5
令和2	新入院	1,605	336	898	235	1,770	591	1,691	1,102	296	237	1,193	301	1,037	1,194	729	228	226	134
	退院			1,565	332	976	199	1,781	596	1,708	1,072	331	236	1,183	1,150	302	1,186	736	59
	平均																		
令和2	新入院	1,494	330	889	219	1,780	512	1,779	1,060	248	228	1,091	305	999	1,156	718	243	233	178
	退院			1,450	339	942	194	1,771	529	1,771	1,045	261	231	1,083	1,134	309	1,128	716	95
	平均																		
令和2	新入院	7.2	18.5	24.6	9.8	11.4	16.2	11.9	10.4	13.5	4.1	15.8	18.7	6.9	8.9	10.1	25.0	15.1	7.3
	退院			1,090	349	776	332	1,487	517	1,331	896	210	212	806	189	710	1,018	677	211
	平均																		

注：平成28年5月18日から耳鼻咽喉科・甲状腺外科を、耳鼻咽喉・頭頸部外科に変更。

平成30年1月1日から循環器・腎臓・代謝内科と腎臓内科に変更。

平成30年7月1日から神経内科を、脳神経内科に変更。

平成31年4月1日から放射線科を放射線治療・核医学科に、放射線治療・核医学科を放射線治療科に変更。  
令和2年6月1日から消化器・内分泌代謝内科を、消化器・代謝内科と糖尿病・内分泌内科に変更。

## (ウ) 外来患者数(年度別)

年 度	区 分	各専門外来等の受診患者合計数												リハビリテーション科	計															
		循環器内科	腎臓内科	消化器・ 内分泌内科	呼吸器・ 感染制御 内科	脳神経 内科	消化器・ 代謝内科	脳神経 小児科	心臓血管外科・ 呼吸器外科	整形 外科	歯科口腔 外科	産婦人 科	小児科	眼科	耳鼻咽喉・ 頭頸部 外科	皮膚科	泌尿 器科	精神科	放射線・ 核医学科	麻酔科	放射線・ 治療科	急救科	総合 診療科	形成 外科	専門 外来等					
平成28	外来患者 延数	51,283	40,486	41,643	15,007	30,449	19,535	4,567	3,236	27,221	27,270	36,761	15,123	28,507	23,162	23,575	25,075	57,073	(125,319)	12,691	11,628	1,265	9,900	5,088	26,416	(91,388)	547,678 (764,385)			
平成28	一日平均 外来患者 延数	211	167	24	171	62	125	80	19	13	112	112	151	62	117	95	97	103	235	(516)	20	52	48	3	41	21	109	(376)	2,252 (3,144)	
平成29	外来患者 延数	52,347	41,975	6,609	40,071	15,761	32,726	19,455	4,611	3,684	27,773	29,380	36,659	16,989	28,043	22,924	23,610	25,473	59,212	(131,657)	11,234	12,281	1,417	10,711	5,043	24,861	(101,877)	558,157 (791,691)		
平成29	一日平均 外来患者 延数	215	172	27	164	65	134	80	19	15	114	120	150	70	115	94	97	104	243	(540)	22	46	50	4	44	21	102	(418)	2,286 (3,243)	
平成30	外来患者 延数	34,832	17,452	42,095	6,059	42,408	16,416	35,837	19,360	4,618	3,917	28,126	30,992	36,887	18,123	27,983	24,737	23,954	26,444	61,327	(134,749)	5,771	11,176	12,040	1,535	10,671	5,285	25,514	(100,816)	573,559 (809,124)
平成30	一日平均 外来患者 延数	143	72	173	25	174	67	147	79	19	16	115	127	151	74	115	101	98	108	251	(552)	24	46	49	4	44	22	105	(413)	2,349 (3,314)
令和元	外来患者 延数	34,632	17,335	41,719	5,431	43,930	16,478	37,005	19,315	4,455	3,708	27,225	29,887	37,132	18,245	25,655	24,184	24,247	26,763	65,015	(125,828)	12,634	11,845	1,357	11,219	4,493	25,595	(101,625)	575,087 (802,540)	
令和元	一日平均 外来患者 延数	143	71	172	22	181	68	152	79	18	15	112	123	153	75	106	100	100	110	268	(516)	23	52	49	4	46	18	105	(416)	2,365 (3,297)
令和2	外来患者 延数	31,213	16,232	38,554	5,150	48,474	16,008	33,673	18,515	3,655	3,665	24,171	23,828	29,095	16,904	19,962	21,878	19,189	22,968	61,043	(112,213)	4,881	12,436	9,804	1,264	10,219	3,560	16,507	(88,139)	512,848 (713,200)
令和2	一日平均 外来患者 延数	128	67	159	21	233	66	139	76	15	15	99	98	120	70	82	90	79	95	251	(462)	20	51	40	3	42	15	68	(363)	2,142 (2,967)

注：診療科以外の各専門外来等の受診患者合計数を「専門外来等」欄に記載。

平成28年5月18日から耳鼻咽喉科・甲状腺外科を耳鼻咽喉・頭頸部外科に変更。

平成30年1月1日から循環器・腎臓・代謝内科と腎臓内科に変更。

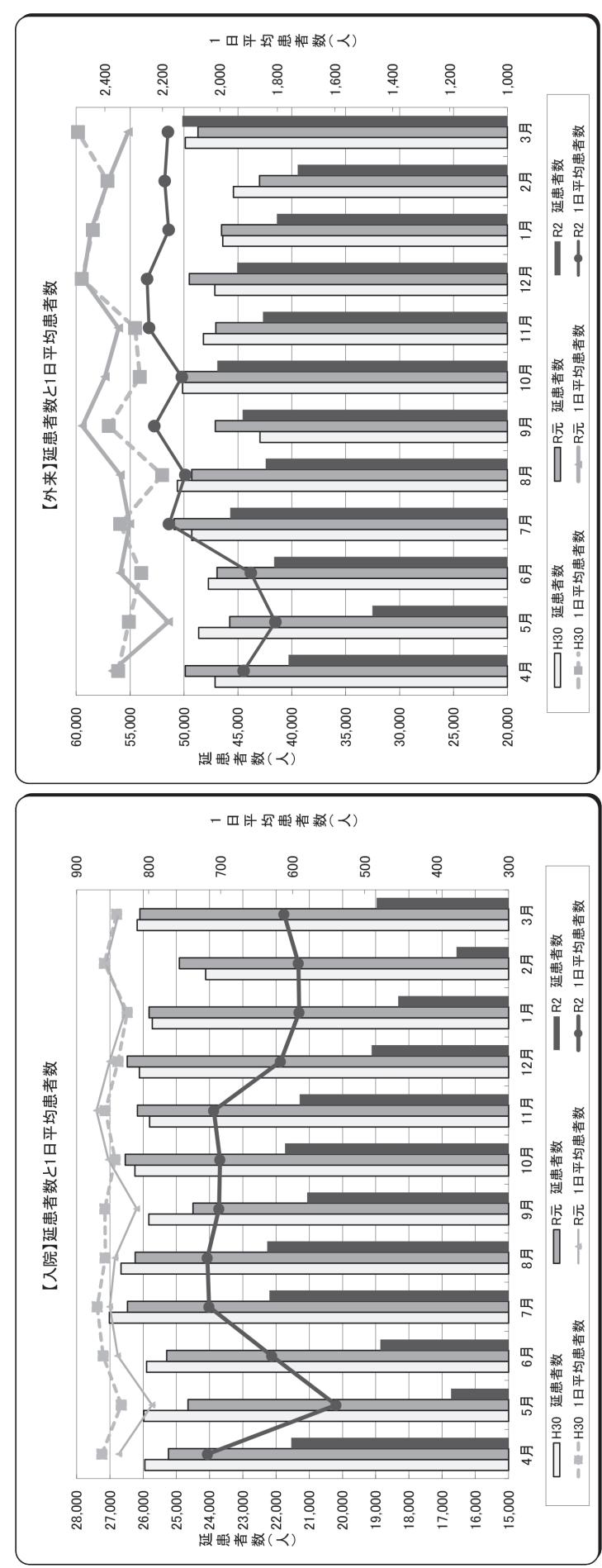
平成30年7月1日から神経内科を、脳神経内科に変更。

平成31年4月1日から放射線科を放射線・核医学科に、放射線・核医学科を放射線治療科に変更。

令和2年6月1日から消化器・内分泌内科を、消化器・代謝内科と糖尿病・内分泌内科に変更。

(エ) 入院・外来患者数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	
入院延患者数	平成30年度 令和元年度 令和2年度	25,950 25,242 21,540	25,979 24,647 16,730	25,892 25,289 18,864	27,016 26,473 22,196	26,667 26,242 22,267	25,826 24,501 21,067	26,244 26,534 21,727	25,807 26,170 21,287	26,114 26,476 19,123	25,721 25,823 18,323	24,121 24,910 16,570	26,181 26,094 18,972	311,518 308,401 238,666
1日平均患者数	平成30年度 令和元年度 令和2年度	865 841 718	838 795 540	863 843 629	871 847 716	860 817 718	861 856 702	847 872 701	860 854 710	842 833 617	830 833 591	861 859 592	845 843 612	853
外来延患者数	平成30年度 令和元年度 令和2年度	47,118 49,885 40,305	48,651 45,773 32,530	47,751 46,938 41,640	49,289 50,909 45,720	50,622 50,099 42,418	42,988 47,096 44,560	47,056 50,402 46,912	47,056 45,074 42,687	47,135 46,399 48,203	45,423 49,876 47,135	49,522 43,003 40,003	48,707 575,087 512,848	
1日平均患者数	平成30年度 令和元年度 令和2年度	2,354 2,374 1,918	2,317 2,180 1,807	2,274 2,347 1,893	2,201 2,314 2,177	2,347 2,314 2,121	2,279 2,400 2,228	2,279 2,400 2,132	2,279 2,442 2,247	2,442 2,391 2,192	2,391 2,494 2,178	2,319 2,349 2,181	2,365 2,349 2,142	



(2) 中央診療施設稼働状況

(7) 中央臨床検査部検査件数(年度別)

検査項目	年 度	平成 28		平成 29		平成 30		令和元		令和 2	
		件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数
血液	1,730,674	27,055,277	1,748,148	30,595,127	1,771,988	29,396,191	1,777,483	27,273,107	1,540,141	23,862,963	
生化学	4,510,144	65,012,088	4,546,510	68,294,572	4,570,997	68,081,239	4,625,459	66,292,389	4,411,990	60,615,076	
微生物	59,877	9,021,726	62,915	9,415,898	63,763	9,400,468	60,155	9,164,768	55,721	10,419,096	
免疫	121,390	14,500,033	134,856	15,351,270	134,911	14,939,706	129,333	14,241,251	100,019	11,301,233	
生理機能	72,379	18,149,115	97,733	26,435,550	96,841	27,504,625	82,971	26,200,390	74,749	23,928,902	
緊急検査	1,572,067	13,656,208	1,652,474	14,963,604	1,695,036	14,845,939	1,720,623	14,375,694	1,591,879	14,138,737	
外注分	133,125	24,024,377	141,955	25,696,854	146,785	26,808,572	137,913	25,893,872	122,860	25,539,929	
集中治療	128,009	5,585,748	150,161	6,943,074	172,594	6,795,250	170,269	6,666,614	155,742	6,057,663	
計	8,327,665	177,064,572	8,384,591	197,695,949	8,652,915	197,771,990	8,704,206	190,108,085	8,053,101	175,863,599	

注：微生物検査に職員細菌検査も含む

(イ) 輸血部関係（年度別）

1. 検査件数

検査項目	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2
血液型 (件)	13,361	14,395	14,897	13,871	11,645
赤血球不規則抗体 (件)	12,435	13,529	14,017	13,248	11,186
交差試験 (本)	5,992	7,731	8,521	8,121	6,812
抗体小板抗体 (件)	18	18	7	26	18

2. 採 血

	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令 2
血小板採取 (件)	16	19	10	19	8
幹細胞採取 (件)	7	6	16	12	15
顆粒球採取 (件)	0	0	0	0	0
骨髓血（移植用）採取 (件)	3	1	3	3	5
自己血採取					
200ml (本)	50	61	64	32	23
400ml (本)	350	400	311	253	113

3. 輸 血

	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2
日赤・赤血球製剤					
200ml 由来製剤 (本)	197	205	144	164	138
400ml 由来製剤 (本)	5,653	5,921	6,485	6,274	5,844
日赤・新鮮凍結血漿製剤					
200ml 由来製剤 (本)	314	243	174	164	208
400ml 由来製剤 (本)	2,829	3,449	3,853	3,705	3,455
450ml (本)	141	399	144	372	460
日赤・血小板製剤 (単位)	14,290	15,435	14,145	10,374	11,505
自己血輸血 (単位)	507	629	518	361	185

4. 血漿分画製剤

	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2
アルブミン製剤					
5% 製剤 (g)	24,190	22,488	25,328	22,230	24,688
20% 製剤 (g)	29,358	28,750	32,208	37,450	26,294
25% 製剤 (g)	150	163	200	200	175
第VIII因子製剤					
人由来 (単位)	2,105,000	1,358,000	1,223,000	1,175,500	734,500
遺伝子組換え (単位)	13,723,750	11,591,500	10,775,500	10,060,250	13,947,000
第IX因子製剤					
人由来 (単位)	178,000	195,000	141,000	206,000	61,000
遺伝子組換え (単位)	1,485,000	1,089,500	1,653,000	1,695,000	1,769,000
バイパス製剤					
FEIBA (単位)	834,000	302,000	18,000	0	0
ヘムライブラ (mg)	—	—	—	130,650	128,701
VII a 製剤 (mg)	306	2,197	47,887	723	406
第X III因子 製剤					
人由来 (ml)	1,556	1,640	2,164	2,704	3,812
AT 製剤					
人由来 (単位)	471,500	532,500	954,700	981,000	839,000
TM 製剤					
遺伝子組換え (単位)	11,238,400	15,014,400	15,897,600	15,040,000	13,670,400
接着剤					
シート用 (箱)	244	270	222	217	246
液状用 (ml)	2,927	2,987	3,070	2,824	770
免疫グロブリン製剤					
静注用 (g)	11,120	11,268	12,370	11,417	10,890
筋注用 (単位)	4,000	5,350	4,650	5,450	3,050
ハプトグロビン製剤 (単位)	318,000	158,000	166,000	254,000	224,000
IF 製剤 (箱)	70	0	0	0	0
抗悪性腫瘍剤 (mg)	174,300	194,400	255,700	318,200	335,800
その他 (箱)	213	213	296	797	850

5. 細胞治療関連

検査項目	平 28	平 29	平 30	令 1	令 2
治験関連業務	0	0	0	1	5
再生医療等製品（テムセル HS 注）	0	1	1	4	1
クリオプレシビテート作成	0	141	183	201	201
赤血球製剤分割	0	0	21	33	26

## (ウ) 中央手術部手術件数（年度別）

(件)

科別	年 度	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2
循環器内科・ 腎臓内科	循環器内科	104	110	120	130	143
	腎臓内科			—	1	0
呼吸器・アレルギー・血液内科		5	5	6	4	5
感染制御内科		—	—	—	—	—
消化器・代謝内科		1	1	—	3	2
糖尿病・内分泌内科						
脳神経内科		—	—	—	—	0
消化器外科・小児外科・乳腺外科		846	973	1,117	1,099	889
脳神経外科		547	559	549	488	489
心臓血管外科・ 呼吸器外科	心臓血管外科	342	417	461	349	290
	呼吸器外科	252	263	237	232	203
整形外科		1,054	1,163	1,195	1,110	839
歯科口腔外科		277	250	267	296	183
産婦人科		906	946	927	929	806
眼科		1,840	1,787	1,896	1,762	1,089
小児科		1	4	2	7	6
精神科		113	106	27	138	46
皮膚科		1	1	—	1	0
泌尿器科		695	758	739	833	654
耳鼻咽喉・頭頸部外科		540	573	571	573	379
放射線・核医学科		14	10	6	61	52
放射線治療科		—	—	—	—	—
麻酔科		139	126	138	109	94
救急科		249	282	349	412	342
総合診療科		—	—	—	2	1
形成外科		234	255	272	232	141
計		8,160	8,589	8,879	8,771	6,653

注：平成 27 年 10 月 1 日から心臓血管外科・呼吸器外科を心臓血管外科と呼吸器外科に変更。

平成 28 年 5 月 18 日から耳鼻咽喉科・甲状腺外科を耳鼻咽喉・頭頸部外科に変更。

平成 30 年 1 月 1 日から循環器・腎臓・代謝内科を、循環器内科と腎臓内科に変更。

平成 30 年 7 月 1 日から神経内科を、脳神経内科に変更。

平成 31 年 4 月 1 日から放射線科を放射線・核医学科に、放射線治療・核医学科を放射線治療科に変更。

令和 2 年 6 月 1 日から消化器・内分泌代謝内科を、消化器・代謝内科と糖尿病・内分泌内科に変更。

## (エ) 中央放射線部診療患者延数（年度別）

種類	年 度	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2
放 射 線 利 用 人 数	単純撮影	77,673	80,553	80,876	107,568	94,047
	特殊撮影	4,741	5,157	5,784	5,900	4,706
	ハイブリット手術室撮影					
	移動型 C アーム CT					
	手術後ポータブル撮影	4,046	4,852	5,168	6,618	5,491
	手術後 CT 撮影					
	手術支援画像					
	ポータブル撮影	16,483	18,977	20,253	22,394	22,326
	造影	930	934	769	757	841
		血管	—	—	—	—
		その他	653	682	732	667
	IVR センター	4,342	4,753	4,856	5,169	5,355
	CT (治療 CT、IVR-CT を含む)	43,577	46,529	48,421	41,116	37,107
	MR	12,431	14,800	14,891	14,752	14,605
	RI	3,411	4,912	6,082	5,845	4,891
	治療	17,125	15,792	15,524	18,585	15,196
	定位放射線治療	7,749	7,162	6,561	9,445	8,497
	骨密度その他	1,168	1,075	1,214	1,380	1,157
	合 計	194,329	206,178	211,131	240,237	214,886

注：平成 28 年 10 月 1 日から E 棟ハイブリット手術室等供用開始

令和元年 5 月より電子カルテ更新により単純撮影、CT 撮影のオーダー区分変更

## (才) 集中治療部患者延数(年度別)

(人)

区分 年 度	I C U			C C U		
	患者延数	一日平均		患者延数	一日平均	
平成 28	2,608	7.1		974	2.7	
平成 29	2,886	7.9		1,037	2.8	
平成 30	2,964	8.1		1,049	2.9	
令和元	2,862	7.8		1,131	3.1	
令和2	2,754	7.5		702	1.9	

## (カ) リハビリテーション関係

## 1. 実施単位数(年度別)

	平成 30				令和元				令和 2			
	単位数	理学療法	作業療法	言語聴覚療法	単位数	理学療法	作業療法	言語聴覚療法	単位数	理学療法	作業療法	言語聴覚療法
脳血管 I	64,265	39,324	16,840	8,101	62,365	35,804	19,076	7,485	65,765	36,698	20,227	8,840
廃用 I	23,024	18,583	2,101	2,340	20,753	15,545	2,965	2,243	19,520	14,321	3,495	1,704
運動器 I	18,713	15,583	3,130		22,481	18,621	3,860		20,088	17,350	2,738	
運動器 III	4,608	4,608										
呼吸器 I	2,145	2,097	48		2,405	2,298	107		6,473	5,662	439	372
心大血管 I	13,632	13,084	548		10,799	10,185	614		10,077	9,865	212	
がんリハ	13,863	11,737	1,595	531	17,472	14,175	2,687	610	15,733	13,184	2,136	413
早期加算	88,407	66,292	15,257	6,858	79,564	57,370	16,251	5,943	84,423	59,346	17,646	7,431
初期加算	52,658	40,376	8,557	3,725	45,913	34,556	8,331	3,026	51,198	37,033	10,048	4,117
総合リハ実施計画書	7,189	6,220	677	292	7,081	6,180	734	167	6,246	5,259	844	143
退院時リハ指導	2,073	1,889	169	15	1,850	1,671	169	10	1,784	1,573	198	13
消炎鎮痛処置	71	71			28	28						

## 2. 各療法別患者数(年度別)

(人)

	平成 30			令和元			令和 2		
	外 来	入 院	合 計	外 来	入 院	合 計	外 来	入 院	合 計
理学療法	642	68,807	69,449	425	66,876	67,301	124	58,754	58,878
作業療法	663	16,151	16,814	431	20,059	20,490	151	18,041	18,192
言語聴覚療法	22	9,341	9,363	4	9,268	9,272	2	9,119	9,121

## (キ) 透析部透析件数(年度別)

(件)

年 度	平成 29	平成 30	令和元	令和 2
件 数	5,541	6,102	5,939	4,421

## (ク) 病院病理部関係(年度別)

組織診検査件数					
年 度	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2
外来(件)	5,020	5,555	5,212	5,223	4,464
入院(件)	7,296	7,973	6,411	6,361	5,165
免疫染色検査件数及び標本枚数					
年 度	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2
件 数	3,539	4,478	2,793	2,610	2,336
標本枚数	12,313	13,921	13,620	12,103	11,514
迅速検査件数及び標本枚数					
年 度	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2
件 数	603	630	661	629	56
標本枚数	2,557	2,226	2,055	1,798	1,458
細胞診検査件数(一般検体)					
年 度	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2
外来(件)	2,094	2,023	2,071	2,004	1,829
入院(件)	1,469	1,595	1,639	1,730	1,637
細胞診検査件数(婦人科)					
年 度	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2
外来(件)	5,727	5,983	6,029	5,782	5,061
入院(件)	23	37	20	9	8
細胞診迅速件数					
年 度	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2
件 数	114	113	185	156	141

(ヶ) 医療技術センター関係（令和2年度）

血液浄化部門	
血液浄化療法	件数
血液透析（透析部）	4,421
血液透析（病棟透析）	68
CHDF（新規）	97
CHDF（交換）	197
PE	51
DFPP	24
PP	7
CF	0
PMX	16
GCAP	47
LCAP	0
CART	8
LDL 吸着	10
ビリルビン吸着	7
人工脾臓	10

ペースメーカー部門		
種 別	件数	
新規植込み	PM	58
	ICD	10
	CRT-P	1
	CRT-D	1
	S-ICD	2
	ILR	7
	LLPM	4
電池交換	PM	29
	ICD	2
	CRT-P	2
	CRT-D	4
	S-ICD	1
	LLPM	1
定期外来	循環器内科外来	1,044
	心外外来	1
	小児科外来	15
各種立会い	定期病棟チェック	122
	臨時チェック	89
	OP	45
	内視鏡	20
	MRI	57
	放射線	11
	エコー調整	5
	リード抜去	5
	遠隔モニタリング	3,788
	その他	on call 対応

輸血部門	
種 別	件数
末梢血幹細胞採取	14

心臓カテーテル検査関連部門		
種 別	件数	
循環器内科 (心カテ)	CAG	700
	PCI	377
	S-G	132
	FFR	66
	OCT	224
	IVUS	144
	OFDI	44
	ロータブレータ	27
	ELCA (エキシマレーザ)	13
	一時ペーシング	50
循環器内科 (アブレーション)	EPS	161
	ABL	161
	Cryo ABL	0
	3D マッピング (Carto3)	91
	3D マッピング (Ensite)	70
小児科	S-G	49
	PTA	9
呼吸器内科	S-G	0
放射線科	RFA	3
	SPP	191
補助循環	IABP	34
	PCPS	37
	IMPELLA	23

手術部門		
	業務内容	件数
自己血回収	血管外科 (AAA)	20
	その他（整形外科など）	33
心外外回り	皮膚組織灌流圧検査	30
	血管内焼灼術	10
	術中クラフト評価デバイス	0
ナビゲーション	人工股関節置換術	22
	膝関節置換術	0
	腫瘍切除	0
	矯正固定術・後方固定術	11
	bio jet	13
ダ・ヴィンチ業務	前立腺全摘	70
	腎部分切除	36
	膀胱全摘除	8
	幽門側切除	23
	腸切除	14
	子宮摘出	30
眼科外回り	水晶体再建術	766
	硝子体離断術	190
	緑内障	6
	バックリング	4
ME 機器管理	シリンジポンプ点検	1,891
	輸液ポンプ点検	3
	電気メス点検	35
	フットポンプ	696
	除細動器点検	12
	修理依頼	44
清潔補助業務	整形外科（鏡視下）	75
	整形外科	313
	消化器外科（鏡視下）	144
	消化器外科	138
	泌尿器科（鏡視下）	26
	泌尿器科	139
	心臓血管外科	20
	救急科	6
	呼吸器外科	66
	産婦人科	22

人工呼吸器部門		
	種 別	件数
人工呼吸器	新規導入立ち合い	111
	回路交換対応	210
NPPV	新規導入立ち合い	98
	回路交換対応	30
NHF	新規導入立ち合い	74
	回路交換対応	11
在宅人工呼吸器	新規導入立ち合い	17
	回路交換対応	36
RTX		183

機器管理部門		
	種 別	件数
シリンジポンプ点検		5,760
輸液ポンプ点検		11,803
人工呼吸器点検		1,163
機器不具合対応（修理など）		504

内視鏡部門		
	症 例	件数
予定症例	上部内視鏡	242
	上部 EUS	45
	脾 EUS	149
	胆道 EUS	14
	上部 EMR	15
	上部 ESD	142
	ポリペクトミー	3
	上部消化管拡張	73
	胃瘻造設	46
	胃瘻交換	103
	硬化療法	7
	EVL	32
	ERCP	408
	FNA	135
	異物除去術	5
	上部内視鏡止血術	22
	イレウス管	24
	胃ステント留置	12
	大腸内視鏡（ショートを含む）	442
	大腸ポリペクトミー	31
緊急症例	大腸 EUS	50
	大腸 EMR	59
	大腸 ESD	52
	下部消化管拡張	16
	小腸内視鏡	25
	下部内視鏡止血術	9
	腹腔鏡	0
	胆道ファイバー	0
	胸腔穿刺（造影）	0
	カプセル内視鏡（パテンシー含む）	24
人工心肺業務	ブロンコ	143
	検体係	243
	上部内視鏡	23
	EVL	2
	ERCP	29
	異物除去術	5
	上部内視鏡止血術	14

人工心肺業務		
	症 例 種 別	件数
予定人工心肺（成人）		65
緊急人工心肺（成人）		18
緊急人工心肺待機（成人）		4
人工心肺予定（先天性）		27
緊急人工心肺（先天性）		1
人工心肺待機（先天性）		1
血小板採取		11
CABG 待機		16
SPY System		60

中央材料室部門			
手術室中材における滅菌回数・滅菌個数及び洗浄器使用回数			
種 別		合 計	
滅菌	高压蒸気滅菌	使用回数 (回)	2,847
		滅菌個数 (個)	70,395
	ホルマリン滅菌	使用回数 (回)	242
		滅菌個数 (個)	7,045
	プラズマ滅菌	使用回数 (回)	2,882
		滅菌個数 (個)	13,067
洗浄	自動洗浄器	使用回数 (回)	2,905
	超音波洗浄器	使用回数 (回)	609
	減圧沸騰洗浄器	使用回数 (回)	563
地下中材における滅菌回数・滅菌個数及び洗浄器使用回数			
種 別		合 計	
滅菌	高压蒸気滅菌	使用回数 (回)	2,646
		滅菌個数 (個)	159,540
	ホルマリン滅菌	使用回数 (回)	149
		滅菌個数 (個)	1,669
	プラズマ滅菌	使用回数 (回)	320
		滅菌個数 (個)	4,033
洗浄	自動洗浄器	使用回数 (回)	3,407
	超音波洗浄器	使用回数 (回)	504
	減圧沸騰洗浄器	使用回数 (回)	669
中材業務および泌尿器科関連業務件数			
種 別		合 計	
中材機器点検 (件)		5,808	
腹腔鏡手術用器械の点検 (件)		1,061	
業者貸出器械の納品・使用前点検 (ケース)		4,581	
鋼製小物の刻印業務 (点)		783	
排尿機能検査立会い (件)		111	
仙骨神経刺激装置埋込手術立会い (件)		0	
地下中材および手術室中材における修理対応件数			
種 別		合 計	
洗浄器関連 (件)		18	
滅菌器関連 (件)		12	
バックシーラ、RO 装置、その他備品等 (件)		6	
鋼製小物 (件)		619	

麻酔補助部門		
診療科		合 計
消・小・乳外科	予定	474
	緊急	161
脳外科	予定	256
	緊急	104
心外科・呼外科	予定	334
	緊急	61
耳咽科	予定	221
	緊急	24
泌尿器科	予定	320
	緊急	25
整形外科	予定	327
	緊急	61
産婦人科	予定	430
	緊急	173
口腔外科	予定	101
	緊急	5
形成外科	予定	91
	緊急	6
救急科	予定	79
	緊急	132
眼科	予定	22
	緊急	2
精神科	予定	25
	緊急	1
循環器内科	予定	37
	緊急	1
放射線科	予定	37
	緊急	4
麻酔科	予定	4
	緊急	2

## (コ) 中央内視鏡部診療件数（年度別）

(件)

年 度		平成 30	令和元	令和 2
種 別				
上部消化管	胃内視鏡	4,799	4,976	4,183
	EUS	606	601	525
	EMR	21	23	20
	ESD	181	167	157
	ポリペクトミー	1	3	3
	拡張	44	85	81
	胃瘻造設（交換）	143	170	164
	硬化療法	97	66	55
	EVL			
	ERCP	471	474	468
	FNA	126	136	134
	異物除去	25	31	28
下部消化管	止血術	174	147	143
	その他	10	72	78
	大腸内視鏡	1,707	1,655	1,384
	大腸 EUS	45	63	43
	ポリペクトミー	437	460	434
特殊	大腸 EMR	171	189	176
	大腸 ESD	31	45	46
	拡張	20	22	14
	小腸内視鏡	61	55	45
	止血術	29	51	34
	その他	10	9	4
	合 計	9,490	9,814	8,441

## (サ) 超音波診療件数（年度別）

(件)

種 別		平成 30	令和元	令和 2
部位	種別			
頸部	一般	3,182	3,054	3,043
	血管検査	731	688	610
乳腺	一般	817	691	728
	造影	27	16	16
腹部	一般	6,323	6,264	5,293
	血管検査	193	243	203
	造影	232	186	181
表在	一般	687	666	601
	カラードプラ	1,489	—	—
血管	スクリーニング	898	—	—
	四肢血管	—	2,148	1,764
	一般	385	359	193
小児	血管検査	6	6	12
	合 計	14,970	14,321	12,644

## (3) 病理解剖件数（年度別）

(件)

科名					
	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2
循環器内科 腎臓内科	17	12	14	17	10
呼吸器・アレルギー・血液内科	6	8	4	3	1
感染制御内科	0	0	0	1	0
消化器・内分泌代謝内科	26	19	14	12	9
脳神経内科	1	0	1	0	2
消化器外科・小児外科・乳腺外科	0	4	1	0	—
脳神経外科	0	1	0	1	—
心臓血管外科 呼吸器外科	4	4	4	1	—
整形外科／四肢外傷センター	0	1	0	0	—
感染症センター	—	—	—	—	1
歯科口腔外科	0	0	0	0	0
産婦人科	産科	0	2	1	0
	メディカルバースセンター	0	0	0	0
	婦人科	1	1	0	1
眼科	0	0	0	0	—
小児科	0	1	0	1	1
新生児集中治療部	1	2	0	0	0
精神科	0	0	0	1	0
皮膚科・形成外科	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科・頭頸部外科／めまいセンター	0	1	0	0	0
放射線・核医学科	0	0	0	0	0
放射線治療科	0	0	0	0	0
麻酔科	0	0	0	0	0
救急科	2	0	2	0	1
総合診療科	5	2	1	3	1
計	63	58	42	40	27

## (4) 分娩件数（年度別）

(件)

種別	年度	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2
正常分娩		462	478	505	403	262
異常分娩		162	116	154	234	184
帝王切開		371	378	351	361	319
計		995	972	1,010	998	765

注：平成 22 年度以降メディカルバースセンター（平成 23 年 1 月 11 日開設）での分娩件数を含む。

(5) 薬剤関係（年度別）

年 度	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2
薬剤管理指導件数	13,498	12,901	11,336	10,266	10,176
注射薬混合件数（入院）	5,309	5,835	5,752	6,674	4,512
注射薬混合件数（外来）	29,841	32,291	39,494	44,270	44,763
治験件数	85	97	104	104	107
治験症例数	272	266	241	199	200

調剤薬処方数（年度別）

区分	年 度 種 別	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2
外 来	処方枚数	271,892 ( 1,124)	274,088 ( 1,123)	276,112 ( 1,132)	272,208 ( 1,120)	243,045 ( 1,000)
	院外処方枚数	28,844 ( 119)	30,256 ( 124)	30,221 ( 124)	30,041 ( 124)	31,800 ( 130)
入 院	処方枚数	220,625 ( 604)	238,782 ( 654)	240,727 ( 660)	279,531 ( 766)	254,452 ( 697)
	麻薬内外薬処方枚数	6,054 ( 17)	6,451 ( 18)	6,810 ( 19)	6,203 ( 17)	4,879 ( 13)
	麻薬注射薬処方枚数	27,959 ( 77)	22,615 ( 62)	20,594 ( 56)	32,366 ( 89)	28,122 ( 77)
	注射薬本数	1,490,748 ( 4,084)	1,647,127 ( 4,512)	1,684,700 ( 4,616)	1,687,651 ( 4,624)	1,459,862 ( 3,999)

注：( ) は 1 日当りの数値

(6) 栄養管理関係

(ア) 提供食数（年度別）

種 別	年 度	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2
普通食	患者食	661,783	701,683	709,191	695,620	542,043
特別食						
その他（検食等）		3,584	3,541	3,831	3,964	5,845
調乳	食 数	34,422	37,530	38,877	36,711	32,448
	本 数	71,452	102,263	113,671	106,431	94,971

(イ) 栄養指導件数（年度別）

種 別	年 度	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2
個 人	入 院	1,457	1,365	1,496	1,419	1,079
	外 来	1,539	1,714	2,420	2,696	2,597
合 計		2,996	3,079	3,916	4,115	3,676

(ウ) NST 介入件数（年度別）

種 別	年 度	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2
介入のべ		4,919	5,525	6,803	7,700	10,317
回診		553	606	817	1,007	1,179

(7) 総合相談窓口、がん相談支援センター、患者・家族支援室の相談実績

(ア) 相談件数（年度別）

1. 相談内容別件数

		平成 30 年	令和元年	令和 2 年
総合相談窓口	医療福祉	総 数	3,321	3,112
		経済的問題の解決・調整	786	706
		心理・社会的問題の解決・調整	182	131
		その他	42	15
	虐待及び 虐待防止支援	計	1,010	852
		児童及び妊産婦	1,219	1,035
		障害者虐待	—	2
		高齢者虐待	—	0
		DV	—	20
		その他	3	3
	HIV	計	1,222	1,060
		経済的問題の解決・調整	55	57
		プライバシー	5	3
		心理・社会的問題の解決・調整	10	13
		退院支援	1	1
		受診・受療援助	4	1
		その他	3	1
		計	78	76
	難病	難病医療提供に関すること	—	11
がん相談支援センター	がん	診断・治療に関すること	224	157
		受診・受療に関すること		50
		療養場所	54	37
		社会的・経済的問題	190	197
		身体的な問題	154	116
		精神的な問題		81
		家族（遺族）の問題	76	91
		患者会	15	21
		その他	13	10
		計	726	760
患者・家族支援室	苦情・疑義・争訟	説明・対応	149	207
		治療	47	53
		費用	14	18
		診療体制	4	11
		情報関係	—	18
		医療事故・過誤	—	23
		設備関係	4	2
		その他	67	21
		計	285	353
				353

※相談記録データベースにより、相談記録を作成した件数

2. 簡易な相談等件数

区分	平成 30 年	令和元年	令和 2 年
がんに関する簡易な相談	55	52	54
簡易な相談	2,794	2,886	2,494
窓口における書類処理等	1,036	908	828
合 計	3,885	3,846	3,376

※簡易な相談等とは、相談記録を作成するまでもない相談や問合せ

3. 相談総件数

	平成 30 年	令和元年	令和 2 年
相談総件数	7,206	6,958	6,776

(イ) 相談件数内訳（令和2年度）

1. 診療科別

診療科	がん	医療福祉	虐待	HIV	苦情等	計
循環器内科 腎臓内科	6	381	1	0	33	421
呼吸器・アレルギー・血液内科	68	55	2	0	18	143
消化器内分泌代謝内科	47	78	1	0	17	143
感染制御内科	1	12	0	163	2	178
神経内科	2	99	1	0	22	124
消化器外科・小児外科	76	14	1	0	21	112
脳神経外科	7	81	15	0	9	112
心臓血管外科 呼吸器外科	7	111	0	0	11	129
整形外科	8	53	3	0	29	93
歯科口腔外科	24	12	2	0	10	48
産婦人科	47	6	640	0	31	724
眼科	2	7	0	0	13	22
小児科	6	80	97	0	4	187
精神科	4	22	69	4	28	127
皮膚科	6	13	3	0	9	31
泌尿器科	67	105	5	1	7	185
耳鼻咽喉・頭頸部外科	17	16	4	0	3	40
放射線・核医学科	1	0	0	0	0	1
放射線治療科	9	1	2	0	0	12
麻酔科	0	0	0	0	1	1
救急科	1	33	23	0	11	68
総合診療科	2	40	2	0	6	50
形成外科	0	1	0	0	0	1
新生児外来	0	3	23	0	1	27
緩和ケア外来	13	0	0	0	1	14
総合周産期母子医療センター 新生児集中治療部門	0	12	57	0	34	103
リウマチセンター	0	5	0	0	2	7
乳腺外科	58	0	1	0	4	63
糖尿病センター	0	8	0	0	6	14
不明・分類対象外*	124	46	27	3	20	220
合 計	603	1,294	979	171	353	3,400

\*他施設からの相談を含む

2. 年齢別

19才以下	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	70才代	80才以上	分類対象外	合 計
439	408	443	339	363	413	538	251	206	3,400

3. 相談者別

本 人	本人と家族	本人と友人	家 族	友人・知人	パートナー	医 師	看護師	保健師
1,038	370	6	668	2	4	233	109	194
助産師	相談員	行政職員	事 務	その他の	合 計			
279	39	324	61	73	3,400			

4. 相談形態別

対 面	電 話	その他の	合 計
1,881	1,487	32	3,400

### 3. 診療収入関係

#### (1) 診療収入額（年度別）

	外 来			入 院			計	
	診療収入 (円)	患者数 (人)	一人平均 (円 / 人)	診療収入 (円)	患者数 (人)	一人平均 (円 / 人)	診療収入 (円)	患者数 (人)
平成 28	一般 15,115,939,266	546,413	27,664	19,716,564,804	279,333	70,584	34,832,504,070	825,746
	救急 14,835,616	1,265	11,728	1,515,828,068	11,890	127,488	1,530,663,684	13,155
平成 29	一般 15,915,235,910	556,740	28,586	21,532,152,773	294,569	73,097	37,447,388,683	851,309
	救急 17,374,522	1,417	12,261	1,702,629,050	14,006	121,564	1,720,003,572	15,423
平成 30	一般 17,546,933,474	572,024	30,675	22,392,440,712	297,306	75,318	39,939,374,186	869,330
	救急 19,948,422	1,535	12,996	1,732,303,776	14,212	121,890	1,752,252,198	15,747
令和 元	一般 19,643,486,324	573,730	34,238	22,134,529,701	293,767	75,347	41,778,016,025	867,497
	救急 18,392,563	1,357	13,554	1,712,337,002	14,634	117,011	1,730,729,565	15,991
令和 2	一般 19,323,708,739	511,584	37,772	18,586,453,437	226,921	81,907	37,910,162,176	738,505
	救急 16,113,837	1,264	12,748	1,512,337,519	11,745	128,764	1,528,451,356	13,009

注：室料差額は入院に含む。

#### (2) 特別療養環境室（個室等）室料差額収益額（年度別）

種 別	病 棟	病床数 (令和3年4月現在)	料 金 (1日につき)	年度別収益 (円)		
				平成 30	令和元	令和 2
1人 部屋	特S室	C病棟	3床	32,150円	10,481,240	14,833,750
	特A室	B病棟 E棟産科病棟	22床	22,620円	135,125,640	131,603,870
	特B室	E棟婦人科病棟	5床	15,910円	21,428,730	27,636,550
	S室	A・B・C病棟 E棟小児センター	121床	10,680円	322,819,260	332,437,770
	A室	D病棟	1床	7,850円	14,278,920	28,157,850
	B室	D病棟	31床	5,130円	41,983,200	40,271,400
2人 部屋	C室	D病棟	4床	1,980円	797,550	1,061,880
計				546,914,540	576,003,070	427,633,850

## 4. 附属病院の主な医療機器設置状況

R3. 3. 31 現在

備 品 名	設 置 場 所	数 量	取 得 年 月 日
<b>(取得価格 1 億円以上)</b>			
脳機能計測 3T 超電導磁気共鳴撮影装置 (31 番撮影室)	精神医療センター	1 式	R2.1.6
AG-CT 装置 (体幹部・四肢血管撮影装置)	(中央) 中央放射線部	1 式	H30.10.10
心臓血管撮影装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H29.4.26
心臓血管撮影装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H29.3.31
洗浄器・滅菌器	(中央) 中央材料室	1 式	H28.9.30
手術映像記録・配信システム	(中央) 中央手術部	1 式	H28.8.31
高精度放射線治療システム	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.9.27
ハイブリッド手術室血管撮影装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.8.31
PET-CT 装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.8.31
RALS 位置決め透視装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.8.31
放射線治療部門システム	(中央) 中央放射線部	1 式	H29.1.31
頭部血管撮影装置 (23 番撮影室)	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.3.31
全身用磁気共鳴診断装置 (18 番撮影室)	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.3.18
全身用磁気共鳴診断装置 (19 番撮影室)	(中央) 中央放射線部	1 式	H27.11.30
da Vinci Xi サージカルシステム	(中央) 中央手術部	1 式	H27.12.20
医用画像情報システム	経営企画課	1 式	H26.9.29
放射線治療装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H25.11.28
放射線治療装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H25.9.20
全身用磁気共鳴断層撮影装置 (30 番撮影室)	病院本館 (旧救急棟) 1 階	1 式	H21.3.31
医用画像情報システム	(中央) 中央放射線部	1 式	H21.3.31
全身用磁気共鳴断層撮影装置 (20 番撮影室)	(中央) 中央放射線部	1 式	H19.7.27
<b>(取得価格 5 千万円以上)</b>			
CT 装置 (17 番撮影室)	(中央) 中央放射線部	1 式	R2.1.6
脳神経外科用顕微鏡装置	(中央) 中央手術部	1 式	H30.12.13
注射薬自動払出手法システム	薬剤部	1 式	H30.1.18
重症病棟支援システム	NICU	1 式	H29.3.31
受付・採血採尿業務支援システム	(中央) 中央臨床検査部	1 式	H28.8.31
SPECT-CT 装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.8.31
核医学検査装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H28.8.31
手術台	(中央) 中央手術部	11	H28.8.29
人工心肺装置	(中央) 中央手術部	1 式	H28.9.30
生体情報モニタリングシステム	(中央) 中央手術部	16	H28.8.31
生体情報モニタリングシステム	(中央) 高度救命救急センター	1 式	H28.3.24
全身用 X 線 CT 診断装置	(病) 救急科	1	H26.3.31
放射線治療マネジメントシステム	附属病院関係	1 式	H26.1.29
生化学自動分析システム	附属病院関係	1 式	H25.11.29
バイオハザード対策ユニット	附属病院関係	1 式	H25.11.29
検体搬送システム	附属病院関係	1 式	H25.10.31
CT 装置	附属病院関係	1 式	H25.9.30
生体情報患者集中監視モニタリングシステム	附属病院関係	1 式	H25.3.29
トータルケアベッドリース契約	(中央) 集中治療部	1 式	H24.12.1
泌尿器専用 X 線 TV 装置	(中央) 中央放射線部	1 式	H24.2.29
CT 装置 (16 番撮影装置)	(中央) 中央放射線部	1 式	H23.3.31
モニタリングシステム (情報管理システム)	E 病棟 4 階	1	H19.3.26

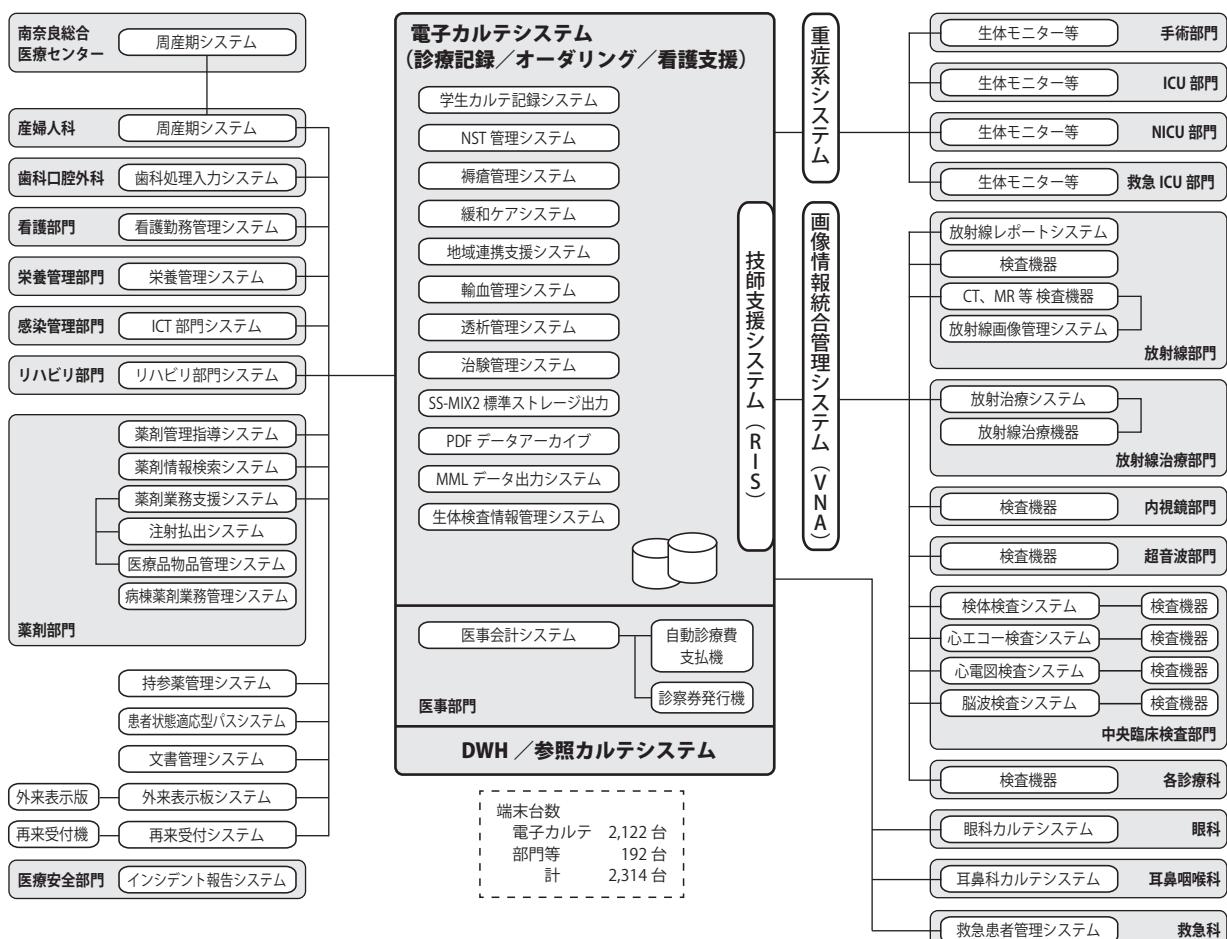
## 5. 総合医療情報システム（電子カルテシステム）

### 沿革

- 昭和 60 年 2 月 大型コンピュータにより電算業務運用開始  
 平成 11 年 4 月 オーダリングシステム（外来系システム）運用開始  
 平成 13 年 4 月 オーダリングシステム（入院系システム）運用開始  
 平成 18 年 12 月 総合医療情報システム運用開始  
     （富士通：EG-MAIN-EX WebEdition）  
 平成 19 年 4 月 電子カルテ運用開始  
 平成 25 年 2 月 総合医療情報システムのハードウェア更新  
     （サーバ、クライアント、ネットワーク等）  
 平成 28 年 4 月 南奈良総合医療センターと周産期システムの接続  
 令和 元 年 5 月 総合医療情報システム更新（富士通：EG-MAIN-GX）  
     画像情報統合管理システム（VNA）運用開始  
     患者状態適応型パスシステム（PCAPS）運用開始

総合医療情報システム全体構成図

R3. 5. 1 現在



総合案内

R3.5.1 現在

# 病院

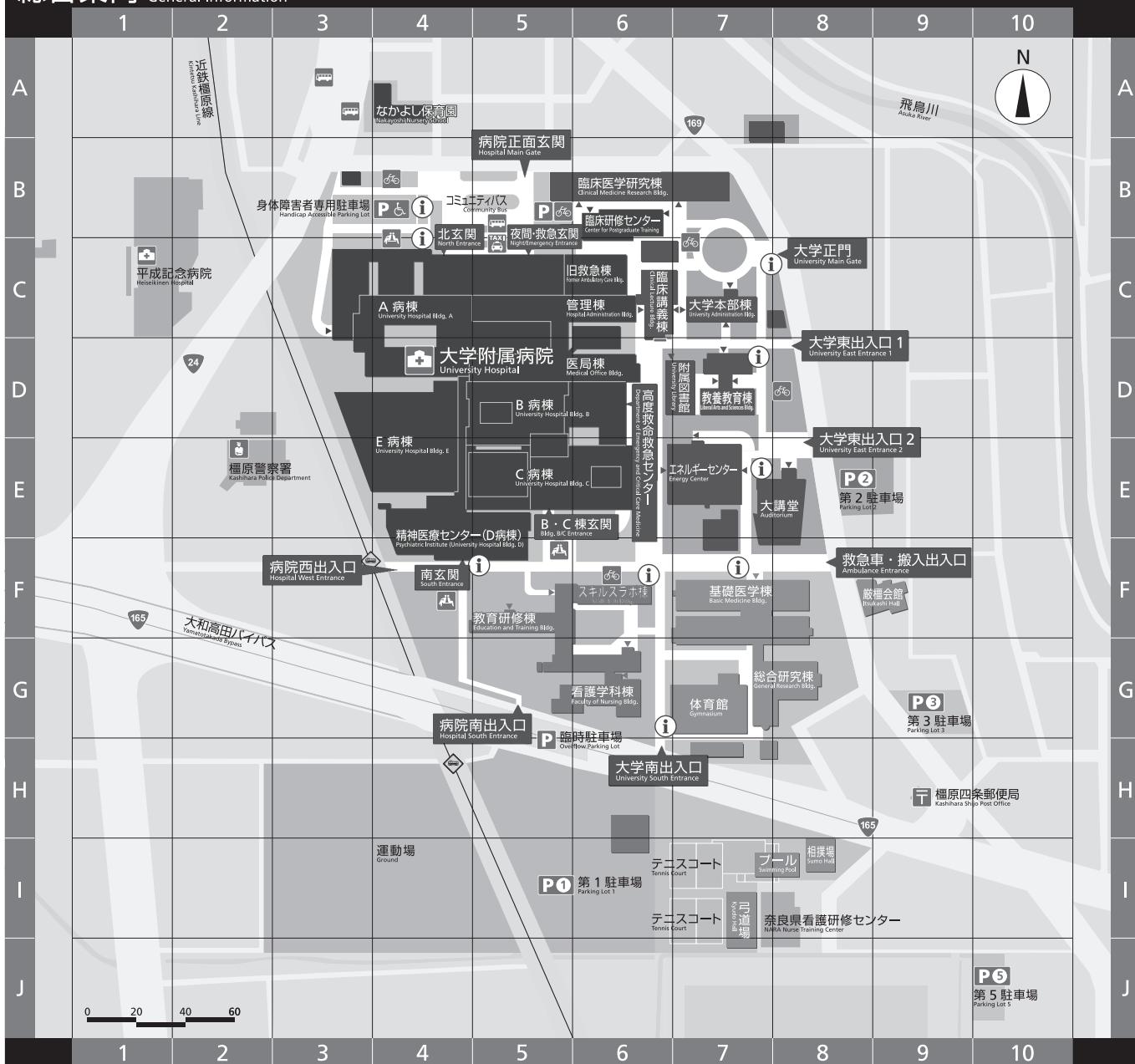
## 総合案内

R3.5.1 現在

B 病棟		C 病棟		E 病棟	
8階	A 病棟・日救急棟・管理棟・医局棟	(病棟) 耳鼻咽喉・頭頸部外科、呼吸器・アレルギー・血液内科、放射線治療科	(病棟) 呼吸器・アレルギー・血液内科 (中央) 感染症センター	(病棟) 呼吸器・アレルギー・血液内科 (中央) 感染症センター	
7階	医局・研究室	(病棟) 消化器・代謝内科	(病棟) 術器内科・腎臓内科	(病棟) 小児センター	
6階	医局・研究室	(病棟) 消化器外科・小児外科・乳腺外科	(病棟) 心臓血管外科・呼吸器外科、放射線・核医学科	(病棟) 呼吸器・メディカルハースセンターワークス	
5階	(中央) 医療安全推進室、感染管理室、感染症センター、先天性心疾患センター 教授室、医局、研究室	(病棟) 脳神経外科	(病棟) 脳神経内科、歯科口腔外科、麻酔科	(中央) 総合周産期母子医療センター (病棟) 産科	
4階	(病棟) 眼科、皮膚科、形成外科、総合診療科、救急科	(病棟) 整形外科	(病棟) 泌尿器科 (中央) 透析部	D 病棟／精神医療センター	
3階	(中央) 中央手術部 (管理) 医療サービス課 教授室、医局、研究室、移植細胞培養センター、臨床研究センター	(中央) 病院病理部、医局、病理診断科 (外来) 周術期管理センター	(中央) 集中治療部 中央手術部	(中央) 中央手術部 (管理) 精神科	臨床研修センター 3階
2階	(外来) 循環器内科・腎臓内科、呼吸器・アレルギー・血液内科、感染制御内科、消化器・代謝内科、産婦人科、小児科、皮膚科、形成外科、総合診療科、耳鼻咽喉科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、めまいセンター、新生児・発達、遺伝カウンセリング、難尿症、内分泌科 (中央) 傷部・輸液部、薬剤部、病院管理課、医療職事務支援室、医療サービス課、看護部多目的室、病院経営対策室 (管理) 看護部長室、看護副部長室、病院管理課、看護部多目的室、病院経営対策室、医療サービス課、看護部管理室、看護部多目的室、病院経営対策室 教授室、医局	(中央) 中央臨床検査部、医局 (管理) 食堂	(中央) 中央内視鏡・超音波部、医療情報部 (管理) 病院会議室、経営企画室、情報搬送室、研究室、会議室、ER 当直室、病院経営部長室	(中央) 中央臨床検査部 リハビリテーション科 (中央) 精神科	臨床研修センター 地医医療学 県医師学生配置センター 2階
1階	(外来) 消化器外科・小児外科・乳腺外科、脳神経外科、心臓血管外科・呼吸器外科、耳鼻咽喉科・口腔外科、小児科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、整形外科、眼科、泌尿器科・放尿器科、核医学科(画像診断・IVR)、リンパ腫腫瘍、リウマチセンター、乳腺外科、ペインセンター、外来点検室、セカンドオピニオン (中央) 病院玄関、総合案内窓口、入退院受付窓口、医療相談室、総合相談窓口、コールセンター、コンピューストア、患者・家族支援室 教授室、医局、総合画像センター	(中央) 中央放射線部 高度救命救急センター	(中央) 中央放射線部 高度救命救急センター IVRセンター	(外来) 精神科 (管理) 南玄関 教授室、医局、研究室 (管理) コーヒーショップ	臨床研修センター 救急フロア/施設内センター、アドノーラン室 がん相談センター 1階
地下階	技局	(中央) 中央材料室 (管理) 医療技術センター	(中央) 栄養管理部	(中央) 放射線治療室 放射線治療・核医学科	

奈良県立医科大学・附属病院 配置図

## 総合案内 General Information

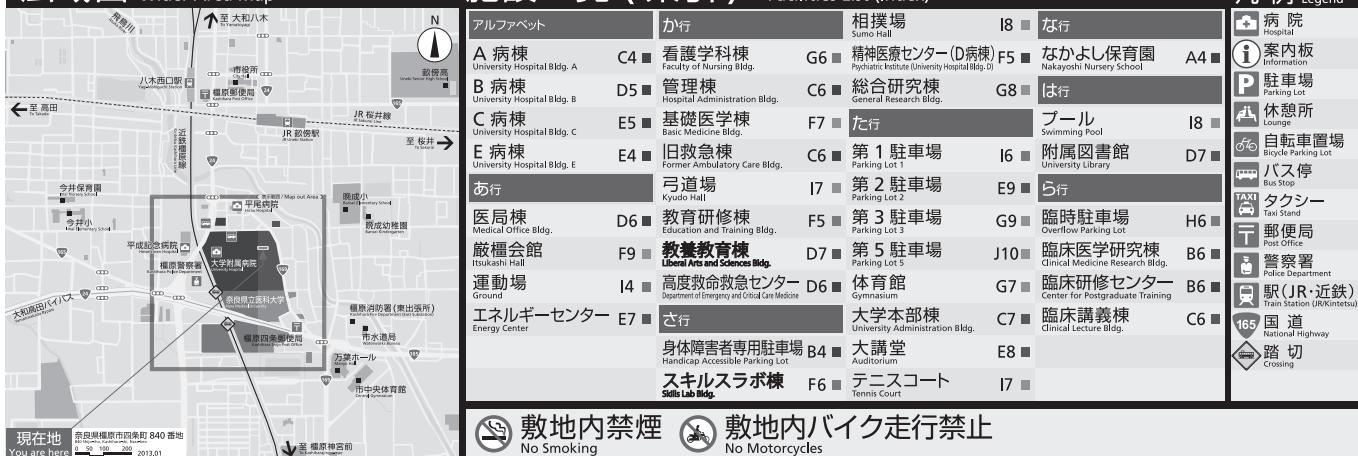


広域図 Wider Area Map

## 施設一覧（索引）

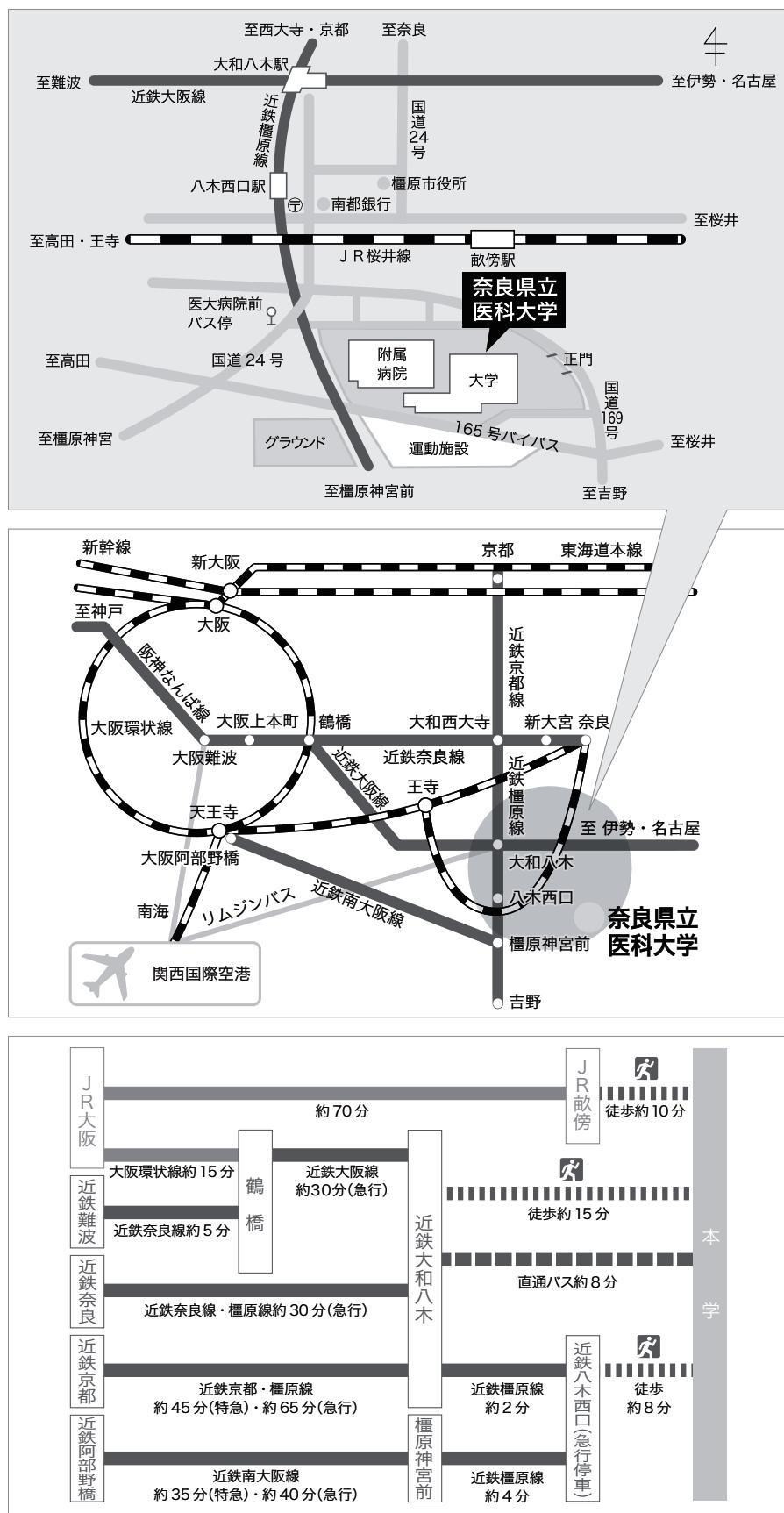
## Facilities List (Index)

凡例 Legend



# 奈良県立医科大学位置図

## 大学・附属病院付近図



---

---

令和3年7月発行

公立大学法人  
奈良県立医科大学

〒634-8521 奈良県橿原市四条町840番地

電話 (代)0744-22-3051

FAX 0744-25-7657

<https://www.naramed-u.ac.jp>

編集 法人企画部 秘書・広報室

---